

平成 26 年度
神奈川県
保育士実態調査結果

平成 27 年 3 月

神奈川県

目次

I	本調査の概要	- 2 -
1	本調査の目的	- 2 -
2	本調査の設計	- 3 -
3	回収結果	- 3 -
4	調査項目	- 4 -
II	調査結果	- 6 -
	全員回答	- 6 -
	現在保育士（現在、保育士として就業中の方）回答	- 16 -
	潜在保育士（現在、保育士として仕事に就いてない方）回答	- 28 -
	クロス集計	- 35 -
III	調査票	- 81 -
	平成 25 年度	- 81 -
	平成 26 年度	- 81 -

I 本調査の概要

1 本調査の目的

本調査は、潜在保育士の保育現場への就業促進及び保育所等で就業中の保育士に対する就業継続に向けて、その課題の洗い出しや対応策の検討を目的に実施しました。

本調査の背景として、県内では積極的に保育所整備に取り組んでいますが、待機児童の解消にはいたっていません。今後も更なる保育サービスの充実が求められる中、保育サービスを担う保育士の確保は困難で、本県においても保育士不足が深刻化しています。

そこで、保育士確保のために、県内に約5万人いるとされている、保育士資格を持ちながら保育所等で就業されていない、いわゆる潜在保育士の方々に職場復帰してもらうための方策が喫緊の課題となっています。さらに、保育士の平均就業継続年数は7.6年と短いため、現在就業中の保育士が継続して保育現場で活躍してもらうための方策も併せて必要となっています。

こうしたことから、県では平成25年度と平成26年度の2カ年にわたり、本県に保育士登録をされている方を対象に、現在の家族環境や就業状況、復帰の意向や復帰の際の条件、保育士として就業中の方には、仕事に関する満足度等について質問し、保育士の実態及び意向を把握するための調査を実施しました。

平成27年度から施行される子ども・子育て支援新制度により、短時間就労の保護者の家庭も保育の対象となるなど、保育ニーズはますます増大することが予想されます。

そのため、県では、本調査結果を十分に活用し、保育士の確保・育成に重点的に取り組み、引き続き、保育の質の向上を図ってまいります。

2 本調査の設計

(1) 調査対象

○ 平成 25 年度

県内登録保育士 71, 294 人 (H25 年 3 月末日時点) のうち
昭和 42 年～53 年生まれ (35 歳～46 歳) の者 20, 474 名

○ 平成 26 年度

県内登録保育士 76, 323 人 (H26 年 9 月末日時点) のうち次の a、b を
除いた者

(a 平成 25 年度に実施した者 b 昭和 19 年以前生まれ (70 歳以上)) 55, 338 名
合計 75, 812 名

(2) 調査期間

○ 平成 25 年度 平成 25 年 12 月～平成 26 年 1 月

○ 平成 26 年度 平成 26 年 10 月～平成 27 年 2 月

(3) 調査方法

郵送配布・郵送回収

3 回収結果

年度	送付数	回収数	返戻数	回答率
平成 25 年度	20, 474	5, 296	5, 183	34. 63%
平成 26 年度	55, 338	13, 477	7, 258	28. 03%

4 調査項目

(1) 全員を対象とした質問

調査項目	質問項目
①回答者の属性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性別 ・ 年齢 ・ 子どもの有無 ・ 在住市町村名
②保育士資格を取得した方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士資格の取得方法 ・ 保育士資格を取得した理由 ・ 幼稚園教諭免許の有無
③これまでの就業経験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士としての就業経験の有無 ・ 保育士としての就業経験の年数 ・ 幼稚園教諭としての就業経験の有無・年数 ・ 保育士・幼稚園教諭以外の就業経験の有無・年数
④現在の就業状況	(選択肢回答)
⑤保有・子育て支援関係の情報提供について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報提供や案内を受け取る範囲 ・ 送付番号 ・ 電子メールアドレス

(2) 保育士として就業中の方を対象とした質問

調査項目	質問項目
①現在の就業先施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設種別 ・ 設置運営主体 ・ 施設の所在地 ・ 雇用形態
②現在の職場の満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤務日数 ・ 勤務時間 ・ 給与・賞与等 ・ 通勤時間 ・ 職場の人間関係 ・ 保護者や地域との関連性 ・ その他労働条件 ・ 園（など）の理念や運営方針 ・ 上司（園長等）からの自分への評価 ・ 保育士としての仕事全体の「やりがい」度
③保育の仕事のやりがいや魅力	(選択肢回答)
④保育士退職経験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中途退職経験の有無・回数 ・ 中途退職理由
⑤現在の職場の要改善点	(選択肢回答)
⑥保育士として働き続けるための知識技術	(選択肢回答)
⑦研修参加状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近1年間の研修への参加状況 ・ 研修に対する希望

(3) 現在、保育士として就業していない方を対象とした質問

調査項目	質問項目
①保育士として就業していない期間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 約 () 年
②保育士の仕事を辞めた理由	(選択肢回答)
③今後保育士の仕事をするうえで不安な点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近の保育の知識や技術などの不足 ・ 家事との両立 ・ 育児との両立 ・ 介護との両立 ・ 夫など周囲の理解 ・ 体力の低下 ・ 保育の職場での人間関係 ・ 園児の保護者の対応 ・ その他 (具体的に：)
④神奈川県内で保育士の仕事をする場合の気持ち	(選択肢回答)
⑤保育士資格を活かして働く際に重視する点	(選択肢回答)
⑥保育士として仕事をする場合の条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤務形態 ・ 年収 ・ 勤務日 ・ 勤務時間 ・ 通勤時間 ・ 通勤可能範囲 ・ 重視する条件

Ⅱ 調査結果

全員回答

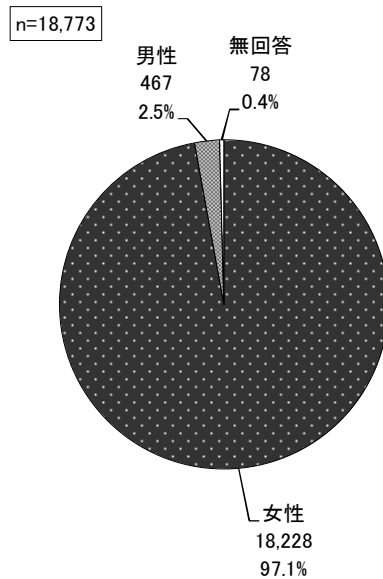
1. 回答者の属性について

(1) 性別

回答者の性別は、「女性」が97.1%で大多数を占めており、「男性」は2.5%であった。

(図 1-1)

【図 1-1 回答者の性別】

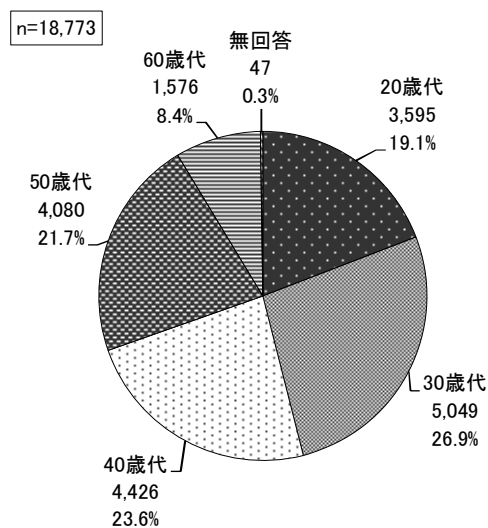


(2) 年齢

回答者の年齢は、30歳代の回答者が最も多く26.9%であった。

(図 1-2)

【図 1-2 回答者の年齢】

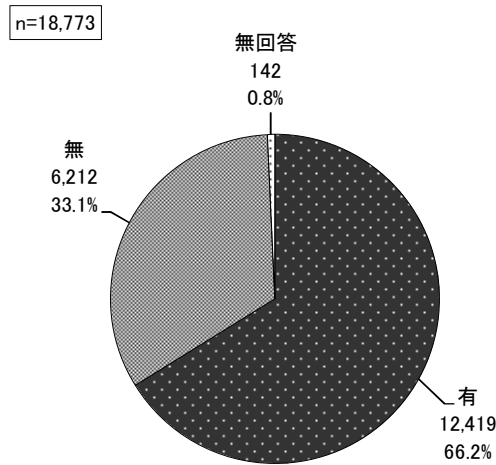


(3) 子どもの有無別等

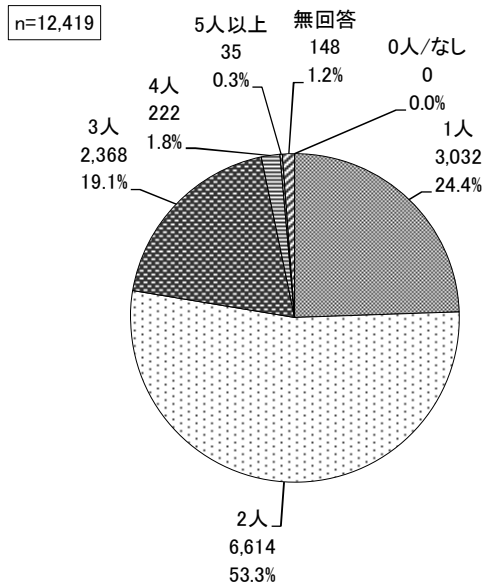
回答者のうち、子どもがいる方は66.2%であり、子どもがいない方は33.1%となっている。(図1-3) 子どもがいる方のうち、子どもの人数は2人が53.3%であり、半数を占めている。また、一人あたりの子どもの数の平均は1.99人である。(図1-4)

末子年齢は、「就学前年齢」が22.6%、「小学校年齢」が12.1%、「中・高年齢」が11.5%となった。末子年齢の平均は10.1歳である。(図1-5)

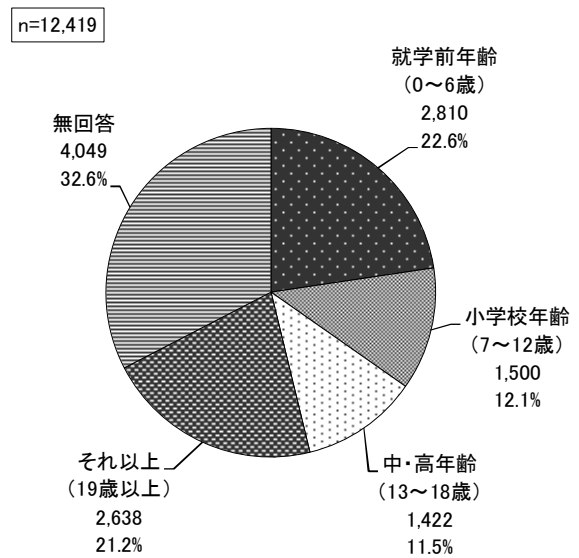
【図 1-3 子どもの有無】



【図 1-4 子どもの人数】



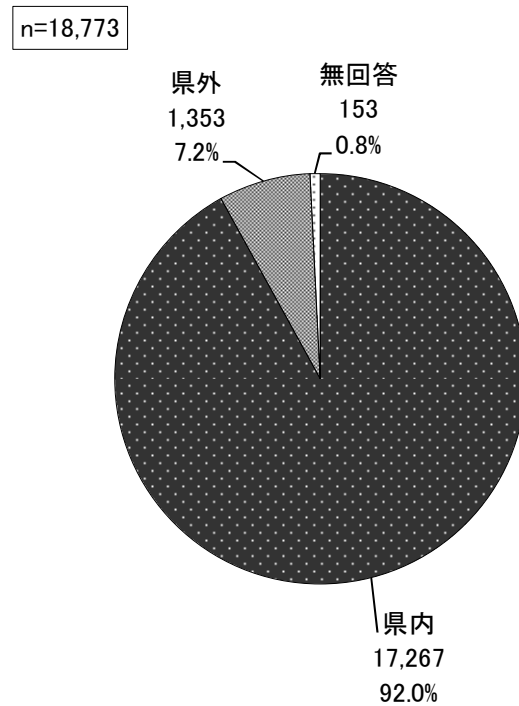
【図 1-5 末子の年齢】



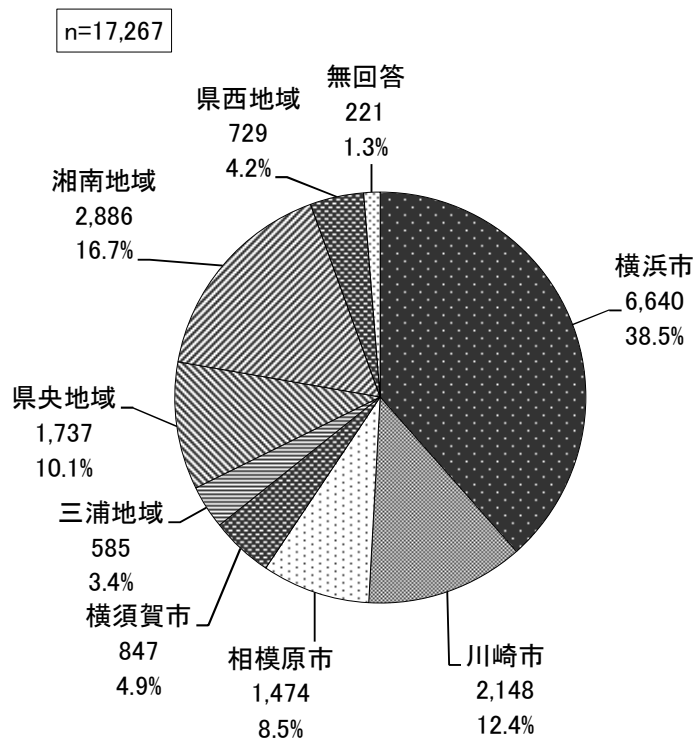
(4) 在住市町村

回答者のうち、神奈川県内の在住者が92.0%とほとんどを占めている。(図1-6)
神奈川県内の在住市町村は「横浜市」が38.5%と最も多く、次いで、「川崎市」が12.4%であった。
(図1-7)

【図 1-6 在住市町村】



【図 1-7 県内在住市町村】

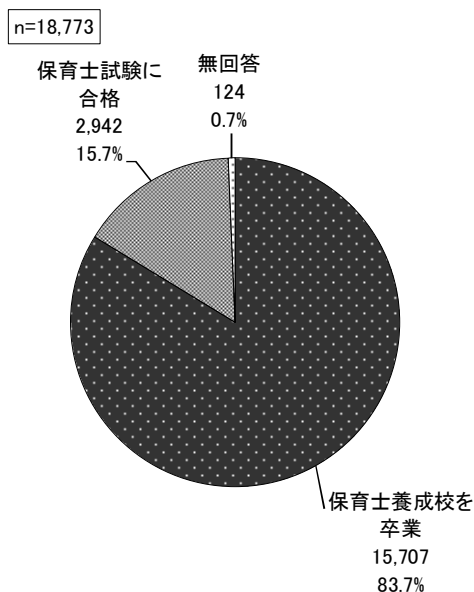


2. 保育士資格を取得した方法について

(1) 保育士資格取得方法

「保育士養成校を卒業」が83.7%と大半を占め、「保育士試験に合格」は15.7%であった。(図 2-1)

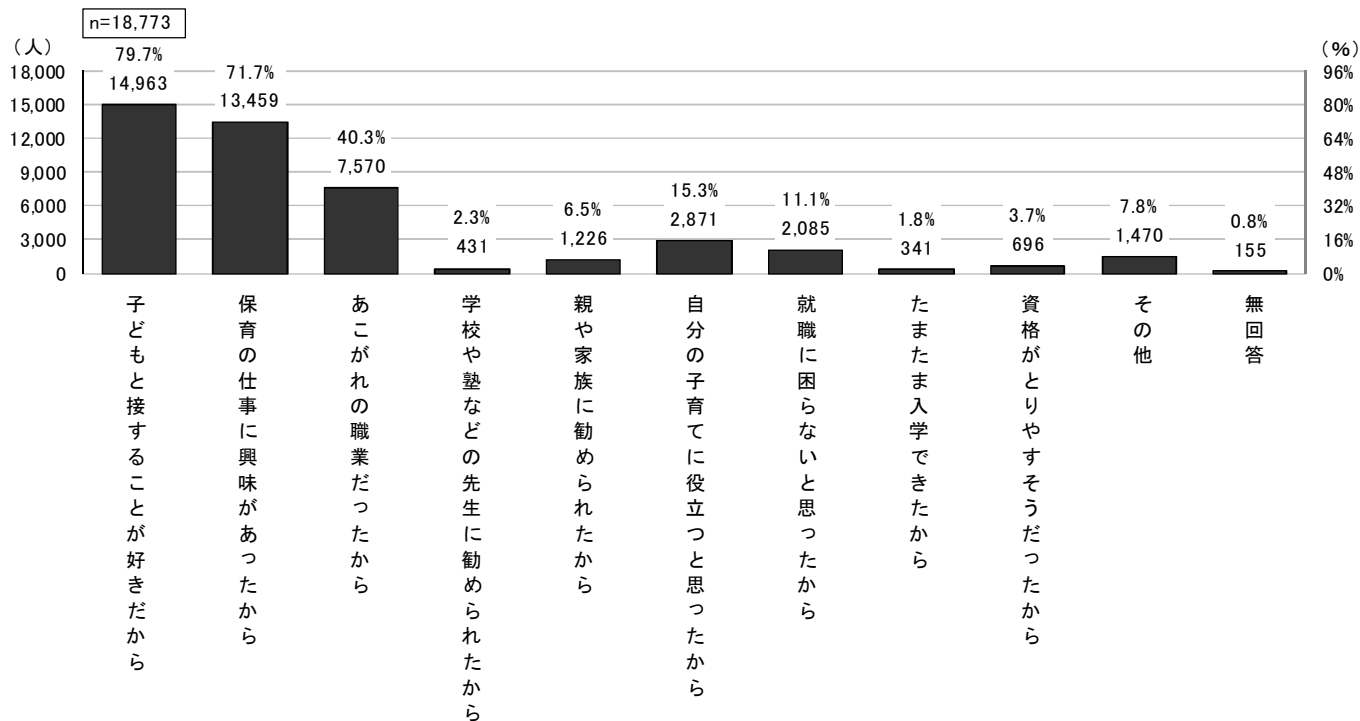
【図 2-1 資格取得方法】



(2) 保育士資格取得理由

「子どもと接することが好きだから」が79.7%、次いで「保育の仕事に興味があったから」が71.7%であった。(図 2-2)

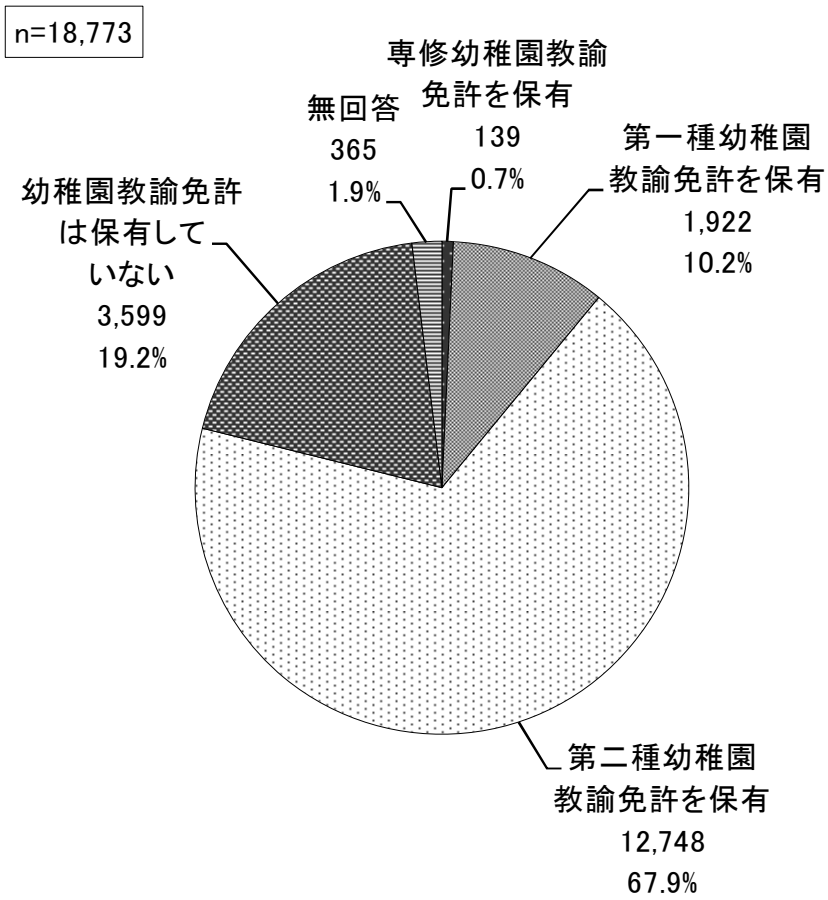
【図 2-2 資格取得理由】



(3) 幼稚園教諭免許保有状況

幼稚園教諭免許保有者が 78.9%、幼稚園免許を保有していない方は 19.2%であった。(図 2-3)

【図 2-3 幼稚園教諭免許保有状況】

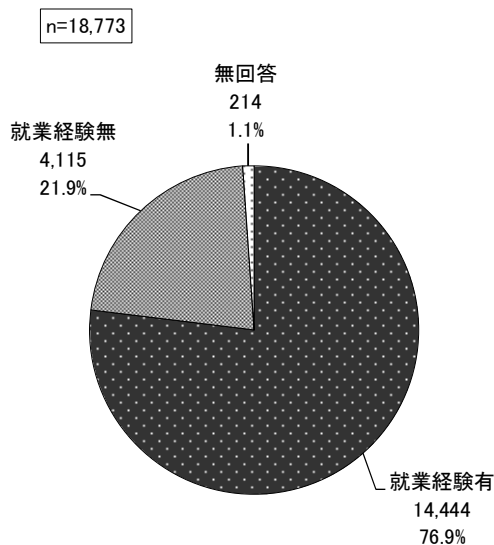


3. これまでの就業経験について

(1) 保育士として就業経験の有無

保育士として就業経験がある方は76.9%、未経験者は21.9%であった。(図3-1)

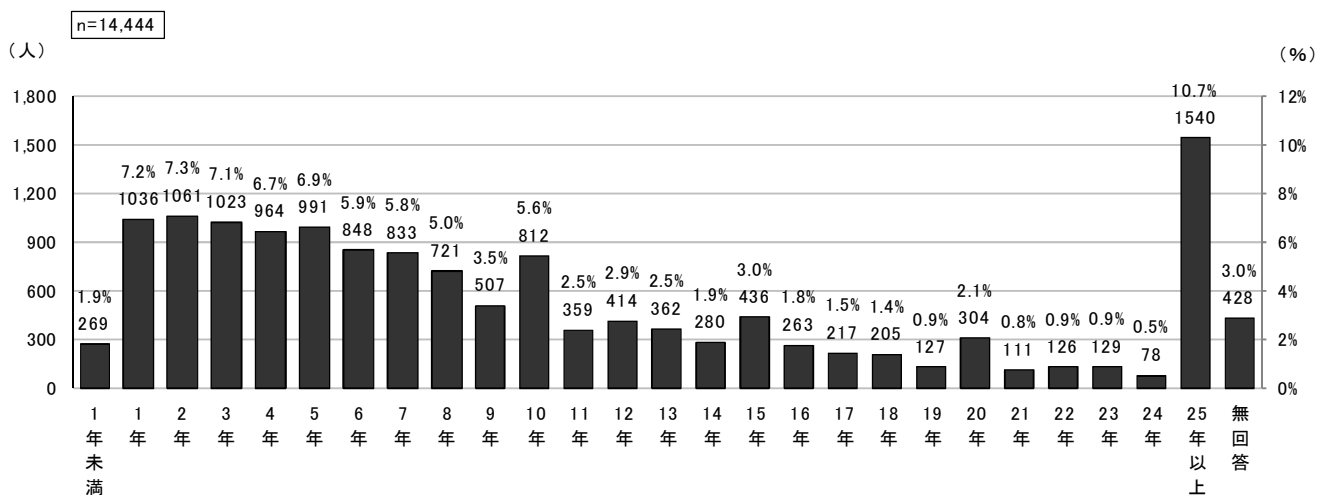
【図3-1 保育士としての就業経験の有無】



(2) 保育士としての通算就業年数

「25年以上」が最も多く、次いで「2年」となったが、「1年」～「5年」はほぼ同率であった。保育士としての平均通算就業年数は、10.6年となっている。(図3-2)

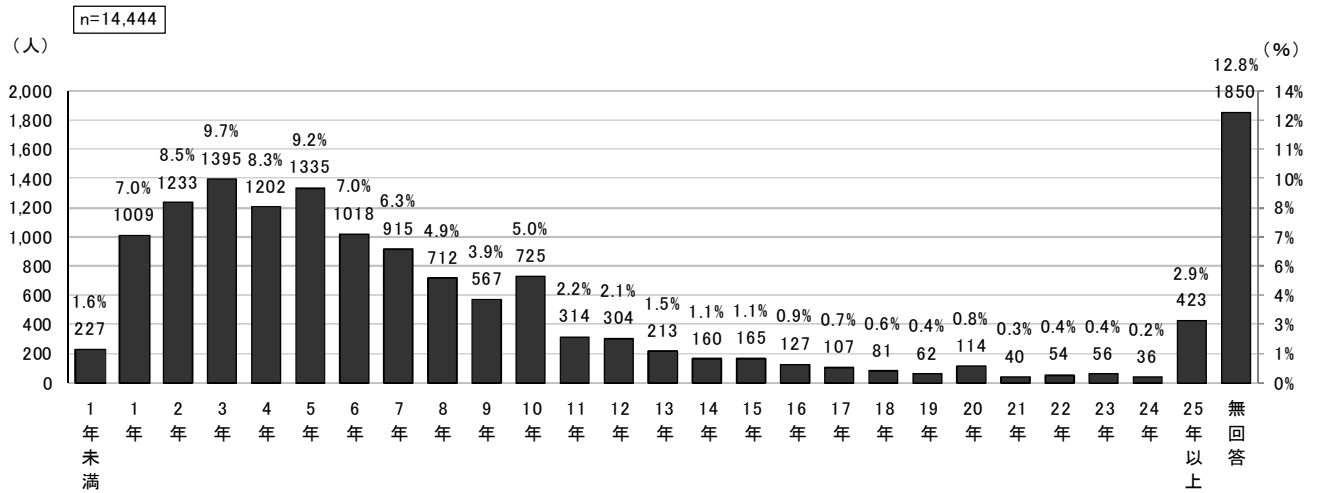
【図3-2 保育士としての通算就業年数】



(3) 同一施設での最長就業年数

「3年」が最も多く、次いで「5年」となり、同一施設での平均就業年数は7.2年である。(図3-3)

【図3-3 同一施設での最長就業年数】

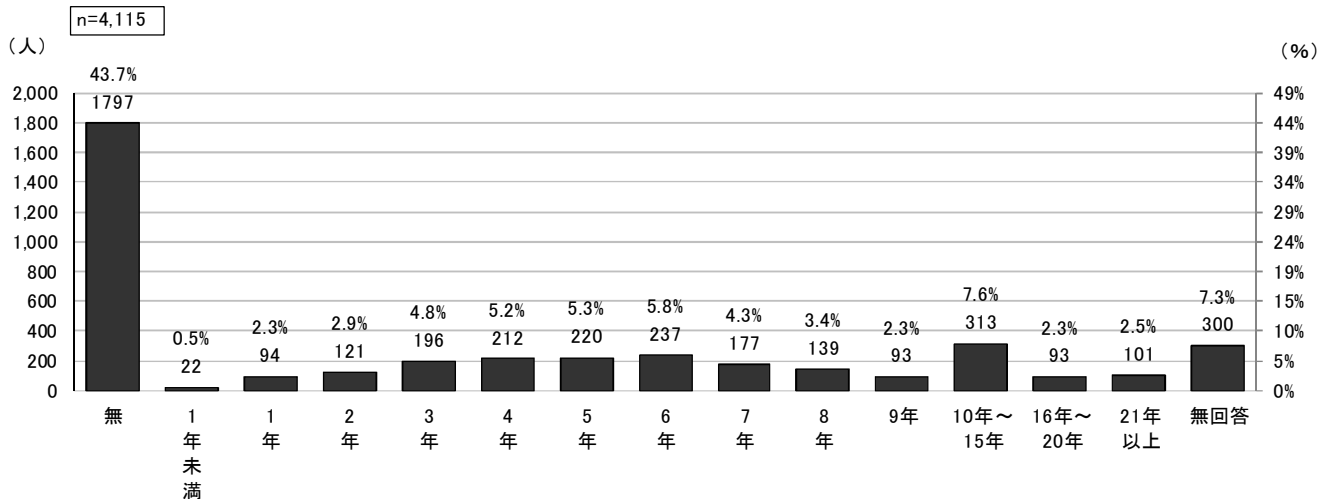


(4) 幼稚園での通算就業年数（保育士として働いたことのない方）

「未経験者」が43.7%で最も多く、次いで「10年～15年」が7.6%となった。
幼稚園での就業経験者の通算就業年数の平均は、4.1年である。

(図3-4)

【図3-4 幼稚園での通算就業年数（保育士として働いたことがない方）】

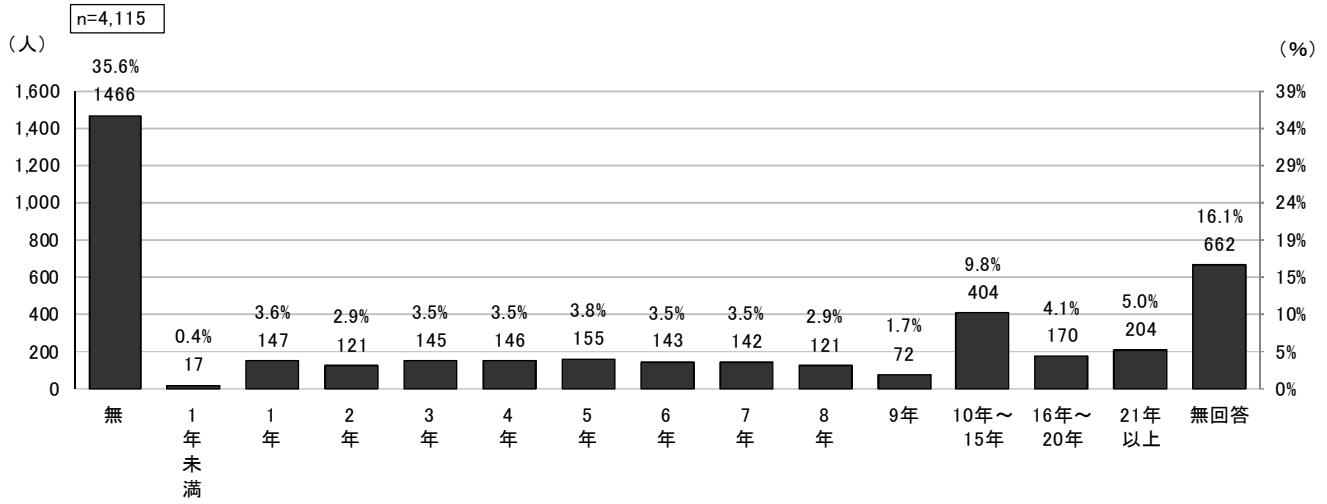


(5) 保育士、幼稚園教諭以外の通算就業年数（保育士として働いたことのない方）

「未経験者」が35.6%と最も多く、次いで「10年～15年」が9.8%となった。

保育士、幼稚園教諭以外での就業経験者の通算就業年数の平均は、5.6年となった。（図3-5）

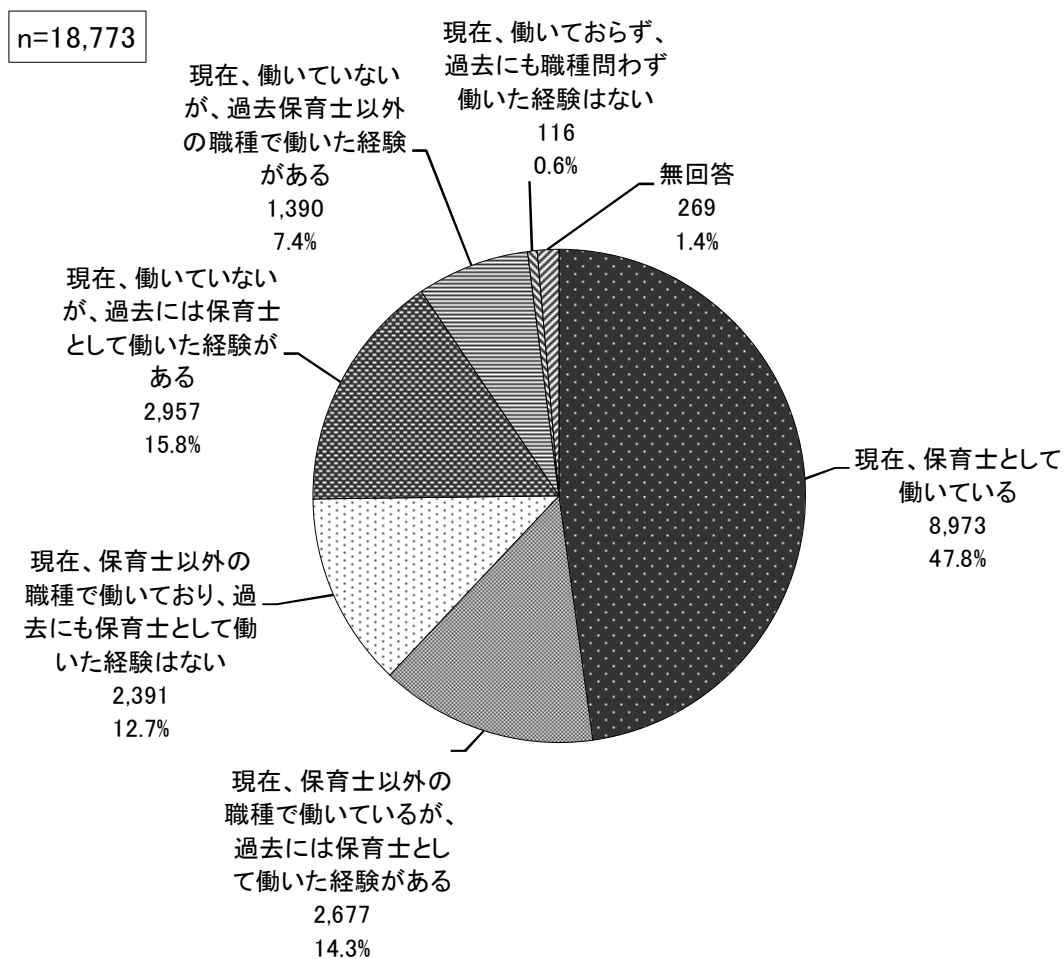
【図3-5 保育士、幼稚園教諭以外の通算就業年数（保育士として働いたことがない方）】



4. 現在の就業状況について

「現在、保育士として働いている」が47.8%と約半数を占めている。(図4-1)

【図4-1 現在の就業状況】

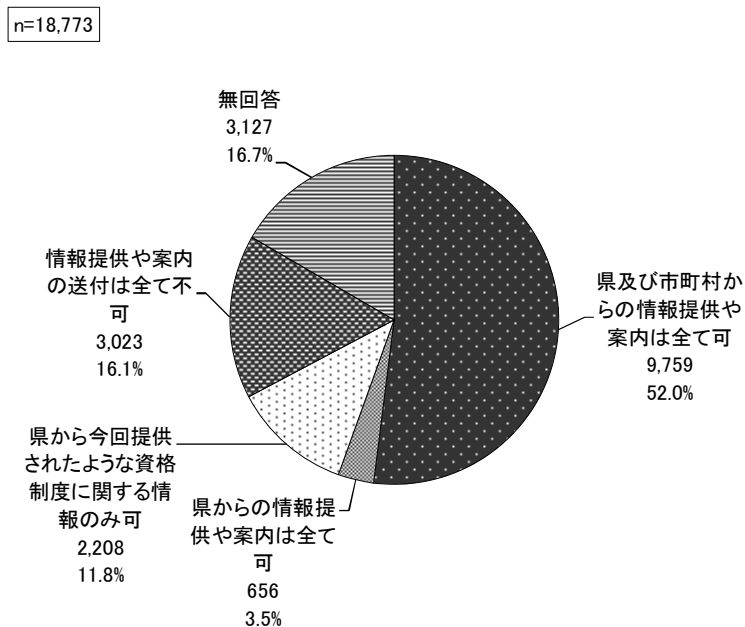


5. 保育・子育て支援関係の情報提供の希望状況について

(1) 情報提供を受け取る範囲

「県及び市町村からの情報提供や案内はすべて可」と回答した人が、52.0%と半数を占めた。
(図 5-1)

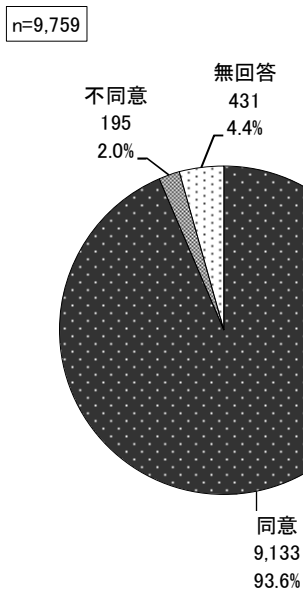
【図 5-1 情報提供の範囲】



(2) 市町村への個人情報提供の同意

「県及び市町村からの情報提供や案内はすべて可」と回答した人のうち、市町村内への個人情報提供を同意と回答した方が 93.6%と大多数を占めた。(図 5-2)

【図 5-2 市町村への個人情報提供の同意状況】



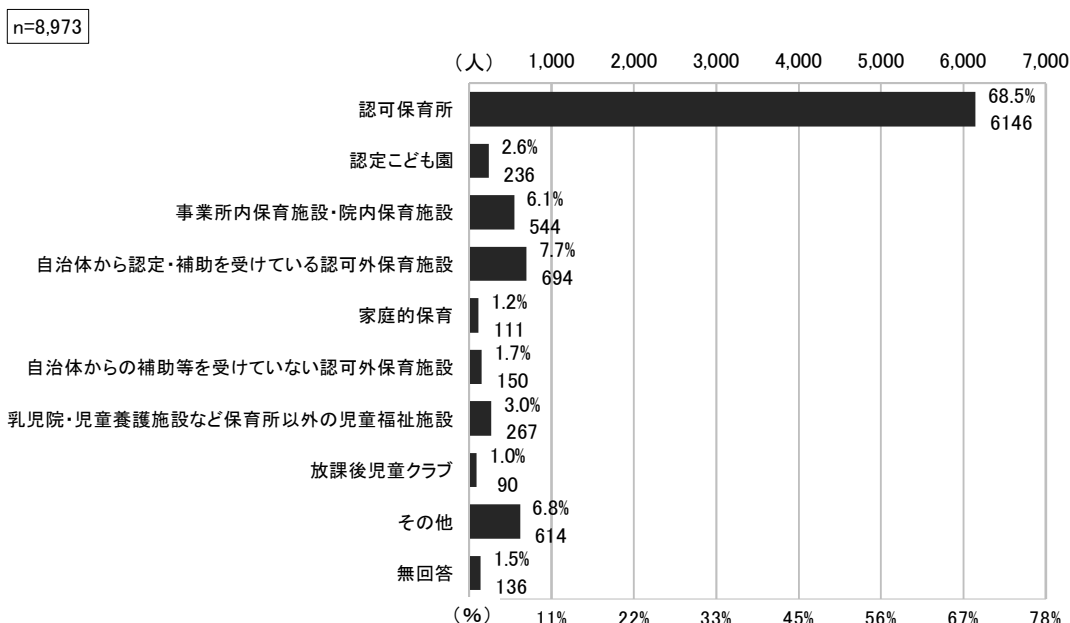
現在保育士(現在、保育士として就業中の方)回答

1. 現在の就業先について

(1) 施設種別

「認可保育所」での勤務が68.5%と他施設種別と比べ突出している。(図1-1)

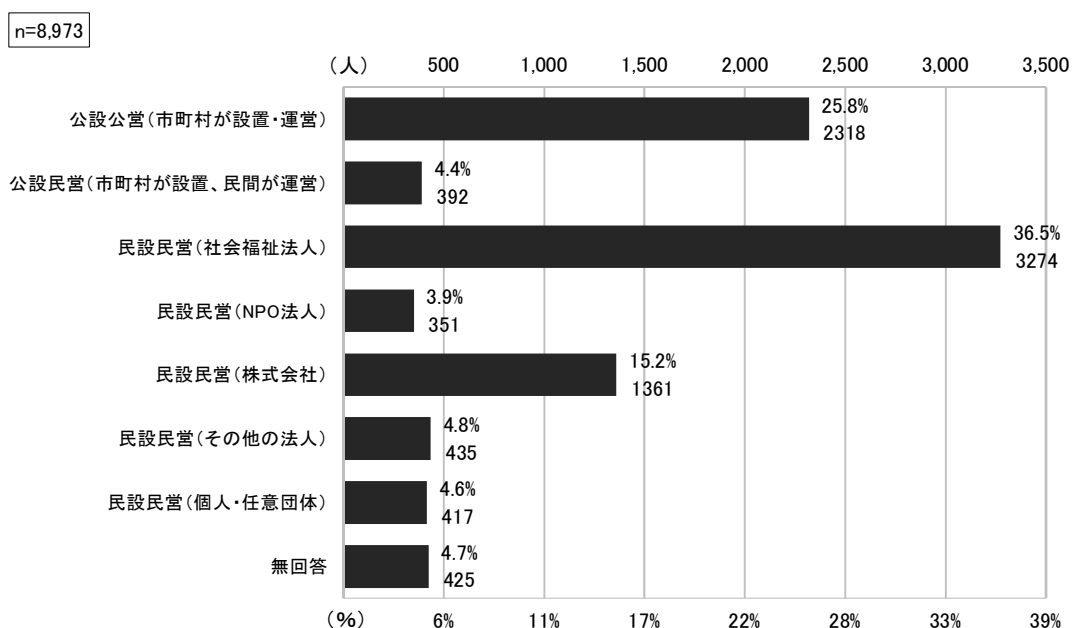
【図 1-1 施設種別】



(2) 勤務先の設置・運営主体について

「民設民営(社会福祉法人)」が36.5%で最も多く、次いで、「公設公営(市町村が設置・運営)」が25.8%、「民設民営(株式会社)」が15.2%の順となっている。(図1-2)

【図 1-2 施設運営主体】

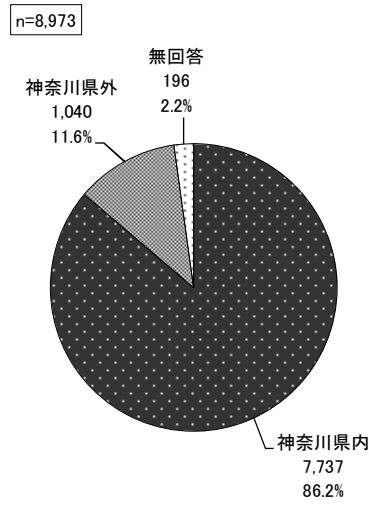


(3) 勤務先の所在地について

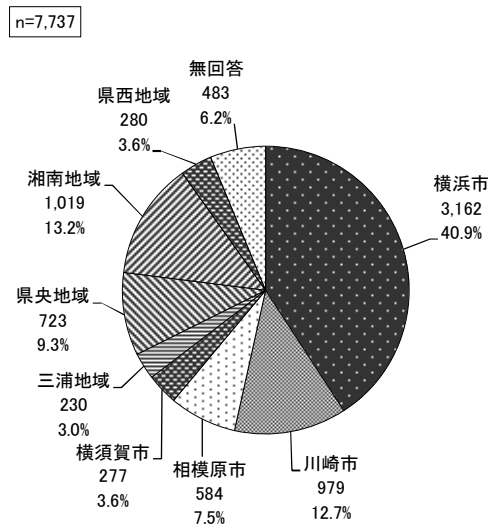
勤務先は「神奈川県内」が86.2%を占め(図1-3)、その中でも「横浜市」が40.9%と4割を占めている。(図1-4)

県外では、76.4%が「東京都」であった。(図1-5)

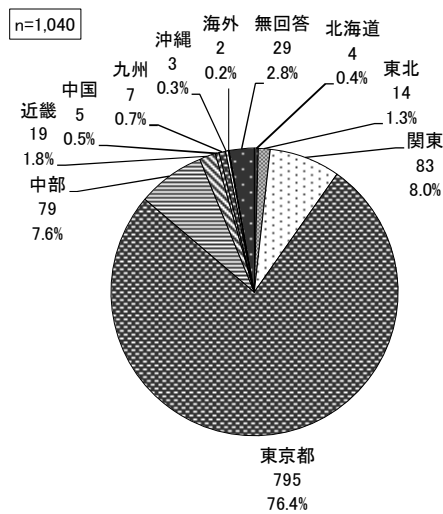
【図 1-3 施設所在地】



【図 1-4 県内施設所在地】



【図 1-5 神奈川県外施設所在地】

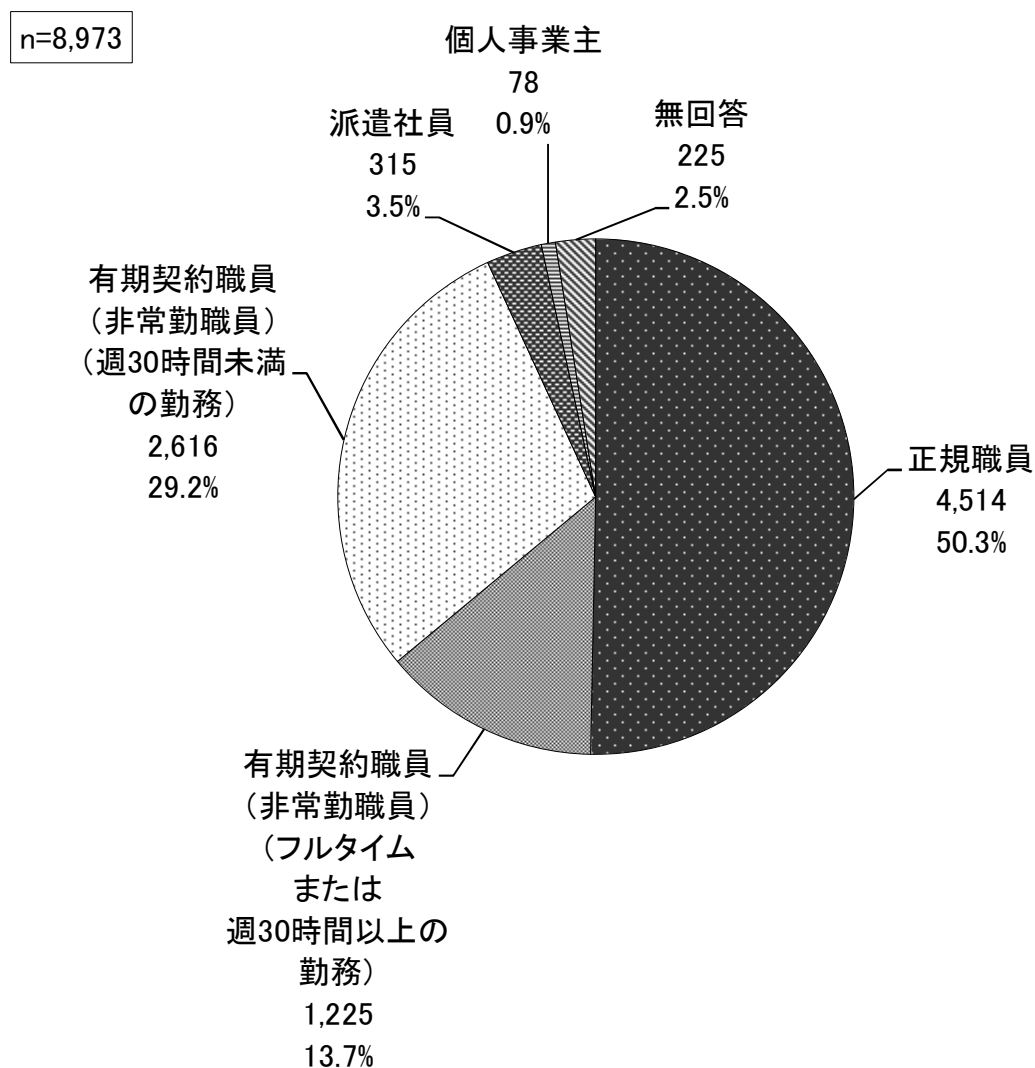


(4) 現在の雇用形態について

「正規職員」の割合が50.3%と半数を占めた。

次いで、「有期契約職員（非常勤職員）（週30時間未満の勤務）」が29.2%、「有期契約職員（非常勤職員）（フルタイムまたは週30時間以上の勤務）」が13.7%の順となっている。（図1-6）

【図 1-6 雇用形態】

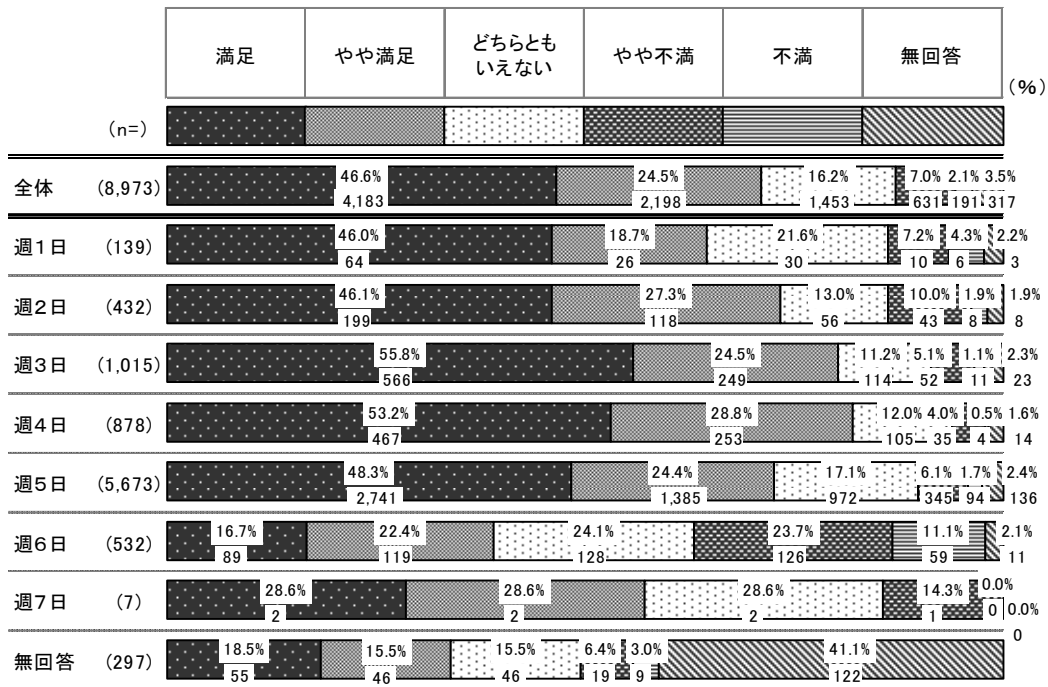


2. 現在の職場の実態と満足度について

(1) 勤務日数別の満足度

勤務日数については、「週3日」の満足度割合が最も高く、次いで「週4日」となっている。(図2-1)

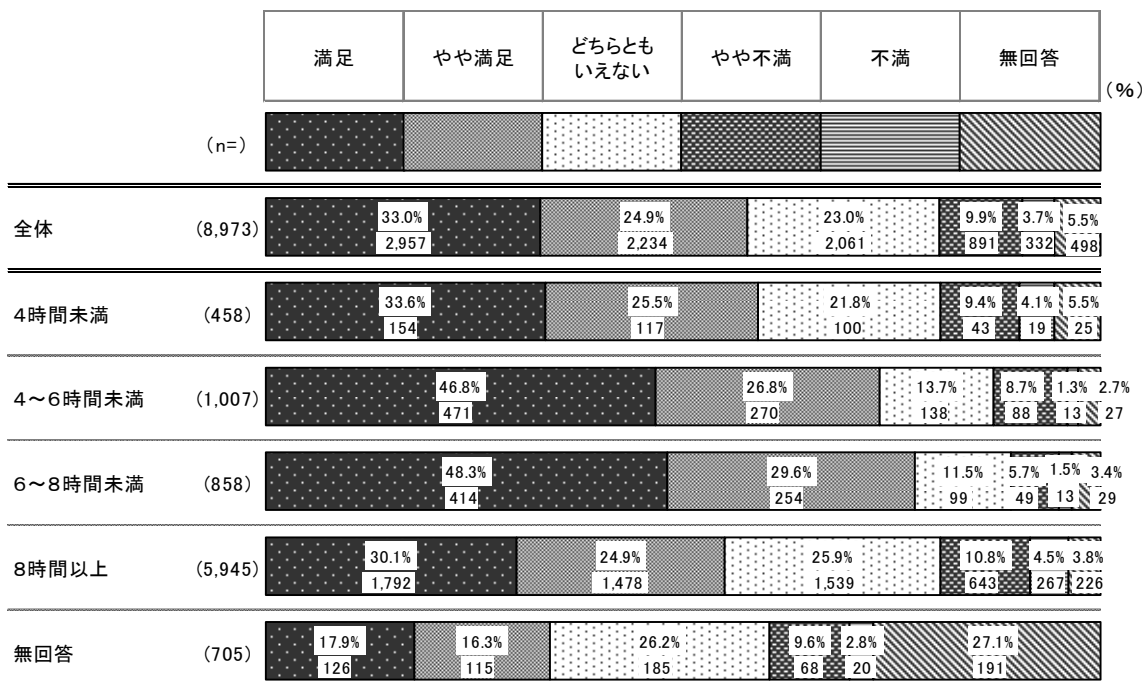
【図2-1 勤務日数別の満足度】



(2) 勤務時間別の満足度

勤務時間については「6～8時間未満」の満足度の割合が最も高く、次いで「4～6時間未満」が僅差で続いている。(図2-2)

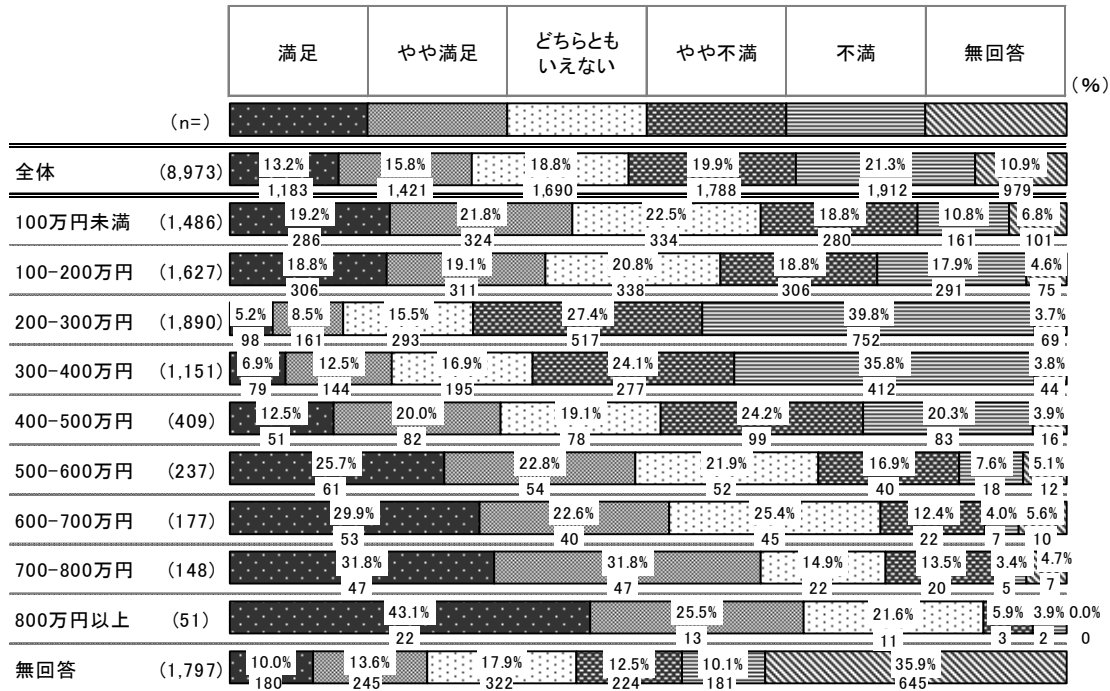
【図2-2 勤務時間別の満足度】



(3) 年収別の満足度

年収「800万円以上」の満足度の割合が最も高く、次いで「700-800万円」となった。一方、年収「200-300万円」における不満の割合が最も高くなっている。(図2-3)

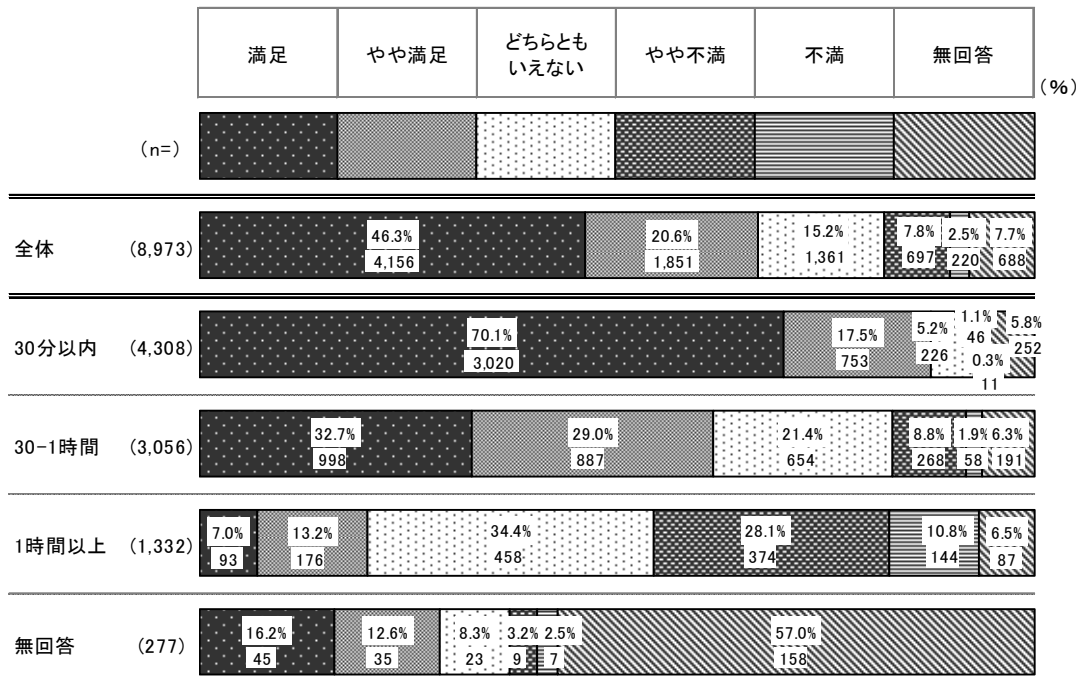
【図 2-3 年収別満足度】



(4) 通勤時間別の満足度

「30分以内」の満足度の割合が突出して高い。(図2-4)

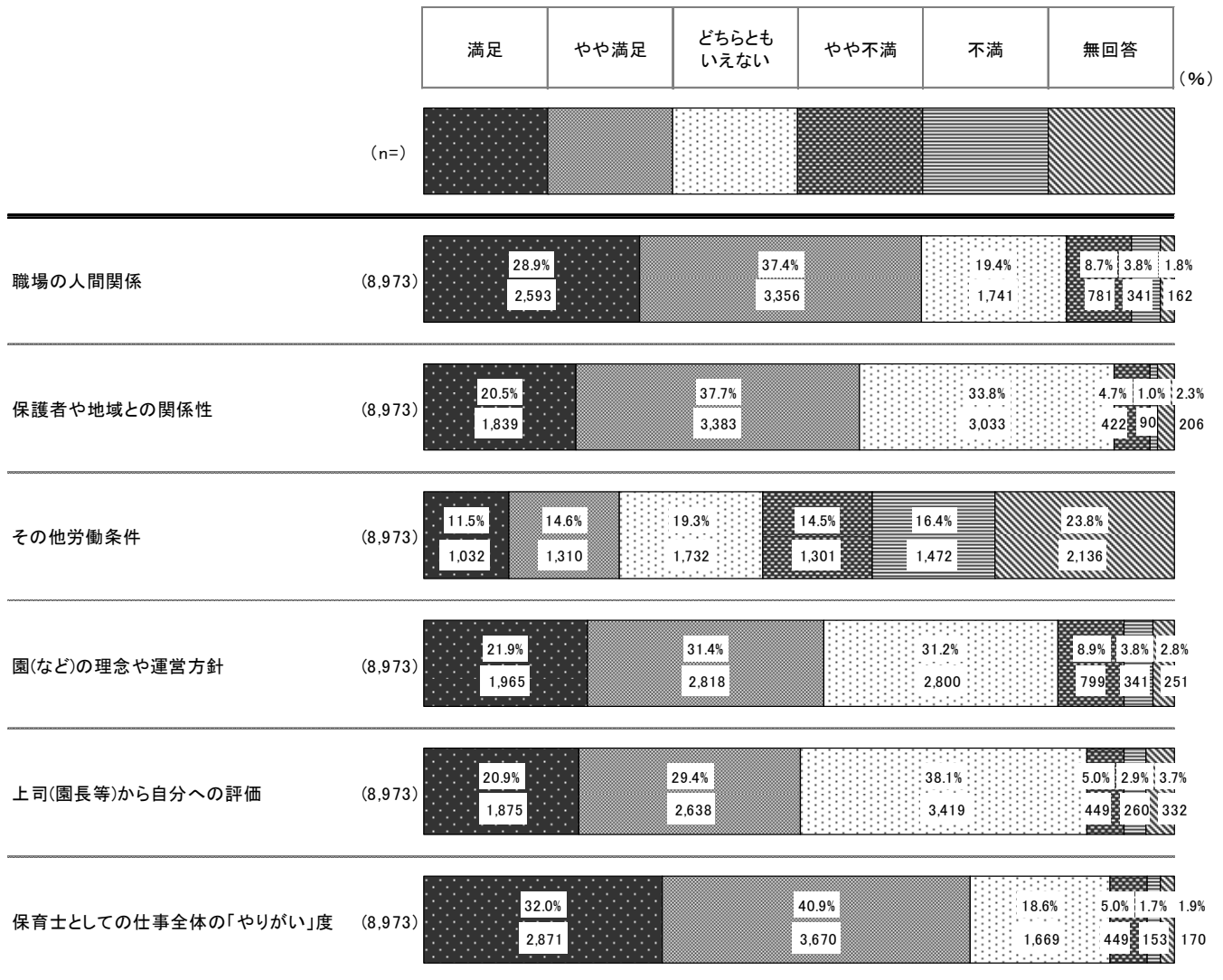
【図 2-4 通勤時間別満足度】



(5) その他条件の満足度

「保育士としての仕事全体の「やりがい」度」と「職場の人間関係」の満足度の割合が高い。(図 2-5)

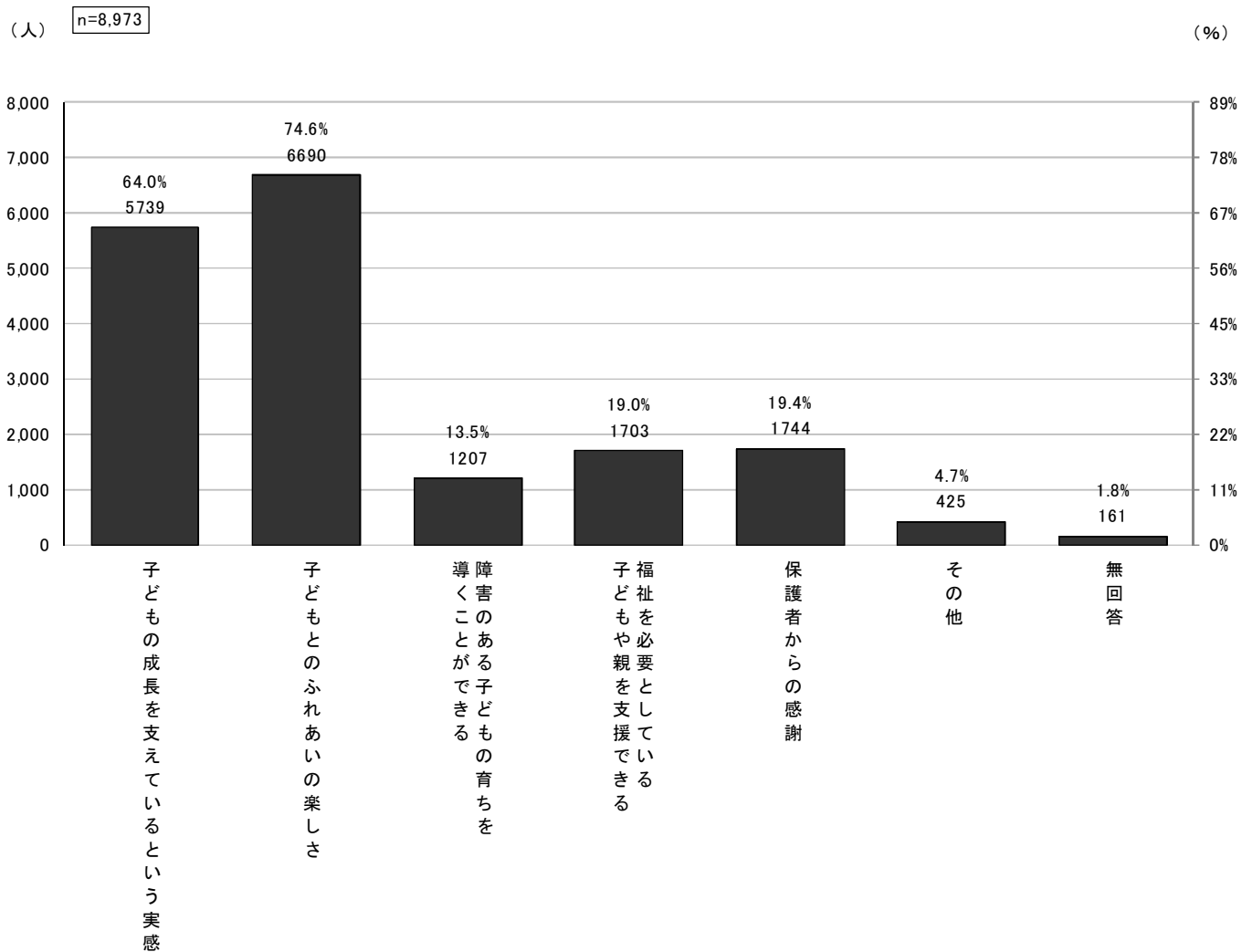
【図 2-5 その他条件の満足度】



3. 保育の仕事のやりがいや魅力について

「子どもとのふれあいの楽しさ」が74.6%と最も多く、次いで「子供の成長を支えているという実感」が64.0%となっている。(図3)

【図3 仕事のやりがいや魅力について】

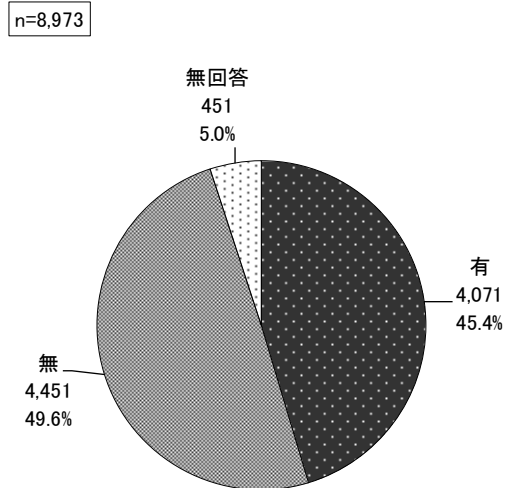


4. 途中で保育士の仕事を退職した経験について

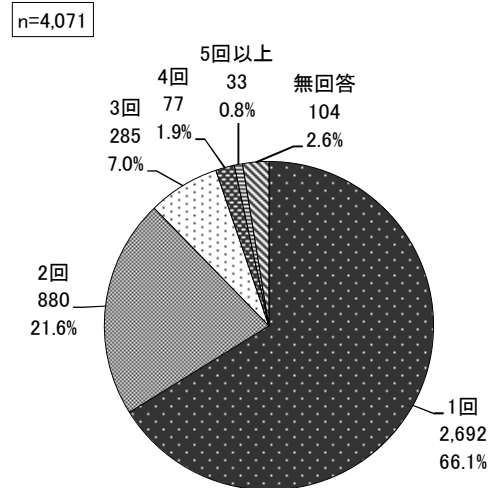
(1) 中途退職の経験

中途退職の有無は、「無」が「有」を若干上回り（図 4-1）、中途退職の経験者の 66.1%が退職回数「1回」と回答している。（図 4-2）

【図 4-1 保育士中途退職経験】



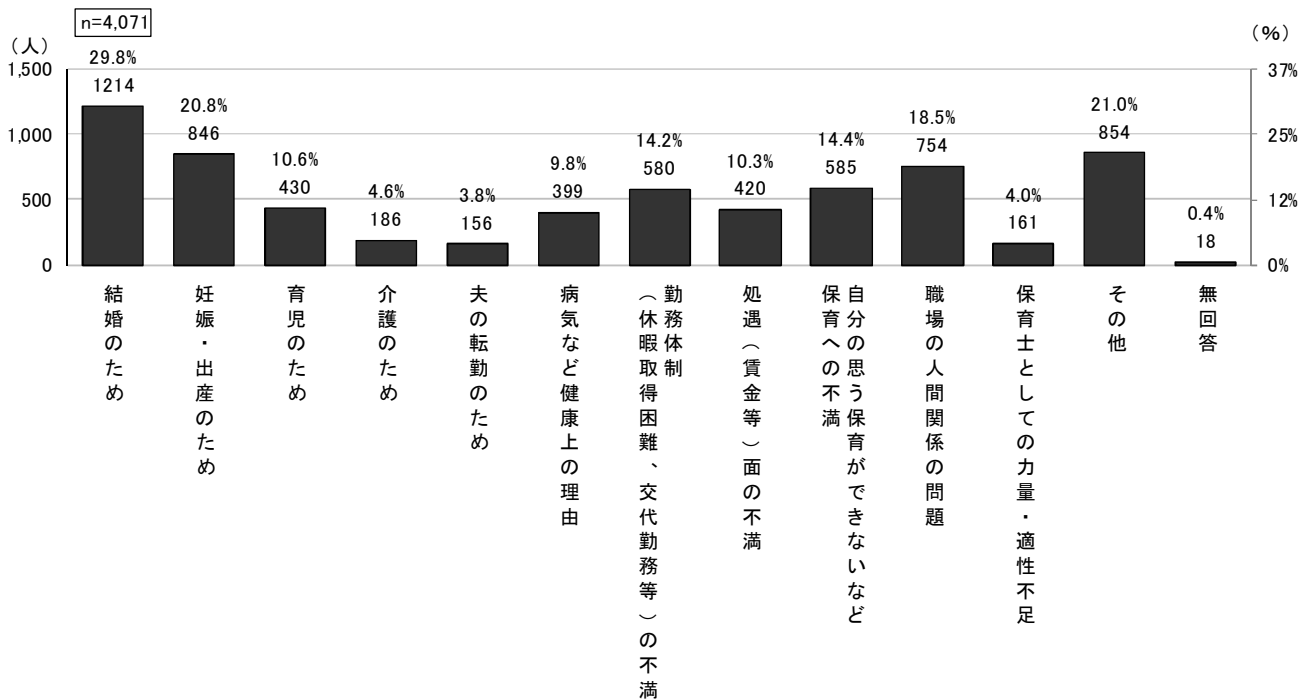
【図 4-2 退職回数】



(2) 中途退職の理由

中途退職の理由は、「結婚のため」、「妊娠・出産のため」、「職場の人間関係の問題」が上位となった。（図 4-3）

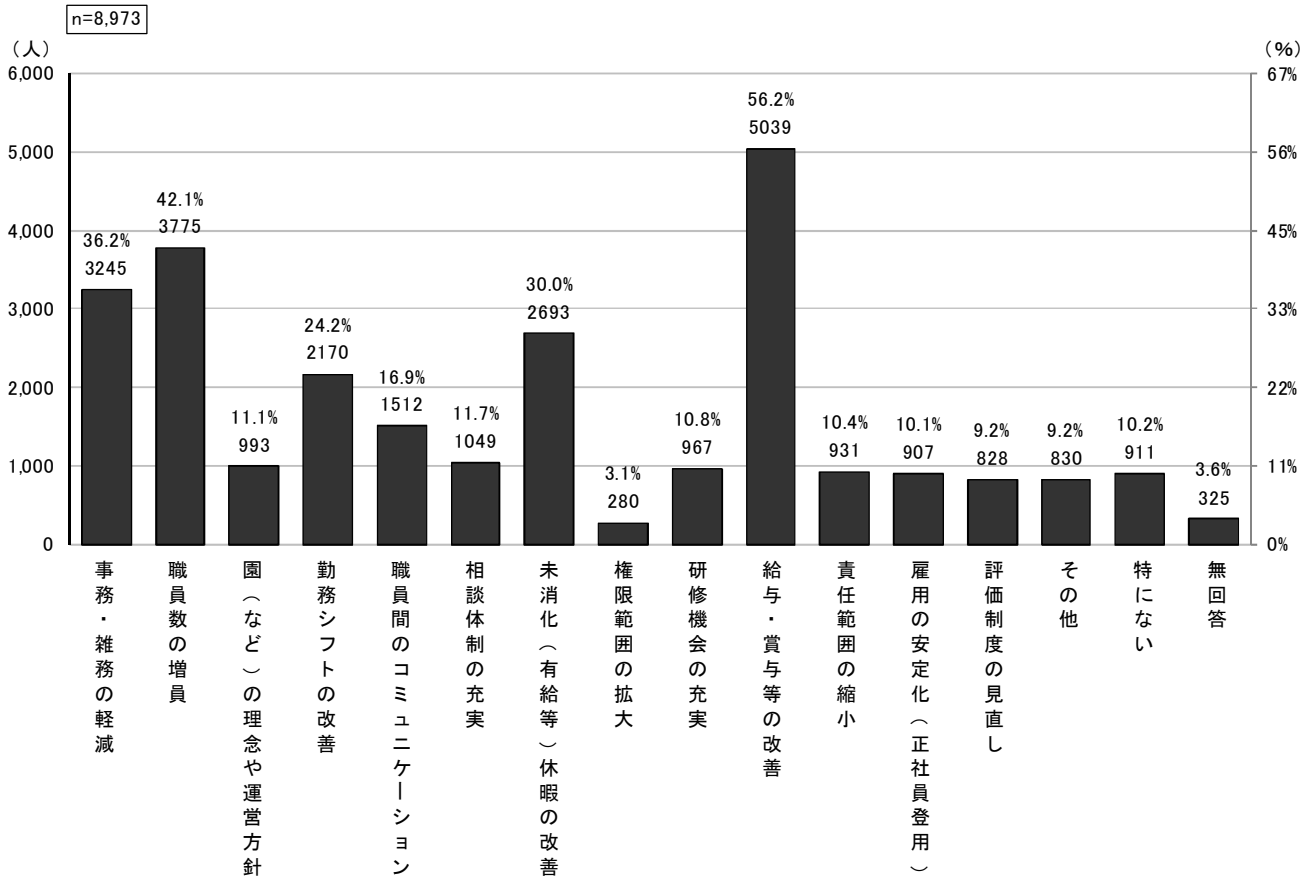
【図 4-3 中途退職の理由】



5. 現在の職場に対して改善してほしいと思っていることについて

「給与・賞与等の改善」が最も多く、次いで「職員数の増員」となった。(図5)

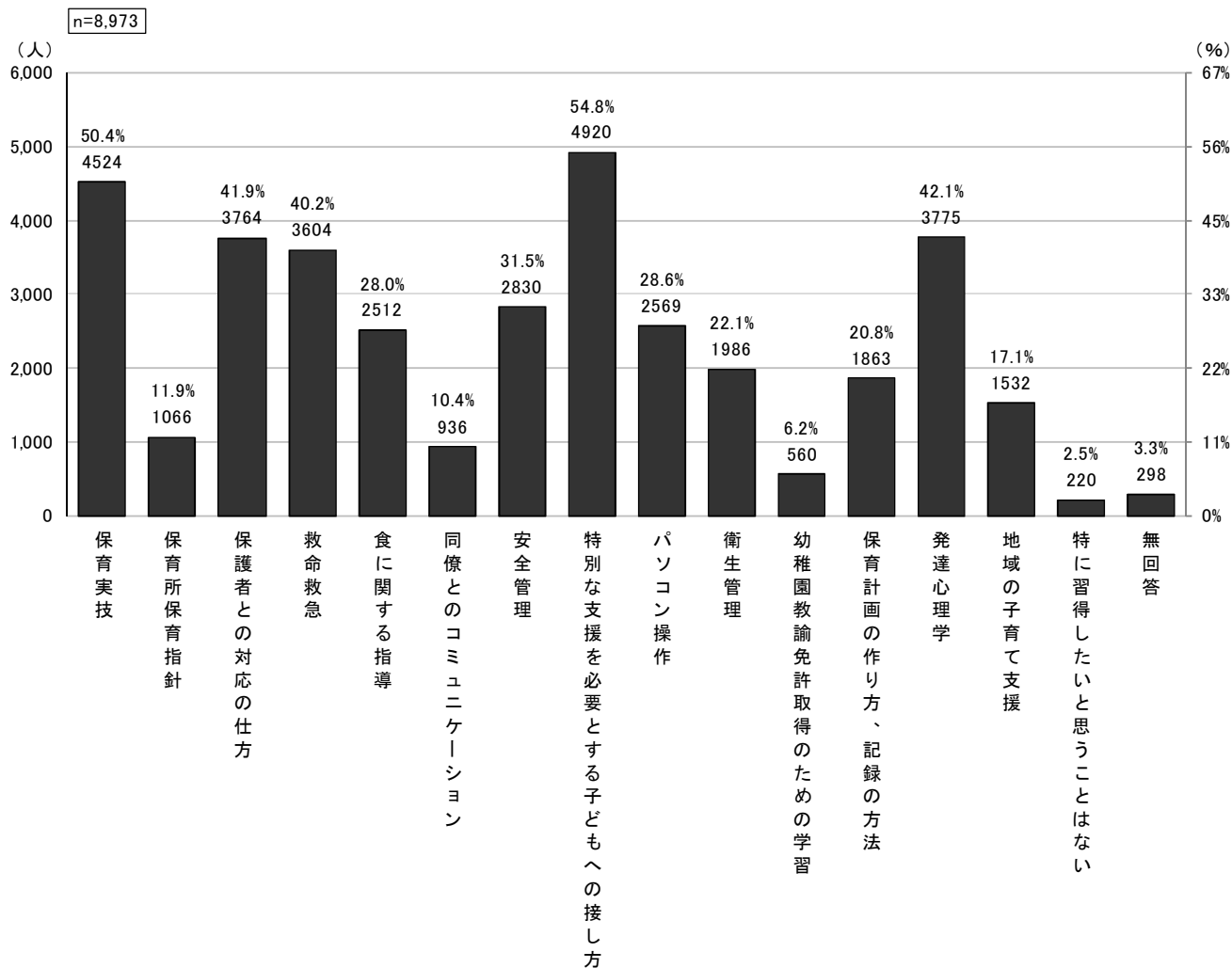
【図5 改善希望点】



6. 保育士として働くにあたり習得したい知識や技術について

「特別な支援を必要とする子どもへの接し方」が54.8%で最も多く、次いで「保育実技」が50.4%だった。(図6)

【図6 習得したい知識】



7. 最近1年間の研修参加状況について

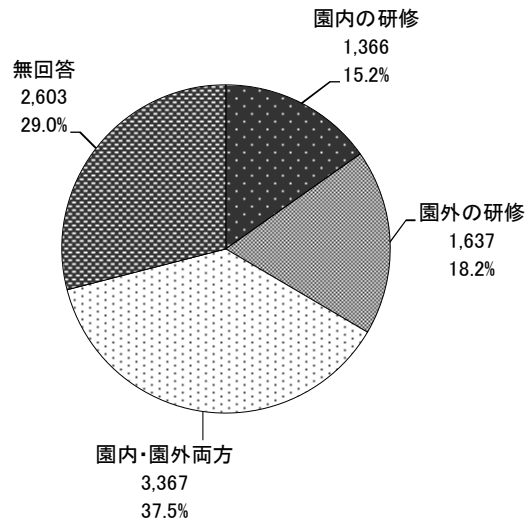
「園内、園外両方」が37.5%で最も多い。(図7-1)

園内研修の参加回数は、「1回」が22.8%、次いで「2回」が20.7%となった。(図7-2)

園外研修の参加回数も、「1回」が27.0%、次いで「2回」が22.3%となった。(図7-3)

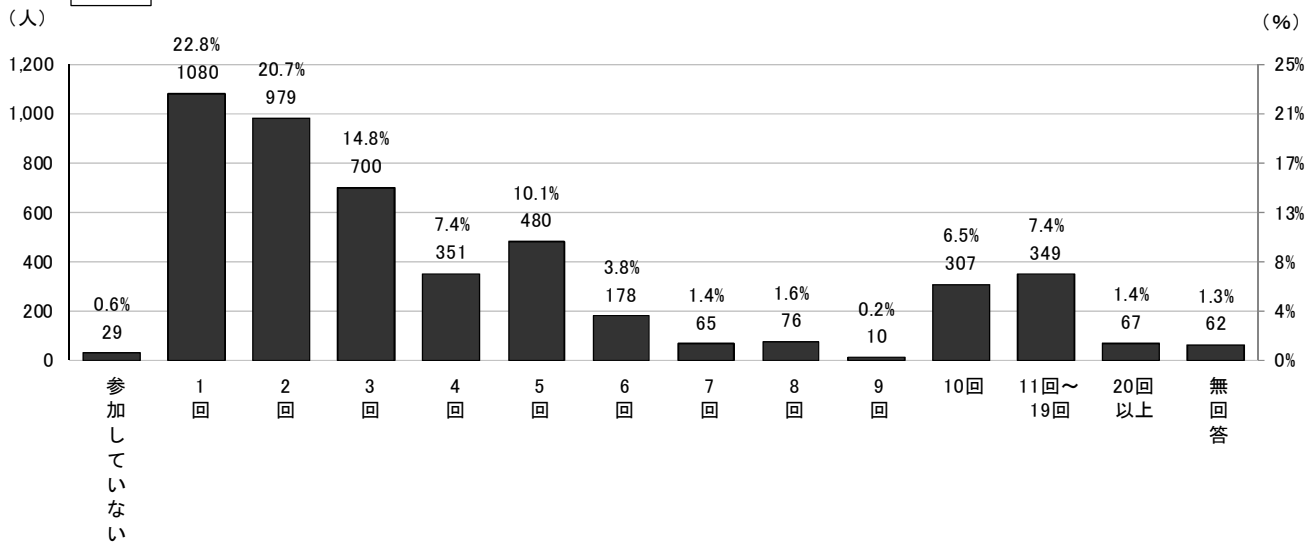
【図7-1 最近1年間の研修への参加状況】

n=8,973

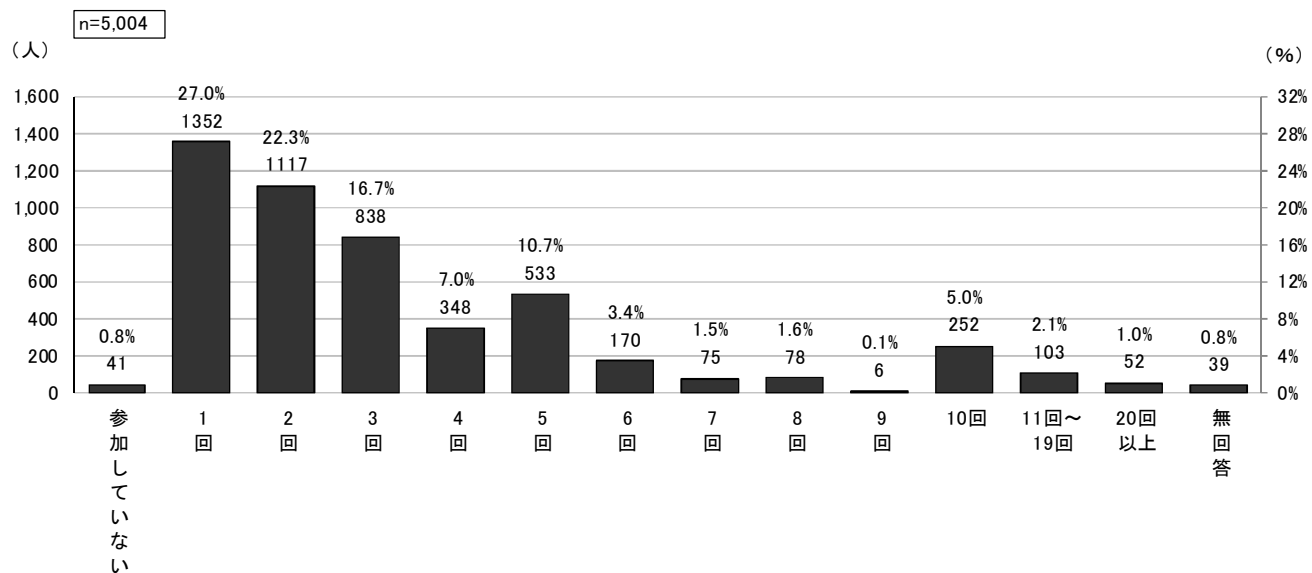


【図7-2 最近1年間の研修参加回数（園内）】

n=4,733



【図 7-3 最近1年の研修参加回数（園外）】

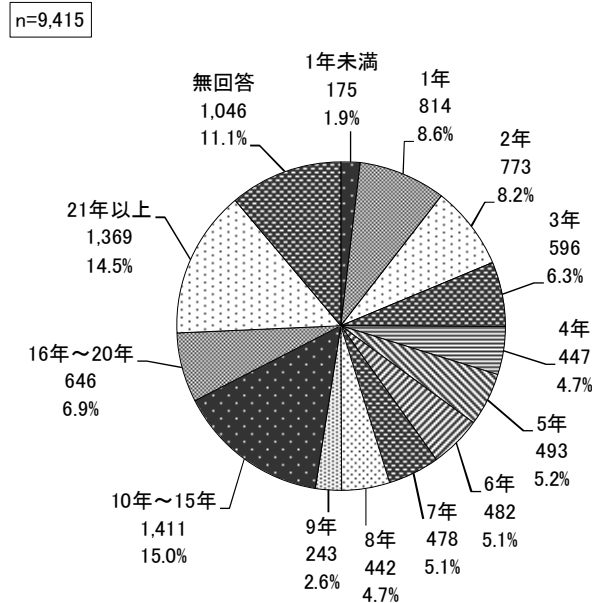


潜在保育士(現在、保育士として仕事に就いてない方)回答

1. 保育士として仕事をしていない期間(いわゆるブランク)について

ブランク期間は、「10年～15年」が15.0%と最も割合が高い。次いで、「21年以上」が14.5%、「1年」が8.6%となっている。(図1)

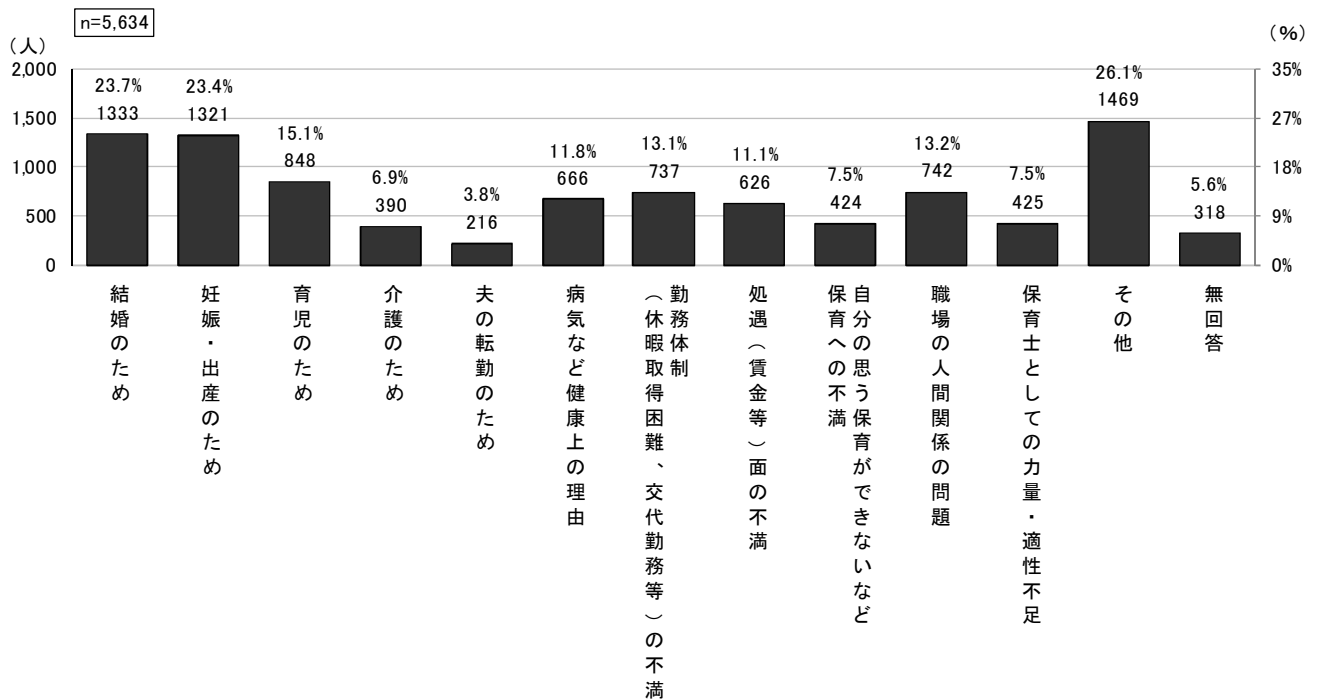
【図1 ブランク期間】



2. 保育士としての仕事を辞めた理由(※保育士として仕事の経験がある方のみの回答結果)

辞めた理由として、「結婚のため」が23.7%で最も多く、次いで「妊娠・出産のため」が23.4%となった。(図2)

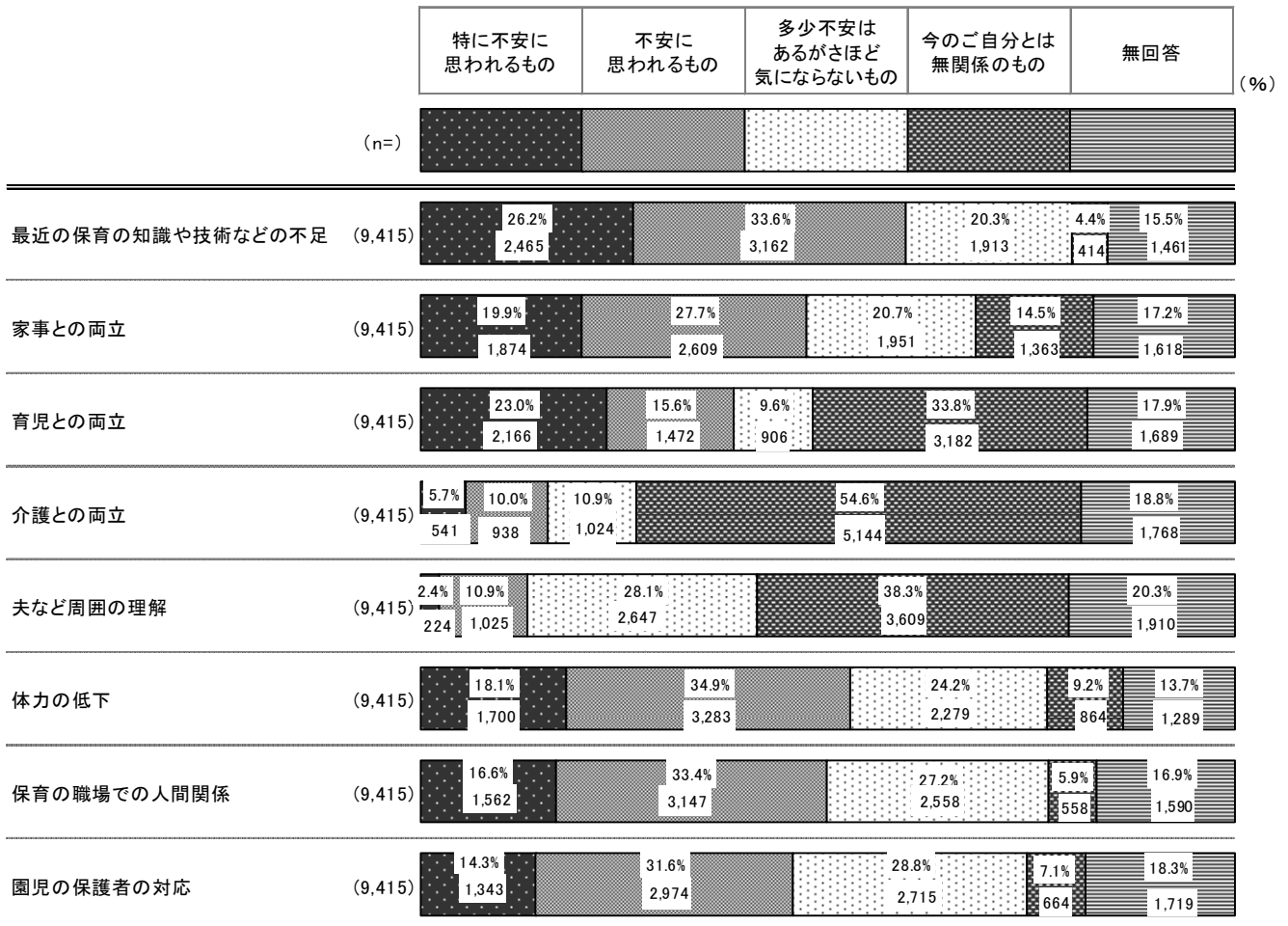
【図2 保育士としての仕事を辞めた理由】



3. 今後、保育士として仕事をする場合の不安な点について

「最近の保育の知識や技術などの不足」について、「特に不安」「不安」の合計が最も多い。(図3)

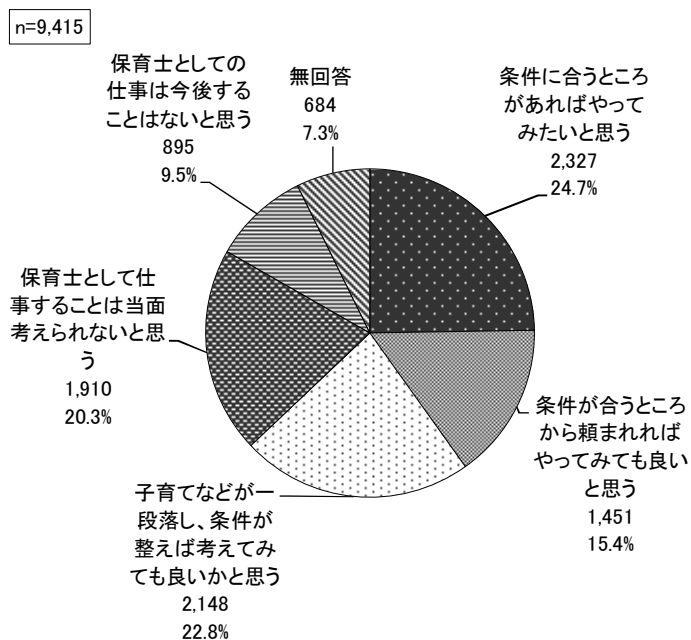
【図3 保育士として仕事をする場合の不安】



4. 神奈川県内で、保育士として仕事をする事について

「条件に合うところがあればやってみたいと思う」が24.7%で最も多い。次いで、「子育てなどが一段落し、条件が整えば考えてみても良いかと思う」が22.8%となった。(図4)

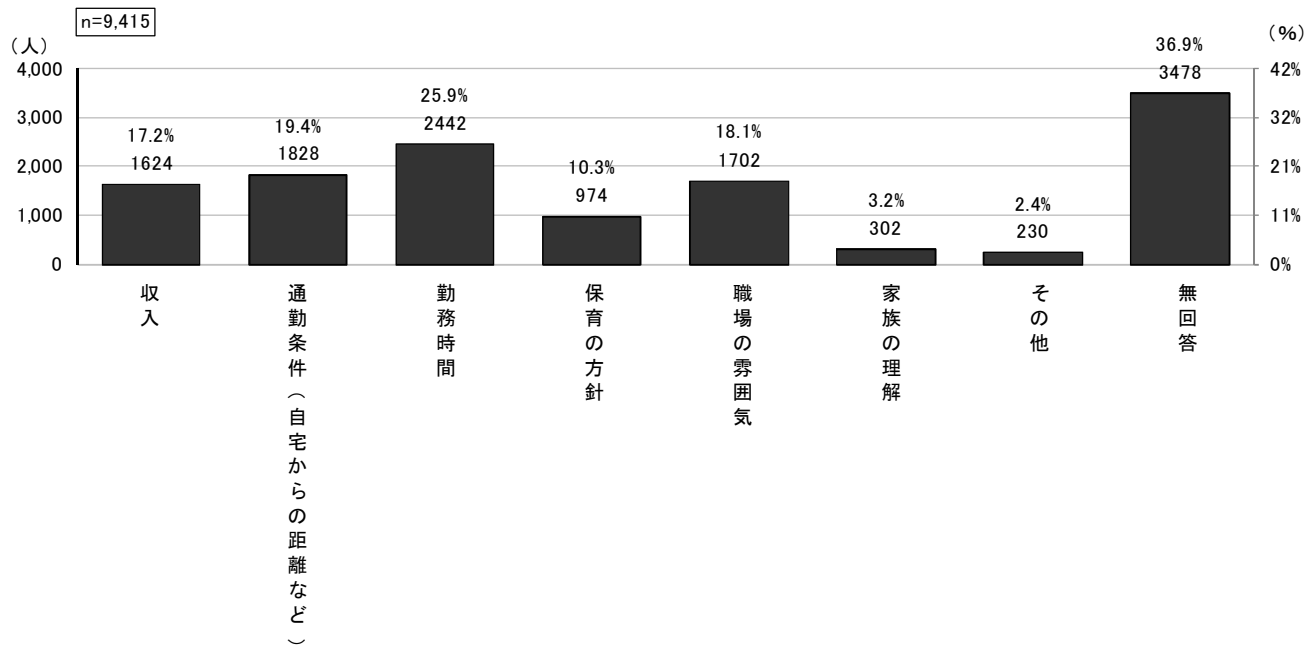
【図4 県内で保育士として仕事をする事について】



5. 保育士資格を活かして働く際に重視する点について

「勤務時間」が25.9%で最も多く、次いで「通勤条件」が19.4%、「職場の雰囲気」が18.1%となった。(図5)

【図5 資格を活かして働くために重視する点】



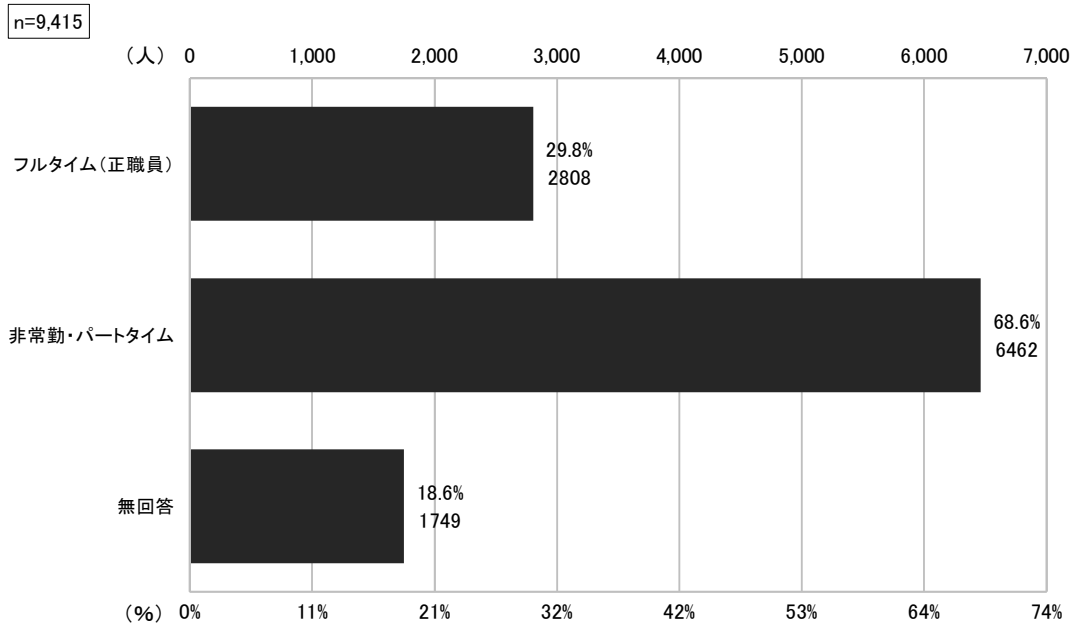
6. 保育士として仕事をする場合の条件について

(1) 勤務形態等について

ア 希望する勤務形態について

「フルタイム」が29.8%、「非常勤・パートタイム」が68.6%となった。(図6-1)

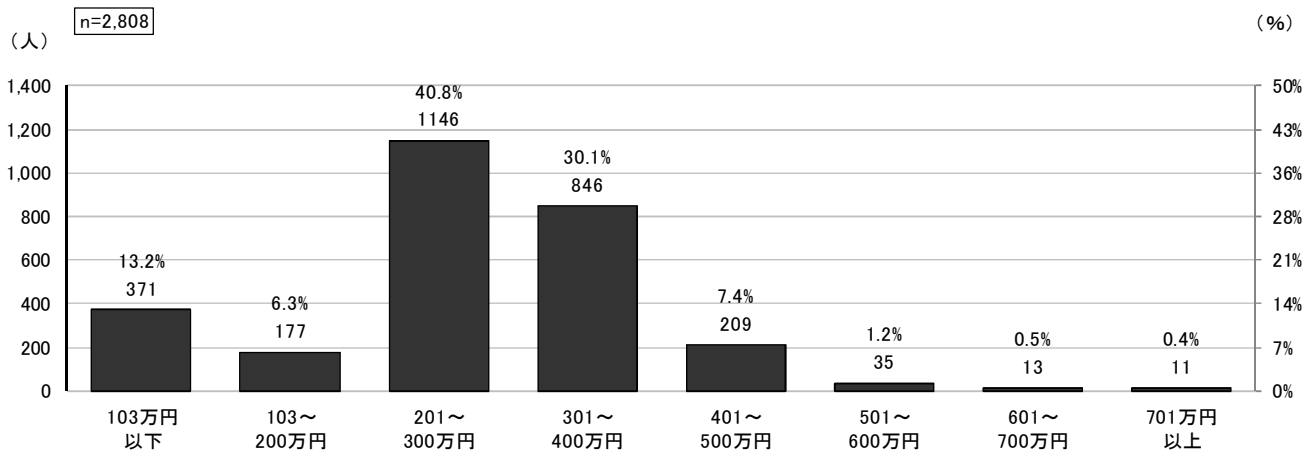
【図6-1 希望勤務形態】



イ フルタイムの場合、希望する年収について

「201～300万円」が40.8%で最も多く、次いで「301～400万円」となった。(図6-2)

【図6-2 フルタイム勤務での希望年収】

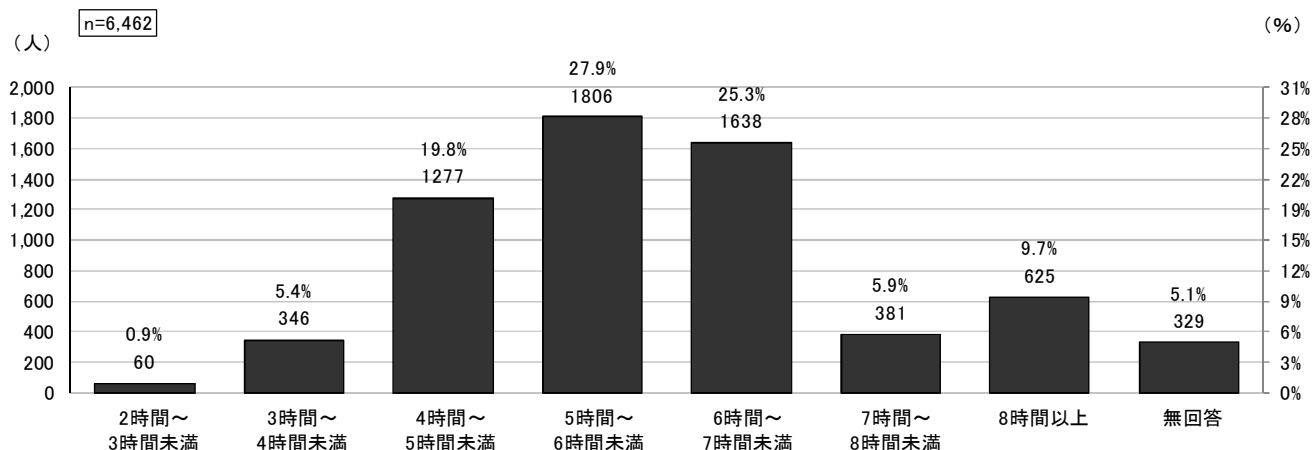


ウ 非常勤、パートタイムの場合、希望する一日あたりの勤務時間数について

「5時間～6時間未満」が27.9%で最も多く、次いで「6時間～7時間未満」が25.3%となった。

(図 6-3)

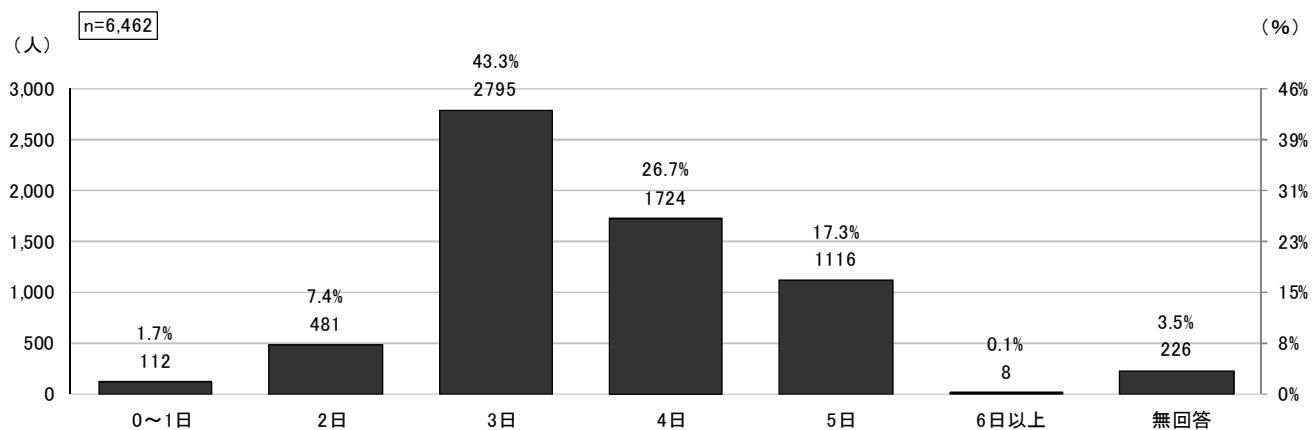
【図 6-3 非常勤パートタイムの1日の希望勤務時間】



エ 非常勤、パートタイムの場合、希望する週あたりの希望勤務日数について

週「3日」が43.3%で最も多い。次いで、週「4日」が26.7%となった。(図 6-4)

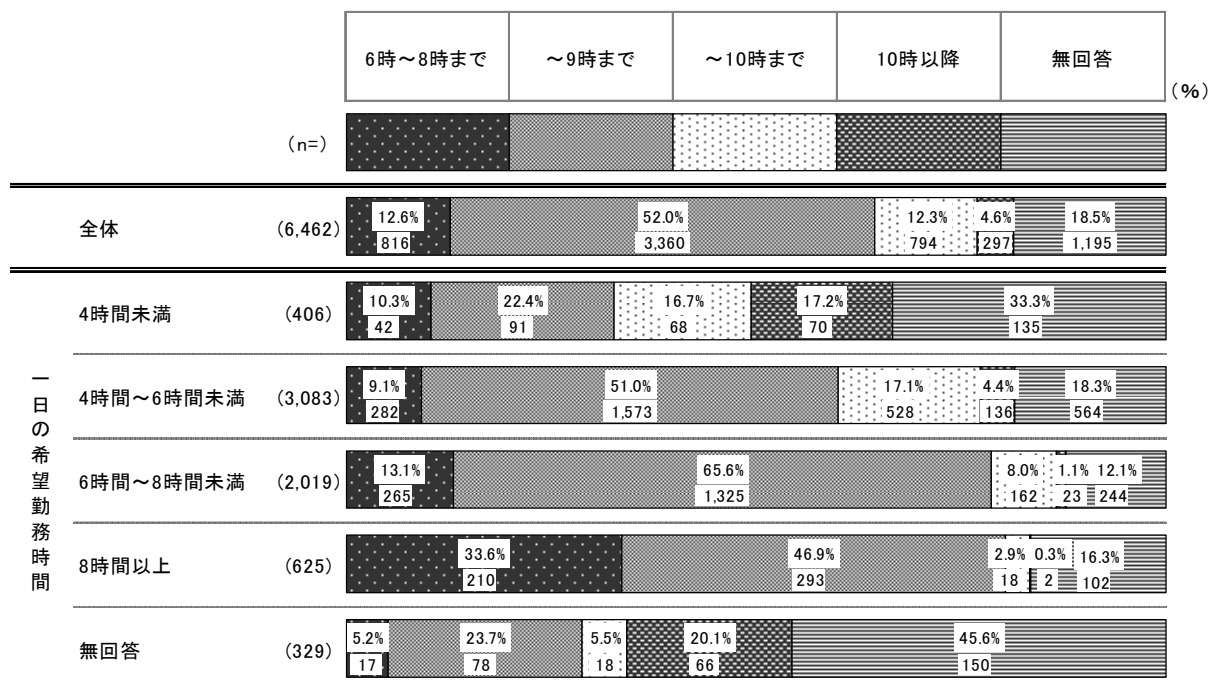
【図 6-4 非常勤パートタイムの週あたりの希望勤務日数】



オ 非常勤、パートタイムの場合、希望する始業時間帯について

「8時～9時」からの始業を希望する割合が52.0%と半数を占めた。(図6-5)

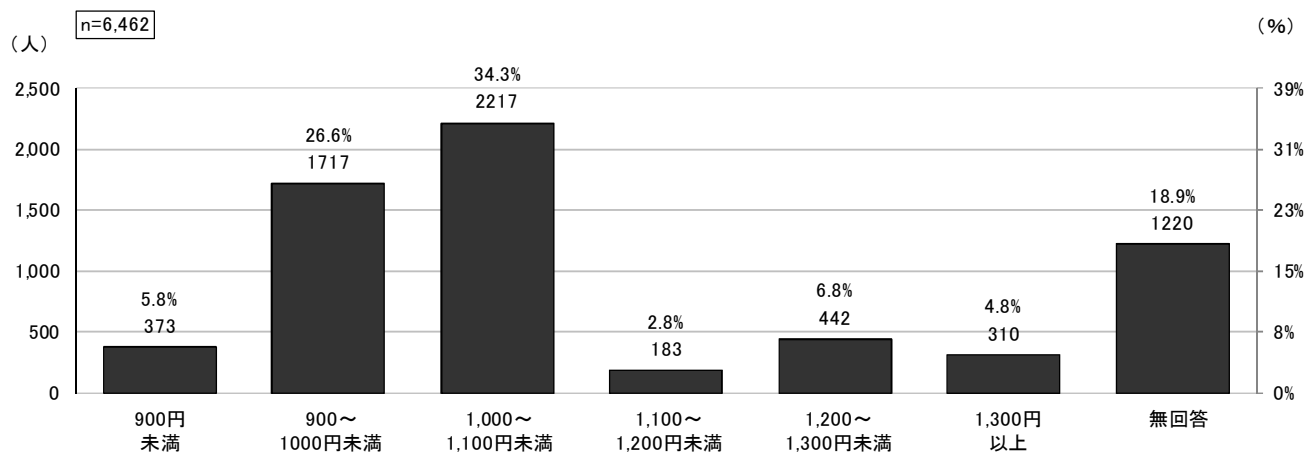
【図6-5 非常勤・パートタイムの希望始業時間】



カ 非常勤、パートタイムの場合、希望する時給について

「1,000～1,100円未満」の希望者が最も多く、次いで「900～1,000円未満」となった。(図6-6)

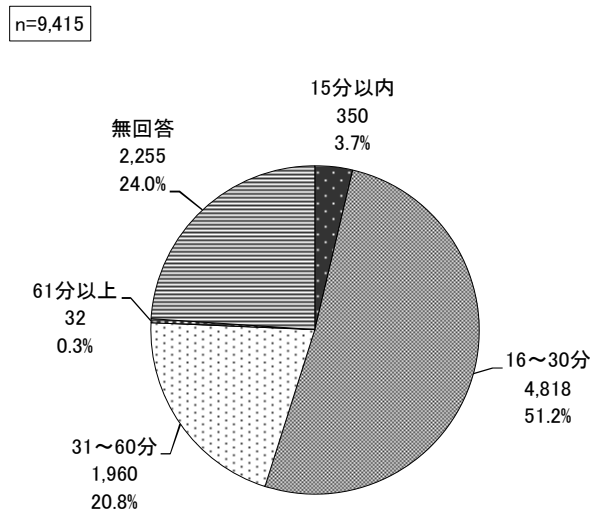
【図6-6 非常勤・パートタイムの希望時給】



(2) 希望通勤時間について

「16～30分」が51.2%と半数を占めた。(図6-7)

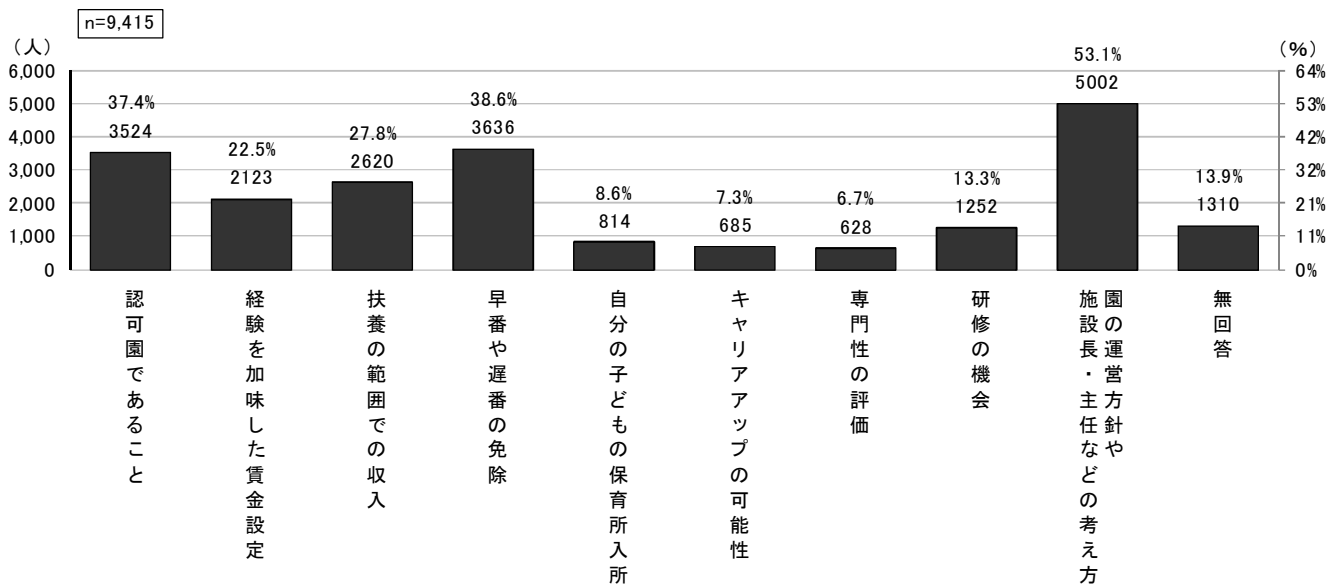
【図 6-7 希望通勤時間】



(3) 重視する条件について

「園の運営方針や施設長・主任などの考え方」が53.1%で最も多い。次いで、「早番や遅番の免除」が38.6%、「認可園であること」が37.4%となった。(図6-8)

【図 6-8 働くために重視する条件】



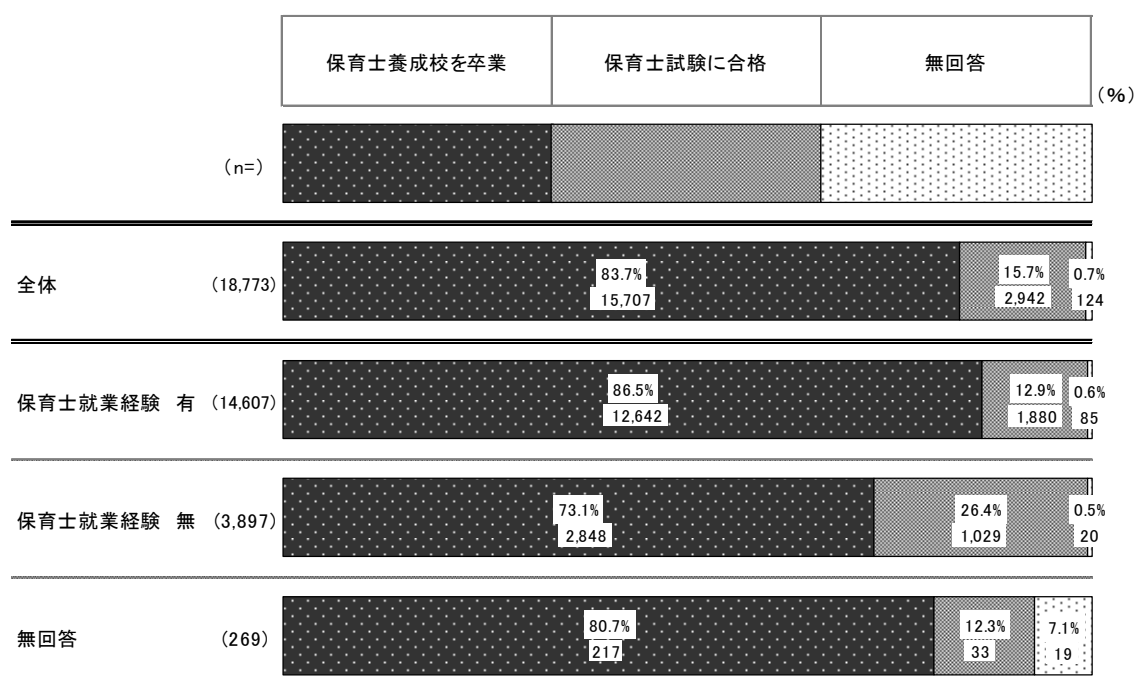
クロス集計

1. 資格取得方法と保育士としての就業経験の有無

「保育士就業経験 有」と回答した方の86.5%が「保育士養成校を卒業」して保育士資格を取得している。

「保育士就業経験 無」と回答した方は保育士試験に合格の割合が26.4%と「保育士就業経験 有」の12.9%に比べ高い。(図1)

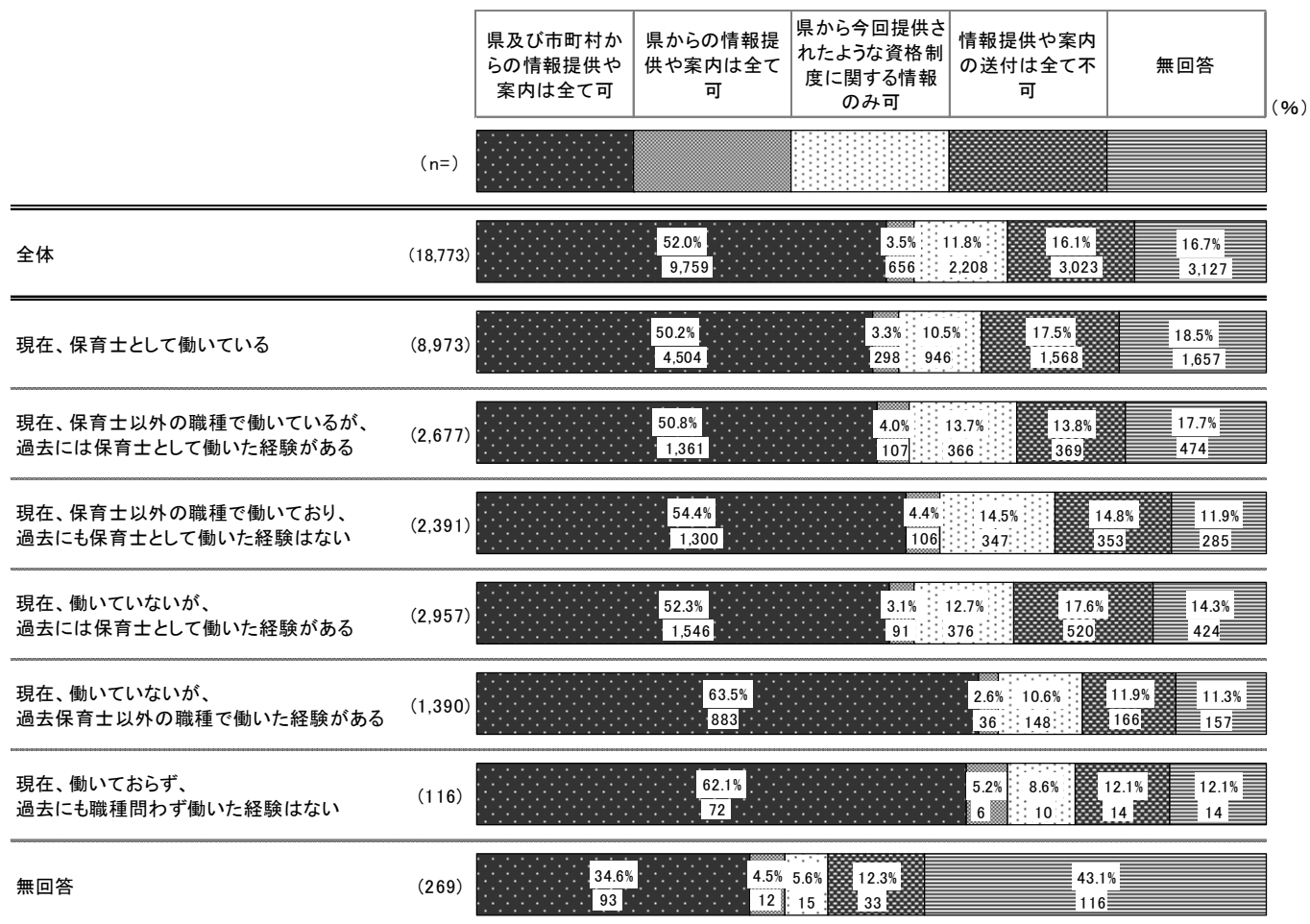
【図1 資格取得方法と保育士としての就業経験の有無】



3. 情報提供の案内と現在の就業状況

保育士としての就業有無と他職種での就業有無にかかわらず、「県及び市町村からの情報提供や案内は全て可」と答えた方が最も多い。(図3)

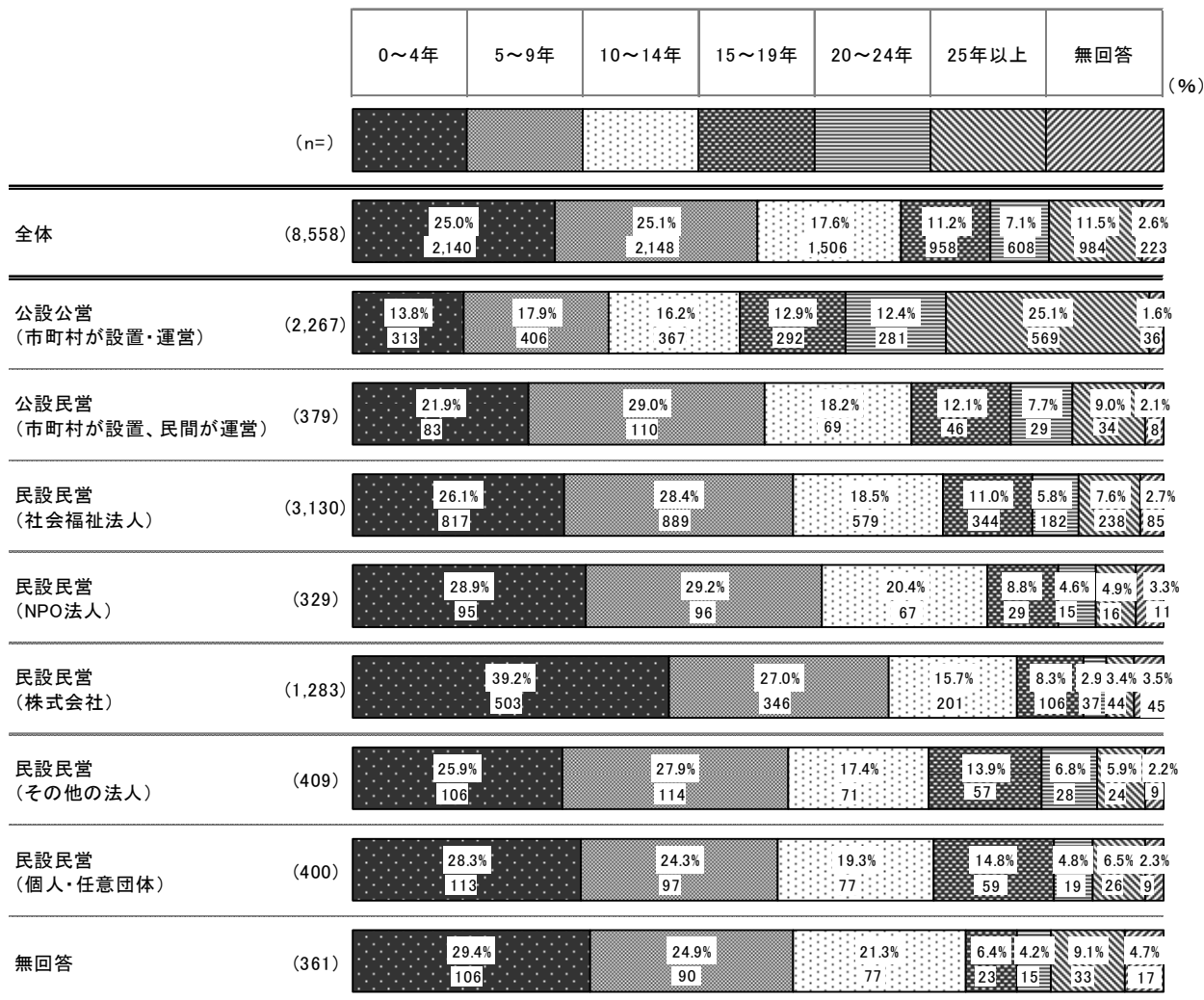
【図3 情報提供の案内と現在の就業状況】



4. 現在保育士として就業中の方の保育士としての就業通算年数と就業先の設置運営主体

「民設民営（株式会社）」は就業年数が「0～4年」と答えた方が39.2%と他設置運営主体に比べ高い。「公設公営（市町村が設置・運営）」では、就業年数が15年以上と答えた方の割合が50.4%となり、他設置運営主体に比べ突出して高い。（図4）

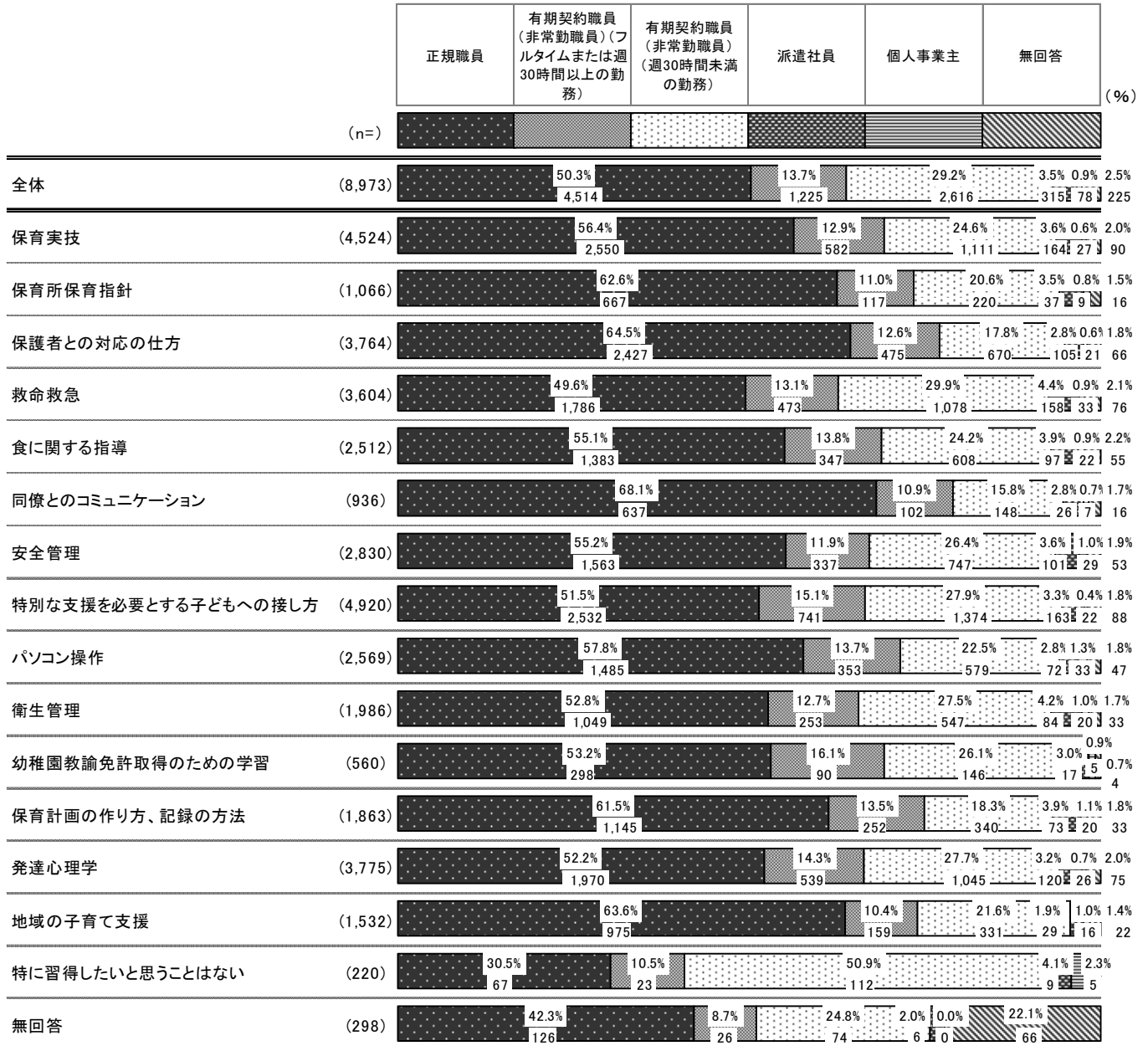
【図4 保育士就業中の方の保育士就業通算年数と就業先設置運営主体】



5. 現在保育士として就業中の方の雇用形態と習得したい知識や技術

習得したい知識や技術について、「同僚とのコミュニケーション」と回答した方の68.1%「保護者との対応の仕方」と回答した方の64.5%「地域の子育て支援」と回答した方の63.6%「保育所保育方針」と回答した方の62.6%「保育計画の作り方、記録の方法」と回答した方の61.5%が正規職員となった。

【図 5 現在保育士として就業中の方の雇用形態と習得したい知識や技術】

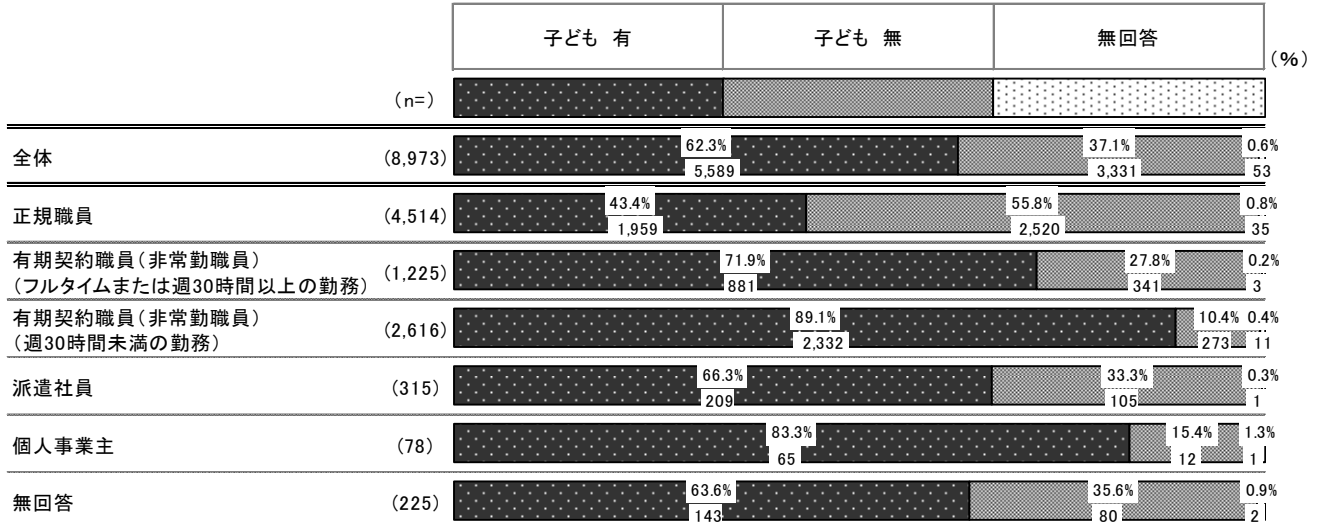


6. 現在保育士として就業中の方の子どもの有無(末子年齢)と雇用形態

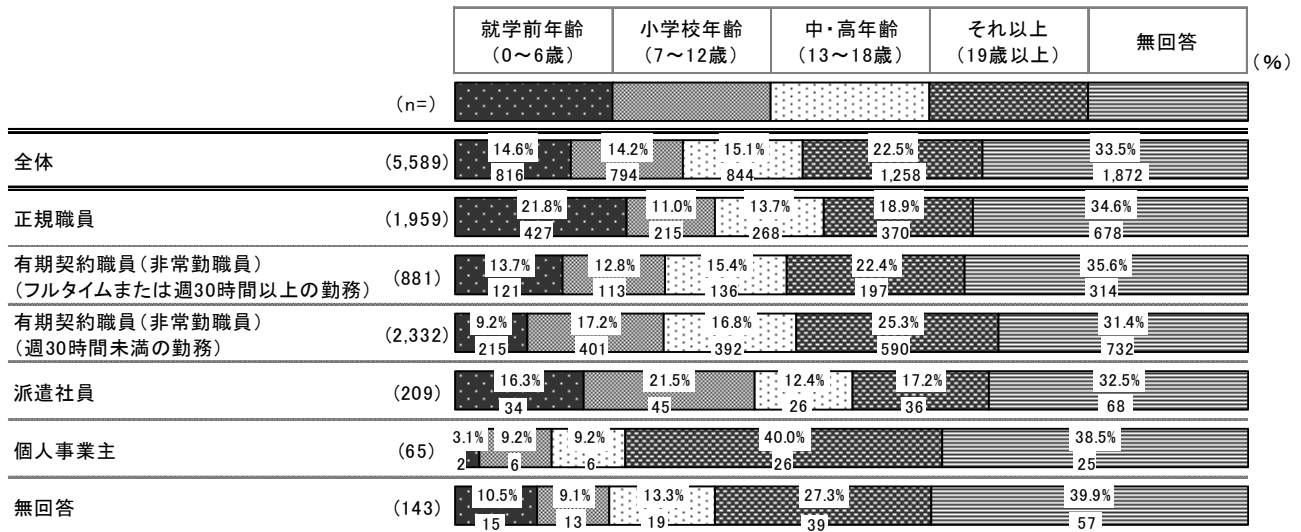
「有期契約社員(非常勤職員)(週30時間未満の勤務)」の方は、89.1%が「子ども有」と回答している。「正規職員」は「子ども有」43.4%、「子ども無」が55.8%と他の雇用形態と大きく差異が見られた。(図6-1)

また、「正規職員」回答者の末子年齢は「就学前年齢」が21.8%と他の雇用形態に比べ高い結果が見られた。(図6-2)

【図6-1 現在保育士として就業中の方の子どもの有無と雇用形態】



【図6-2 現在保育士として就業中の方の末子年齢と雇用形態】

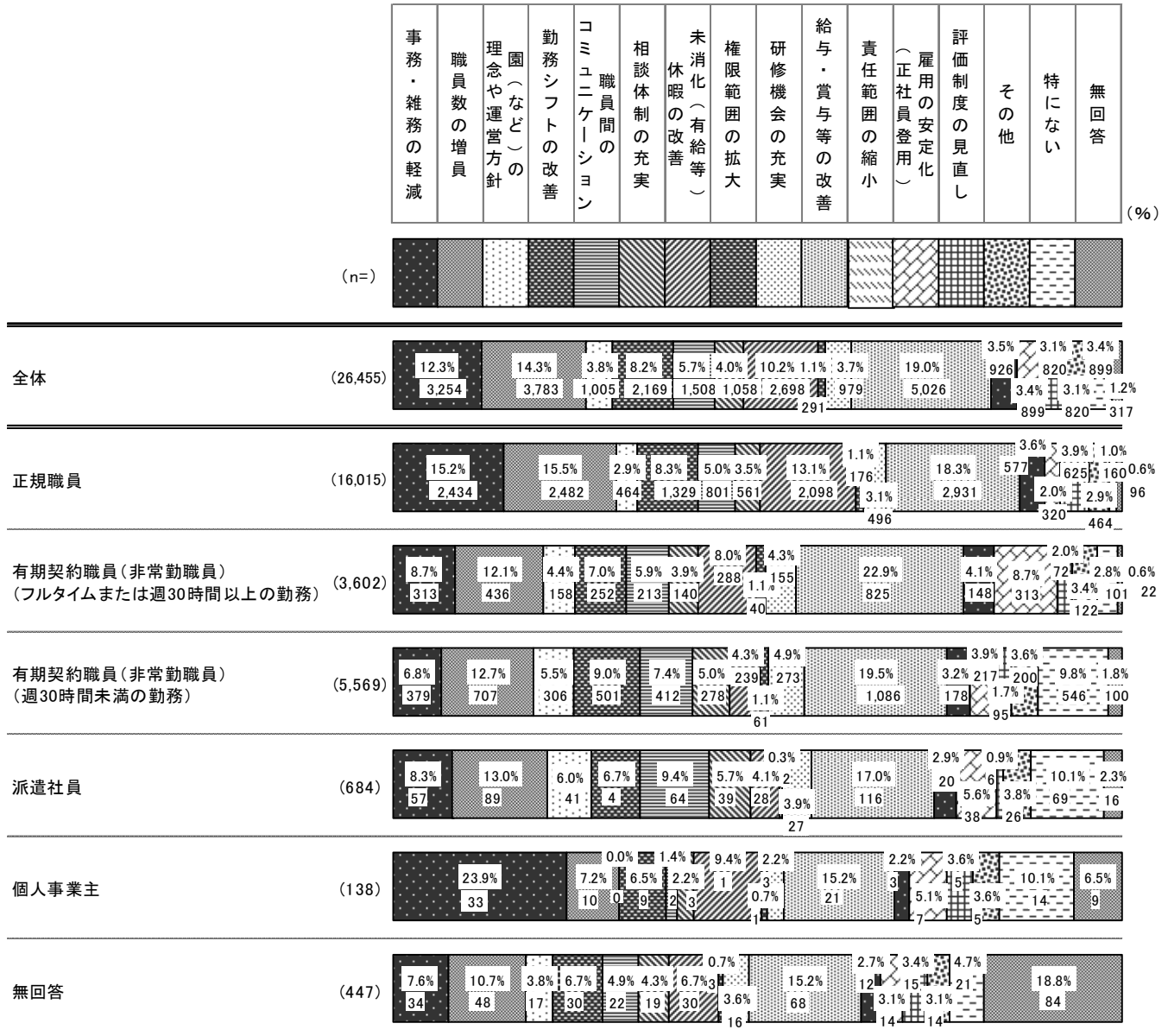


7. 現在保育士として就業中の方の職場への改善要望と雇用形態

「個人事業主」を除き、「給与・賞与等の改善」を要望する比率が最も高く、「有期契約職員（非常勤職員）（フルタイムまたは週30時間以上の勤務）」では22.9%となった。

対して「個人事業主」は「事務・雑務の軽減」が他の雇用形態と比べて高い。（図7）

【図7 現在保育士として就業中の方の職場への改善要望と雇用形態】



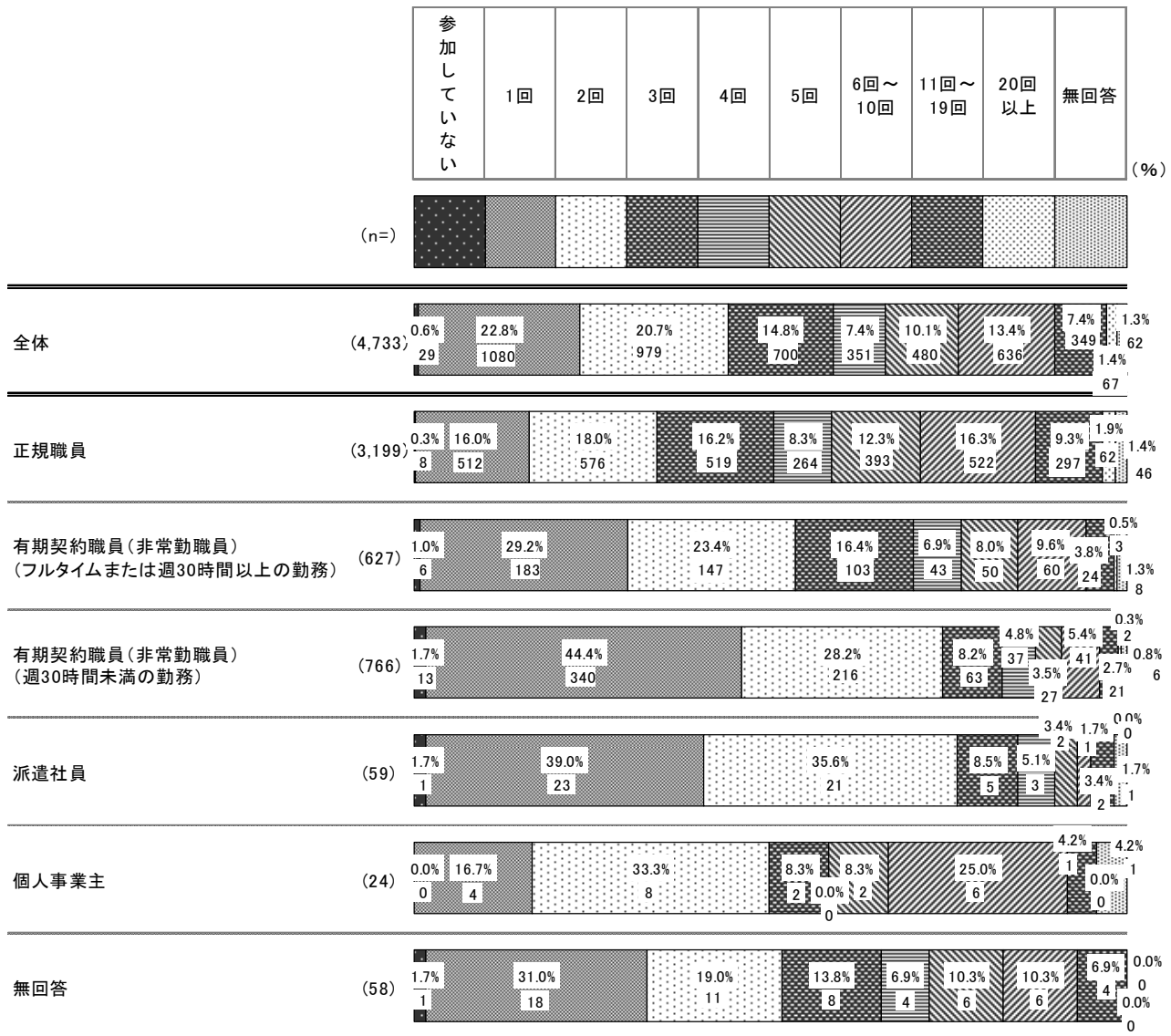
8. 現在保育士として就業中の方の研修参加状況と雇用形態

(1) 園内での研修

最近1年の園内での研修参加回数は、「正規職員」については、4回以上が48.1%と突出して高い。次いで、「個人事業主」で37.5%、「有期契約職員（非常勤職員）（フルタイムまたは週30時間以上の勤務）」で28.7%となった。

平均参加回数では、「正規職員」の5.02回に対して、「個人事業主」で4.00回、「有期契約職員（非常勤職員）（フルタイムまたは週30時間以上の勤務）」では3.34回、「週30時間未満の勤務」は2.47回となり、「派遣社員」では2.34回と、雇用形態によって差が生じている。（図8-1）

【図 8-1 現在保育士として就業中の方の園内研修参加状況と雇用形態】

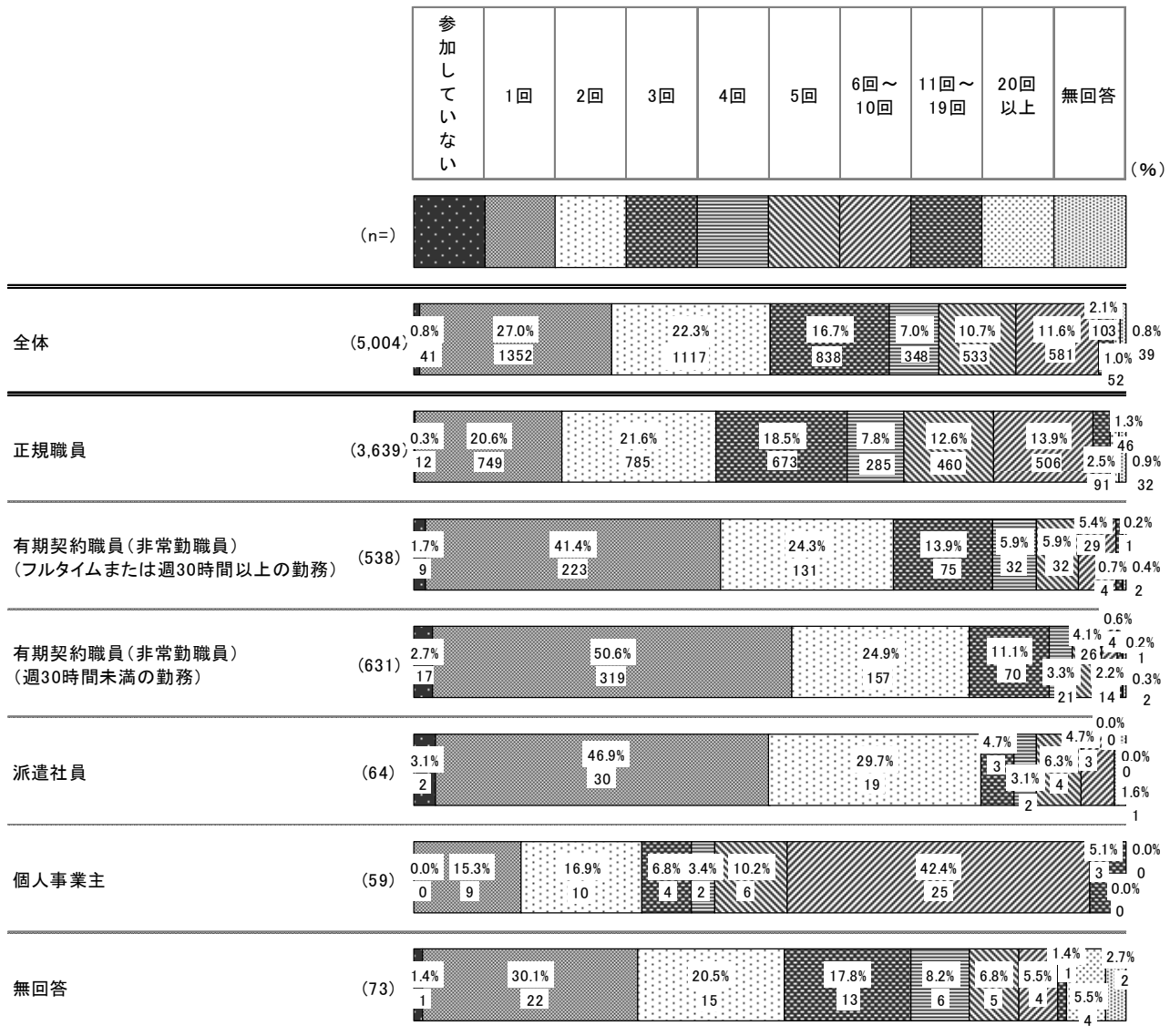


(2) 園外での研修

最近1年の園外での研修参加回数は、「個人事業主」については、4回以上が61.0%と最も高い。次いで、「正規職員」が38.1%、「有期契約職員（非常勤職員）（フルタイムまたは週30時間以上の勤務）」が18.2%となった。

平均参加回数では、「個人事業主」の5.41回、「正規職員」の3.96回に対して、「有期契約職員（非常勤職員）（フルタイムまたは週30時間以上の勤務）」では2.40回、「派遣社員」では2.05回、「週30時間未満の勤務」は1.99回となり、園内での研修と同じく雇用形態によって差が生じている。（図8-2）

【図 8-2 現在保育士として就業中の方の園外研修参加状況と雇用形態】



9. 現在保育の仕事をしていない方が保育士復帰に際して不安な点と子どもの有無(末子年齢)

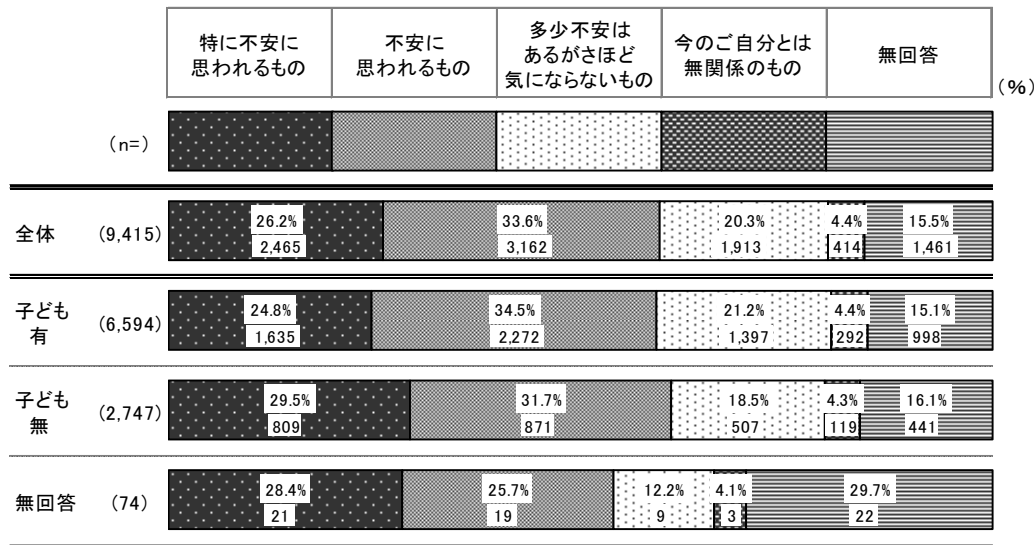
(1) 最近の保育の知識や技術などの不足

現在保育の仕事をしていない方が保育士として復帰する場合に、最近の保育の知識や技術などの不足に不安を感じるかとの質問に、「特に不安」または「不安」と回答した方は子どもの有無にかかわらず60%前後となり、どちらも復帰の大きな不安要素となっていることが伺える。(図9-1)

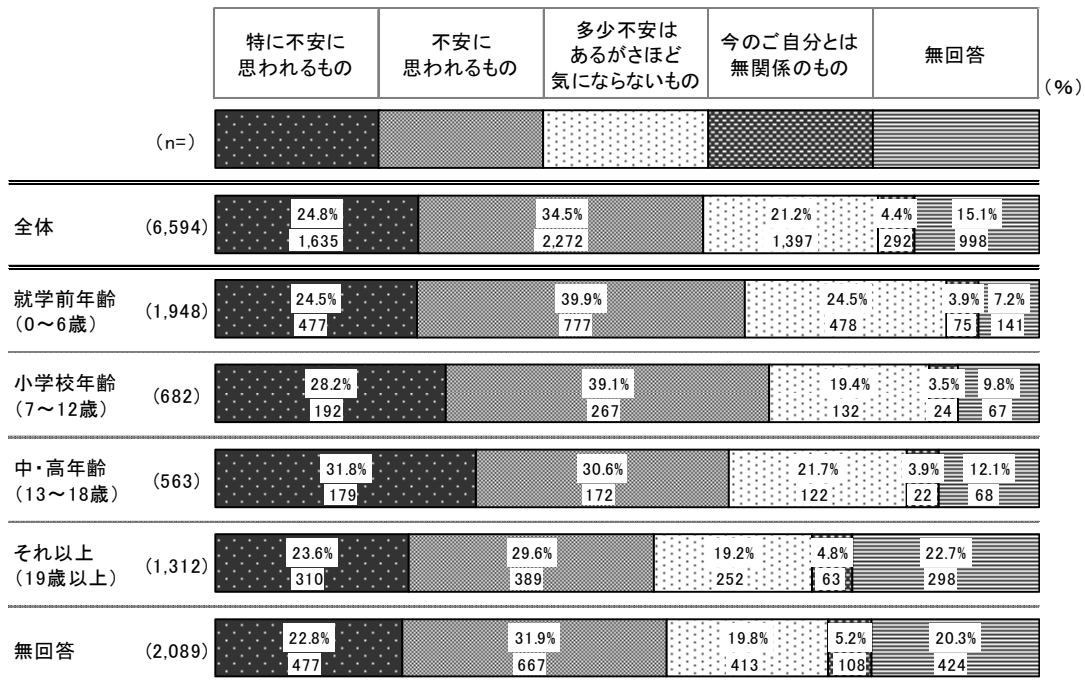
また末子年齢別においても、高校生以下の末子年齢のいずれも60%以上が「特に不安」または「不安」と回答している。

また、末子年齢が19歳以上でも、53.3%が「特に不安」または「不安」と回答している。(図9-2)

【図9-1 復帰の場合の不安な点(保育の知識や技術などの不安)と子どもの有無】



【図9-2 復帰の場合の不安な点(保育の知識や技術などの不安)と末子年齢】

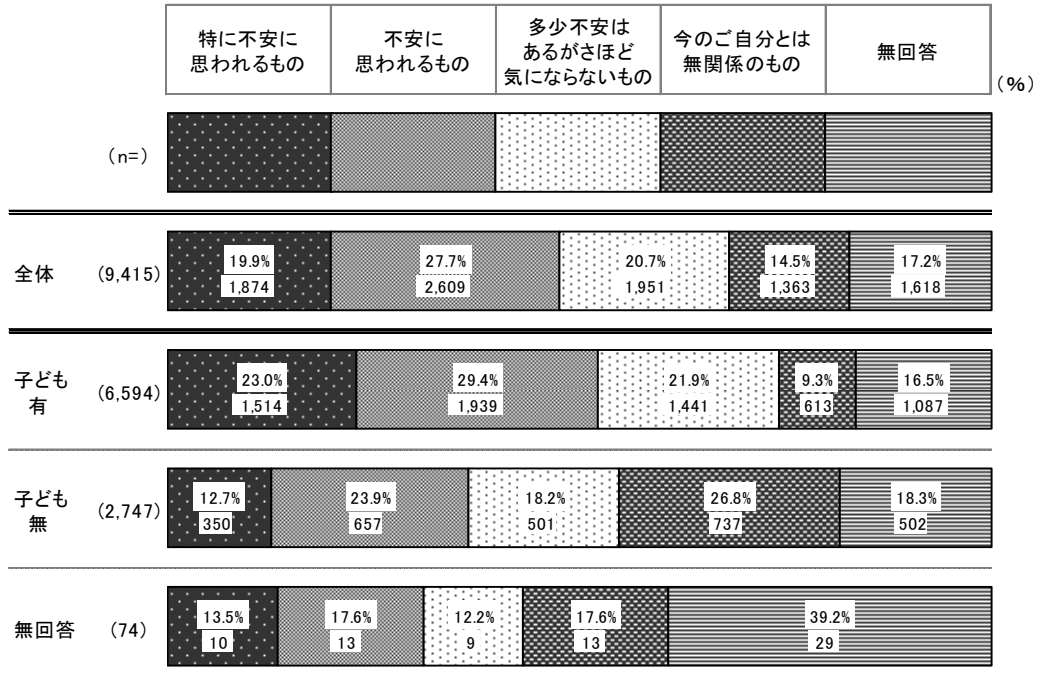


(2) 家事との両立

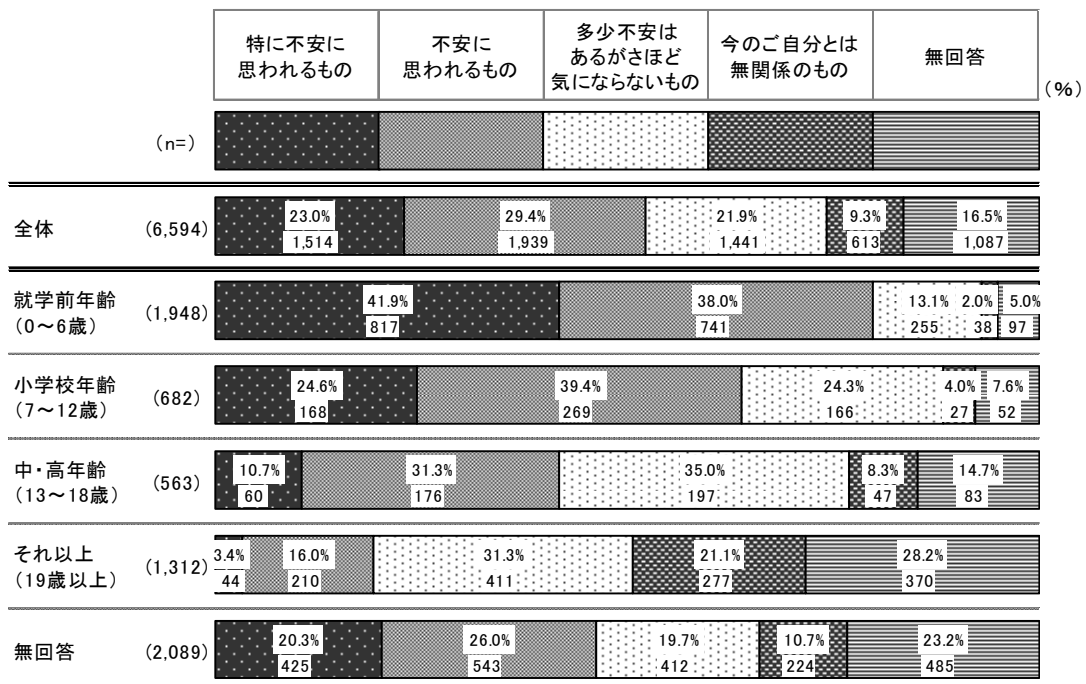
家事との両立に不安を感じるかとの質問に、「子ども有」は52.4%が「特に不安」または「不安」と回答しており、家事との両立は不安要因の一つであることがわかった。一方、「子ども無」は「特に不安」または「不安」の回答は36.7%にとどまり、職場復帰への不安要因としてはそれほど強くない。(図9-3)

また、末子年齢別での「特に不安」または「不安」の回答は、「就学前年齢」で80.0%、「小学校年齢(7~12歳)」で64.1%、「中・高年齢(13~18歳)」で41.9%、「19歳以上」で19.4%となり、子どもの年齢が低いほど家事との両立は職場復帰への不安要因になり得ることが伺える。(図9-4)

【図9-3 復帰の場合の不安な点(家事との両立)と子どもの有無】



【図9-4 復帰の場合の不安な点(家事との両立)と末子年齢】

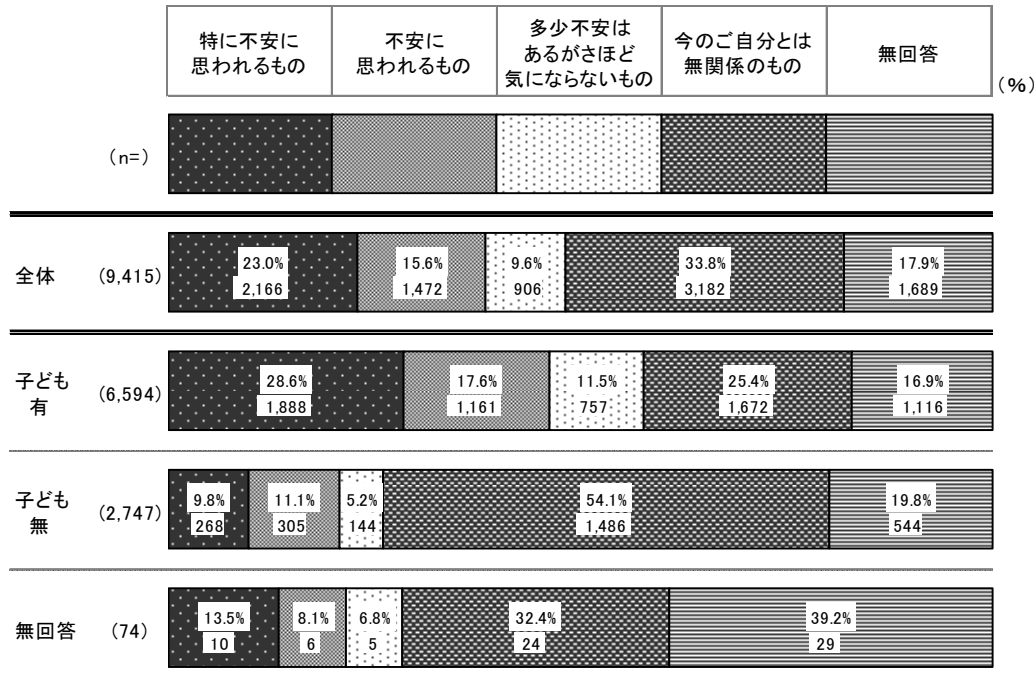


(3) 育児との両立

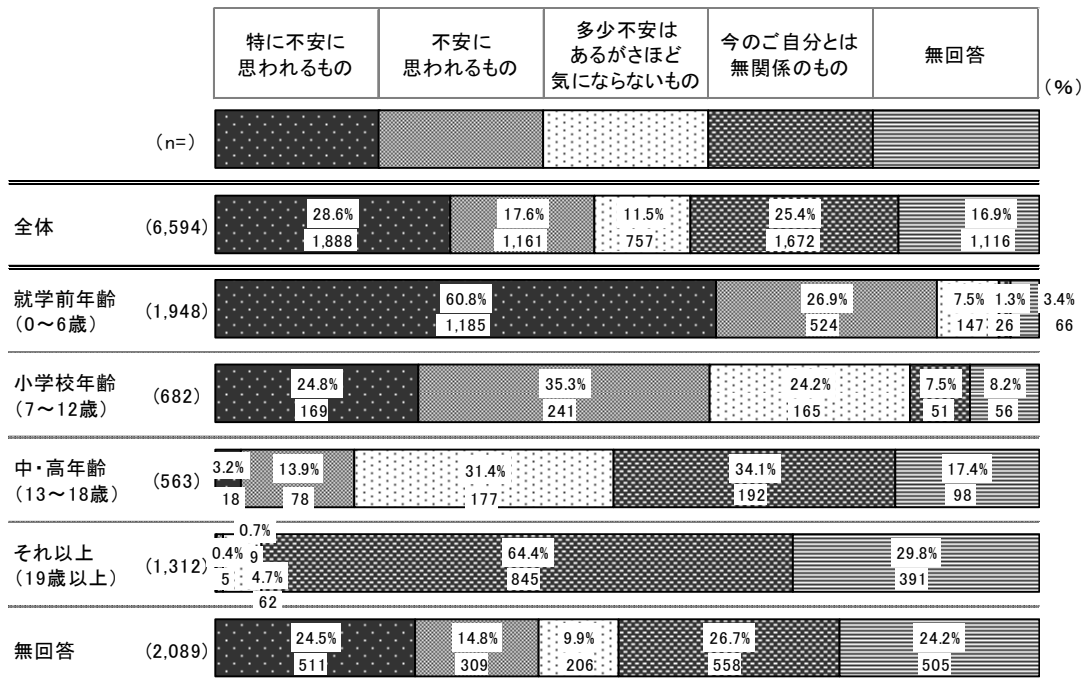
育児との両立に不安を感じるかとの質問に、「子ども有」は46.2%が「特に不安」または「不安」と回答しており、育児との両立は不安要因の一つであることがわかった。(図9-5)

また、末子年齢別での「特に不安」または「不安」の回答は、「就学前年齢」で87.7%、「小学校年齢(7~12歳)」で60.1%、「中・高年齢(13~18歳)」で17.1%、「19歳以上」で1.1%となり、子どもの年齢が小学生以下の場合では、育児との両立は職場復帰への不安要因になり得ることが伺える。(図9-6)

【図9-5 復帰の場合の不安な点(育児との両立)と子どもの有無】



【図9-6 復帰の場合の不安な点(育児との両立)と末子年齢】

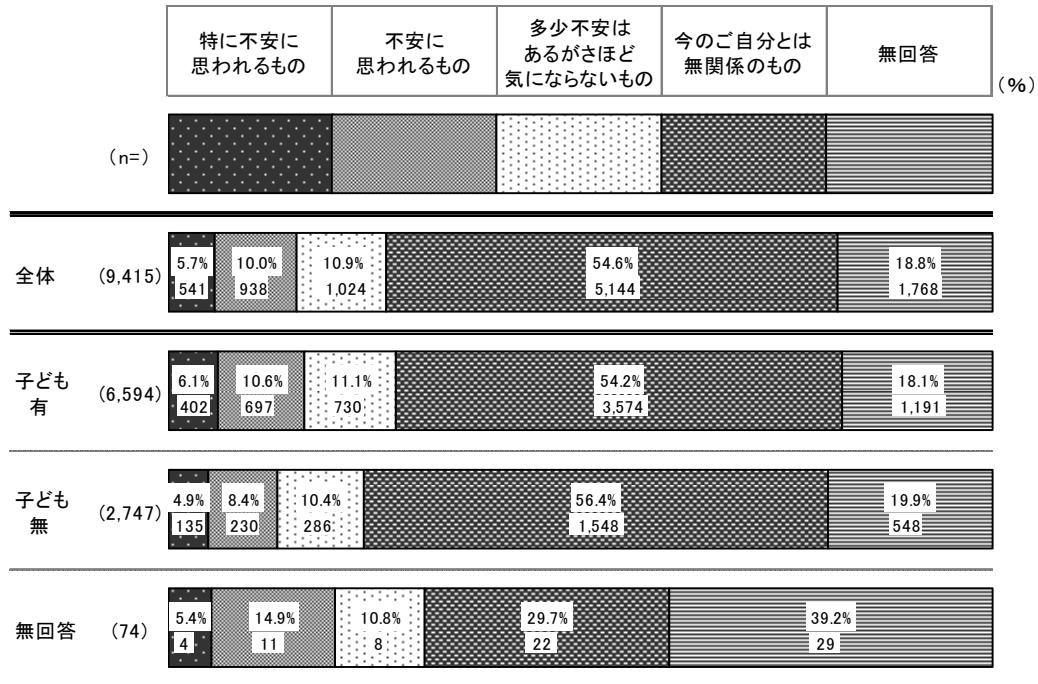


(4) 介護との両立

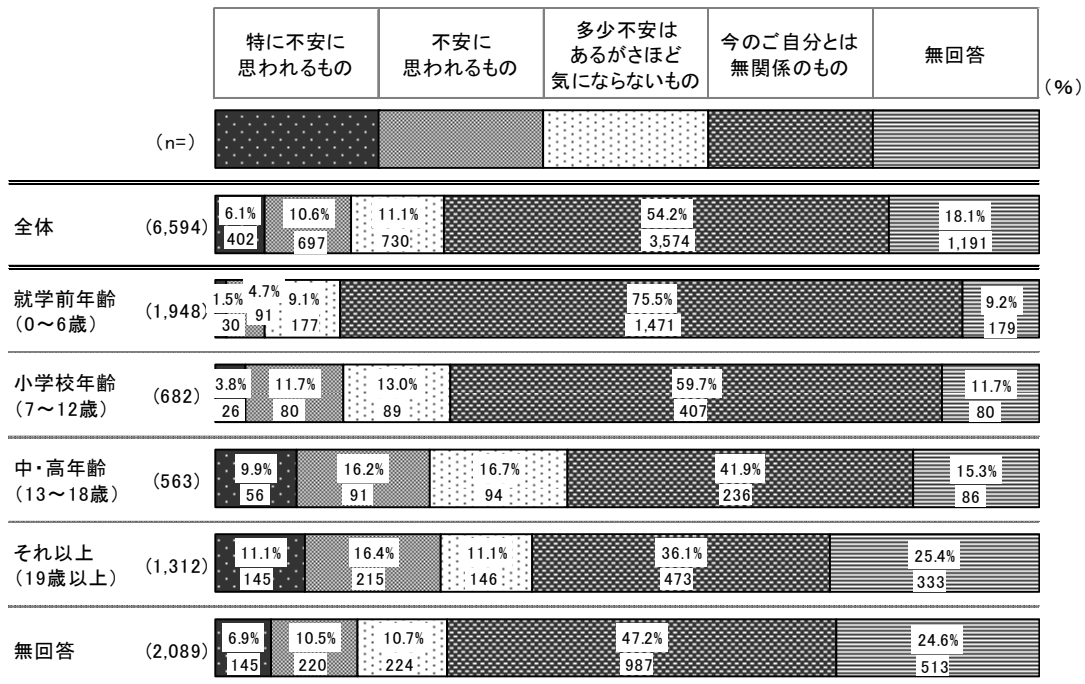
介護との両立に不安を感じるかとの質問に、「今のご自分とは無関係のもの」と回答した方が、「子ども有」で 54.2%、「子ども 無」で、56.4%と子どもの有無にかかわらず介護との両立は職場復帰への不安要素としては低いことが分かった。(図 9-7)

また、末子年齢別での「今のご自分とは無関係のもの」と回答した方は末子年齢が低いほど割合が高くなる傾向にみられた。(図 9-8)

【図 9-7 復帰の場合の不安な点（介護との両立）と子どもの有無】



【図 9-8 復帰の場合の不安な点（介護との両立）と末子年齢】

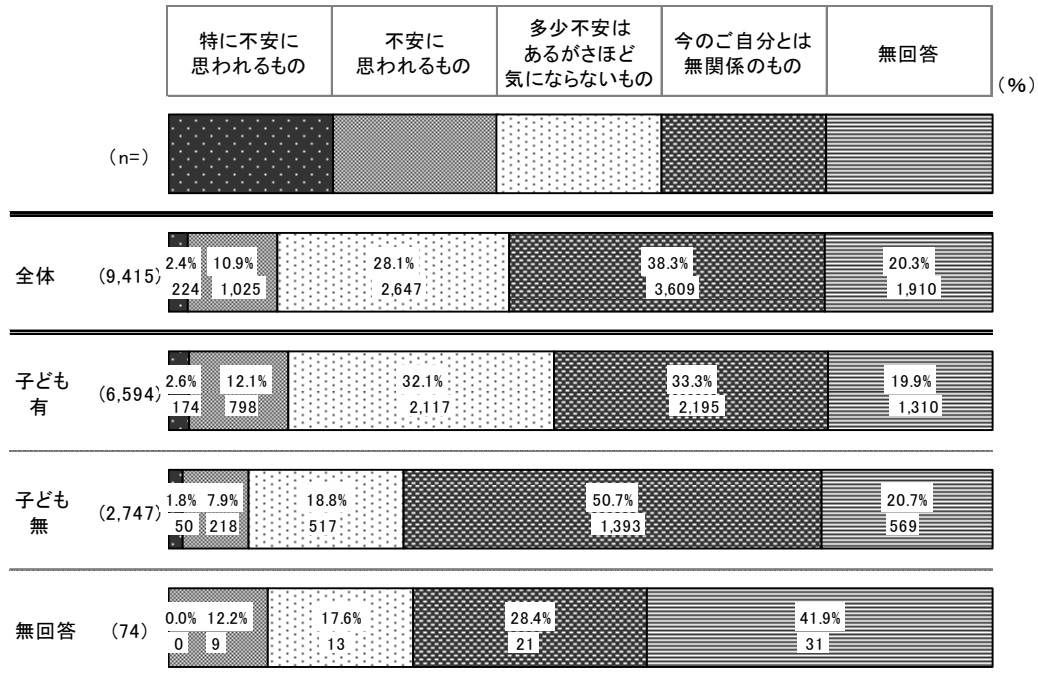


(5) 夫など周囲の理解

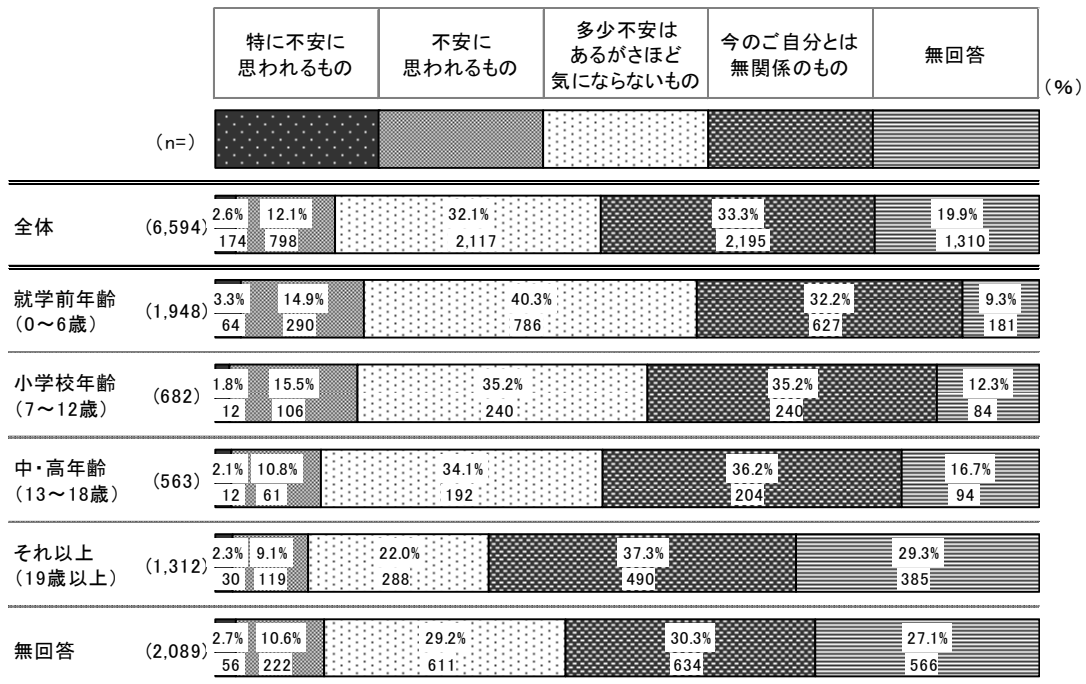
夫など周囲の理解に不安を感じるかとの質問に、「今のご自分とは無関係のもの」と回答した方が、「子ども有」で33.3%、「子ども無」で、50.7%と子どもの有無にかかわらず夫などの周囲の理解は職場復帰への不安要素としては低いことが分かった。(図9-9)

また、末子年齢別での「特に不安」または「不安」の回答は末子年齢が低いほど割合が高くなる傾向にみられた。(図9-10)

【図 9-9 復帰の場合の不安な点（夫など周囲の理解）と子どもの有無】



【図 9-10 復帰の場合の不安な点（夫など周囲の理解）と末子年齢】

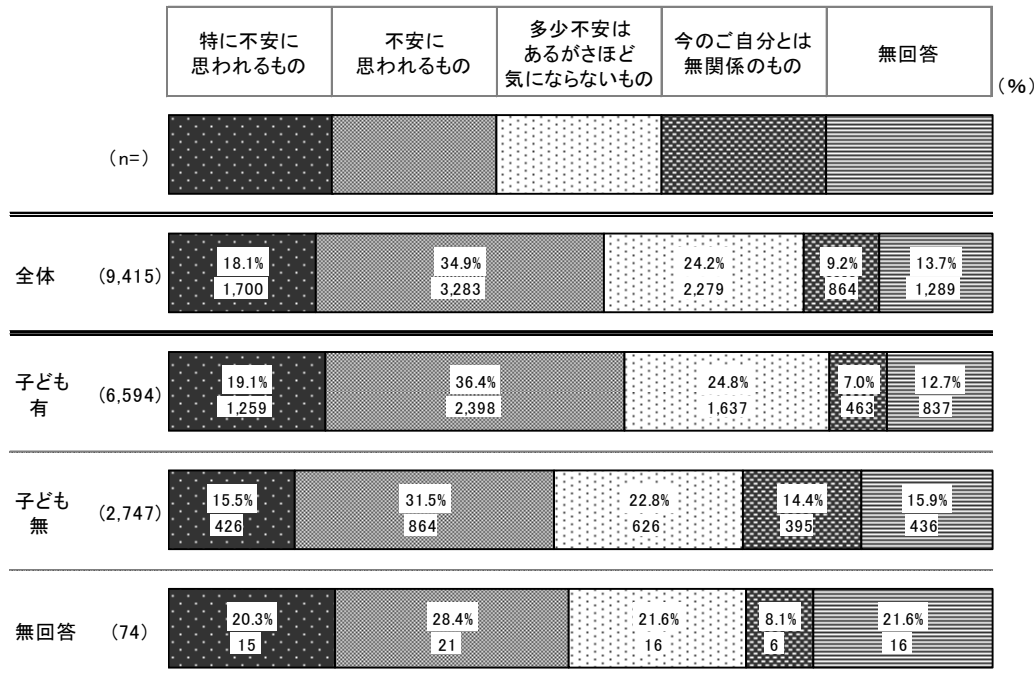


(6) 体力の低下

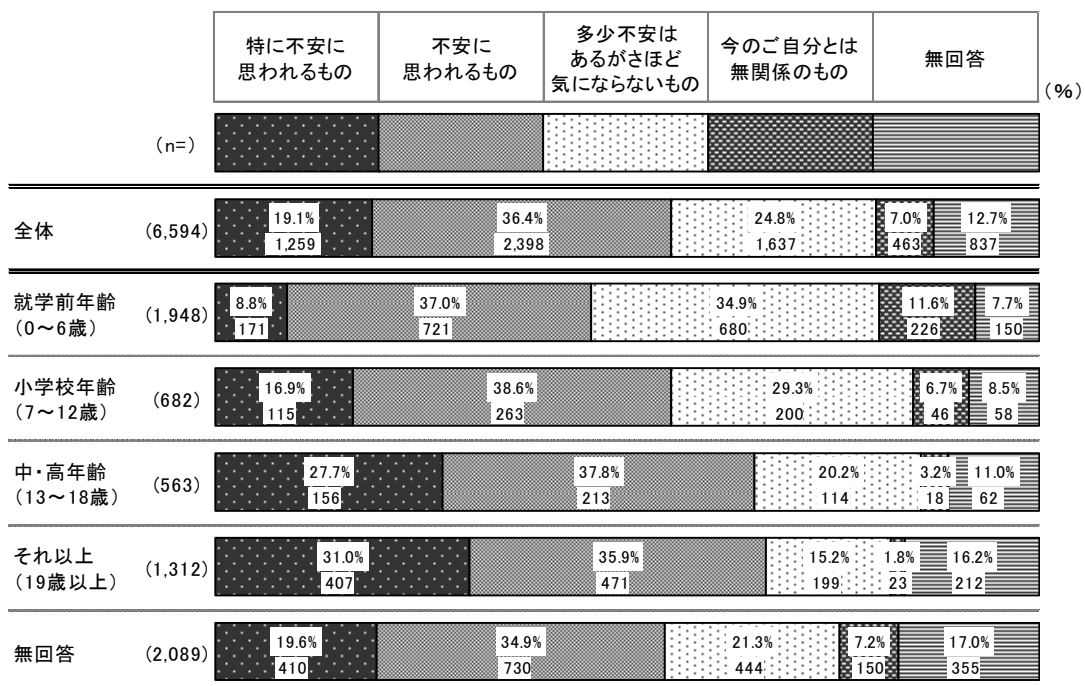
体力の低下に不安を感じるかとの質問に、「子ども 有」は 55.5%が「特に不安」または「不安」と回答しており、体力の低下は不安要因の一つであることがわかった。「子ども 無」では 47.0%と、子どもの有無にかかわらず職場復帰への不安要因となっている。(図 9-11)

また、末子年齢別での「特に不安」または「不安」の回答は、「就学前年齢」で 45.8%、「小学校年齢 (7～12 歳)」で 55.4%、「中・高年齢 (13～18 歳)」で 65.5%、「19 歳以上」で 66.9%となり、子どもの年齢が高いほど、体力の低下は職場復帰への不安要因になり得ることが伺える。(図 9-12)

【図 9-11 復帰の場合の不安な点 (体力の低下) と子どもの有無】



【図 9-12 復帰の場合の不安な点 (体力の低下) と末子年齢】

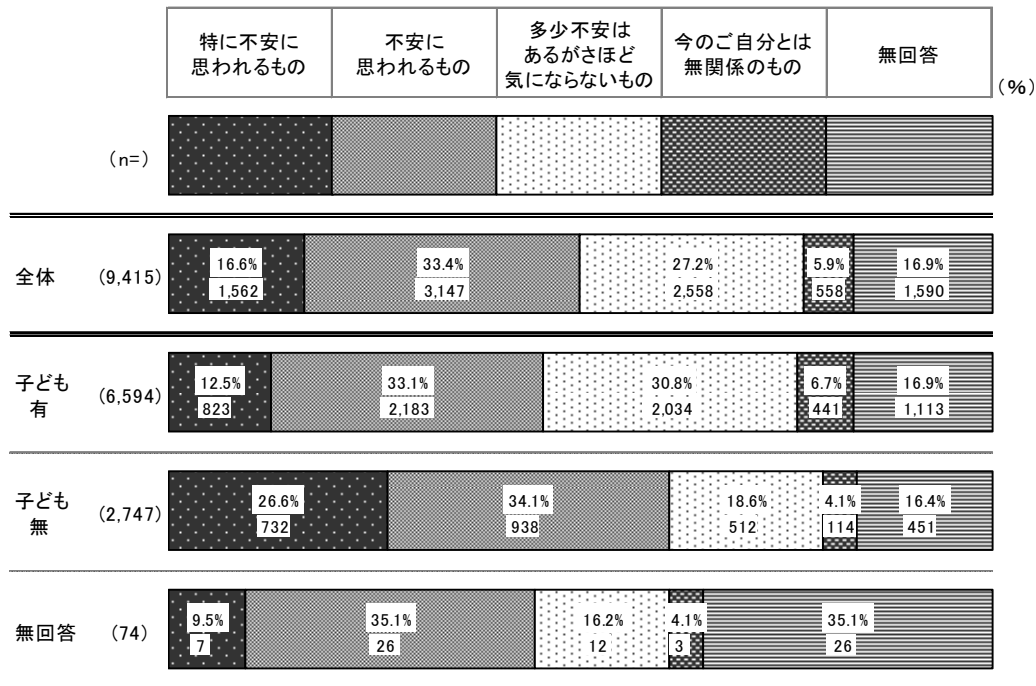


(7) 保育の職場での人間関係

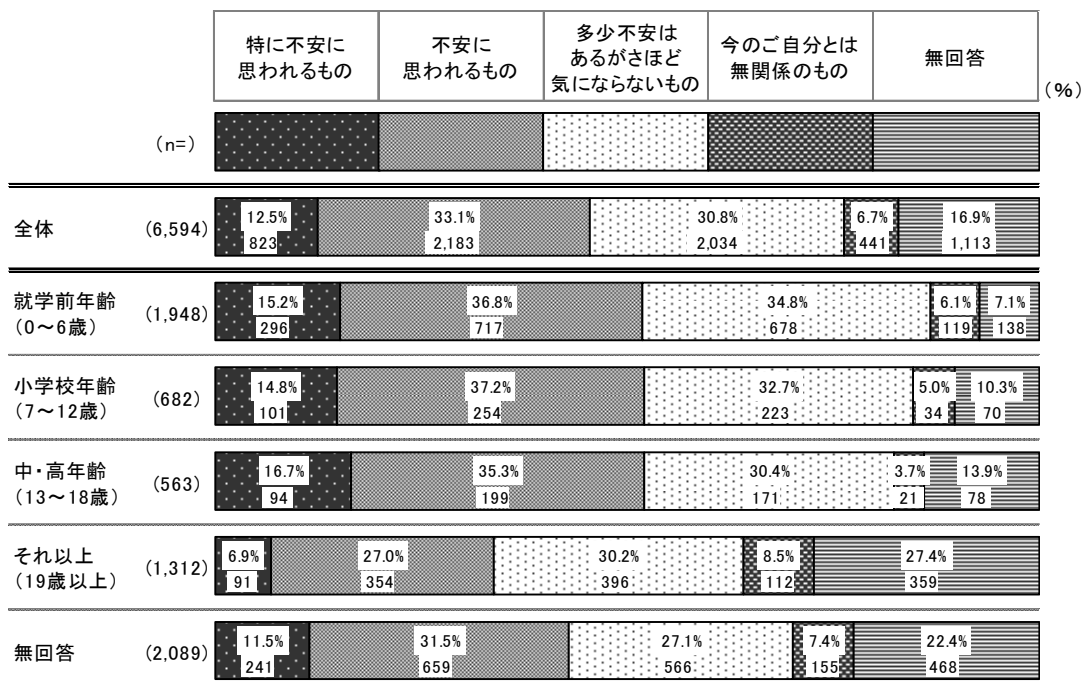
保育の職場での人間関係に不安を感じるかとの質問に、「子ども 無」は 60.8%が「特に不安」または「不安」と回答しており、保育の職場での人間関係は不安要因の一つであることがわかった。一方、「子ども有」は「特に不安」または「不安」の回答は 45.6%と子どもの有無にかかわらず職場復帰への不安要因となっている。(図 9-13)

また、末子年齢別での「特に不安」または「不安」と回答している割合は、「就学前年齢 (0~6 歳)」、「小学校年齢 (7~12 歳)」、「中・高年齢 (13~18 歳)」で約半数となっている。一方、「19 歳以上」では 33.9%とあまり不安要因となっていないことが伺える。(図 9-14)

【図 9-13 復帰の場合の不安な点 (保育の職場での人間関係) と子どもの有無】



【図 9-14 復帰の場合の不安な点 (保育の職場での人間関係) と末子年齢】

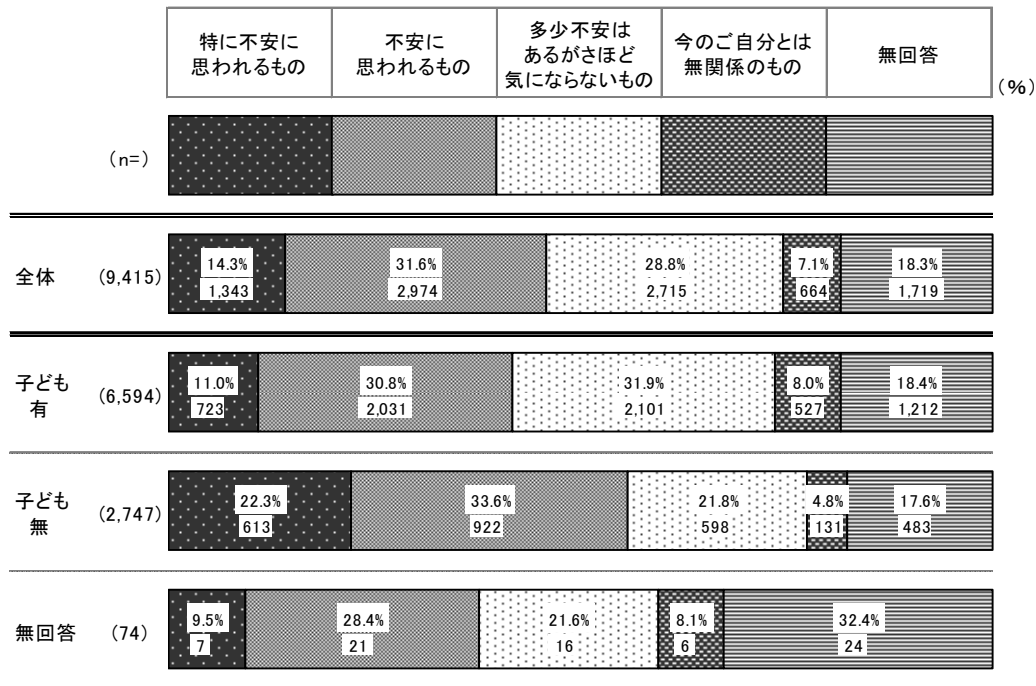


(8) 園児の保護者の対応

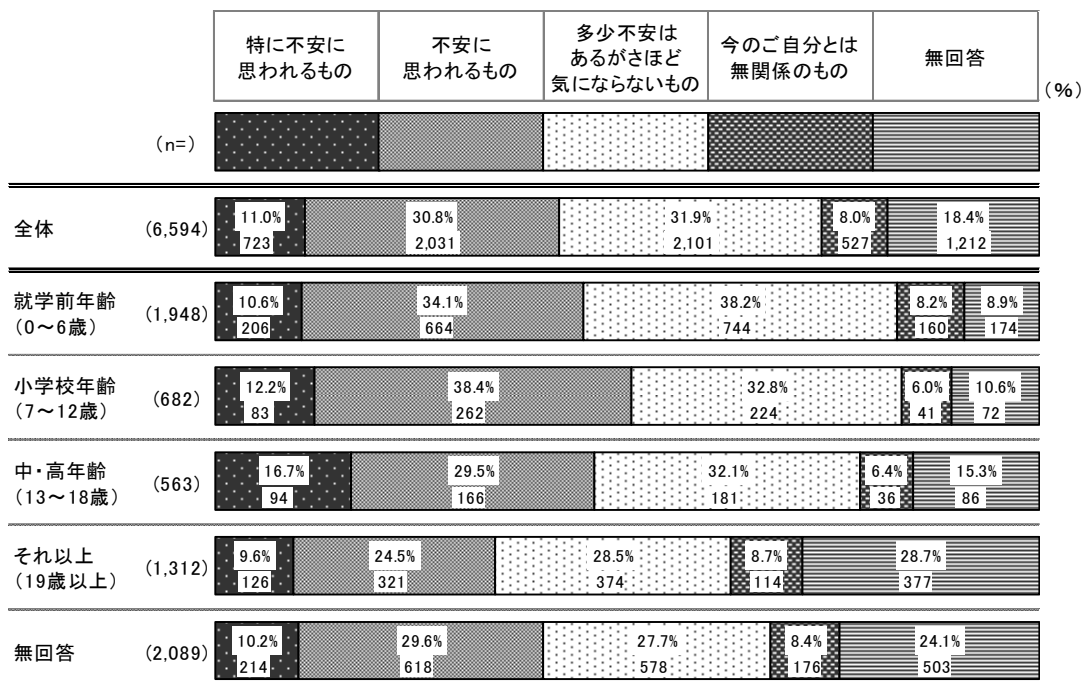
園児の保護者の対応に不安を感じるかとの質問に、「子ども 無」は 55.9%が「特に不安」または「不安」と回答しており、園児の保護者の対応は不安要因の一つであることがわかった。一方、「子ども有」は「特に不安」または「不安」の回答は 41.8%と「子ども 無」に比べると職場復帰への不安要因にはそれほどなっていないことが伺える。(図 9-15)

また、末子年齢別の「特に不安」または「不安」の回答は、「就学前年齢 (0~6 歳)」で 44.7%、「小学校年齢 (7~12 歳)」で 50.6%、「中・高年齢 (13~18 歳)」で 46.2%と大きな不安要因となっている。一方、「19 歳以上」では 34.1%とあまり不安要因となっていないことが伺える。(図 9-16)

【図 9-15 復帰の場合の不安な点 (園児の保護者の対応) と子どもの有無】



【図 9-16 復帰の場合の不安な点 (園児の保護者の対応) と末子年齢】

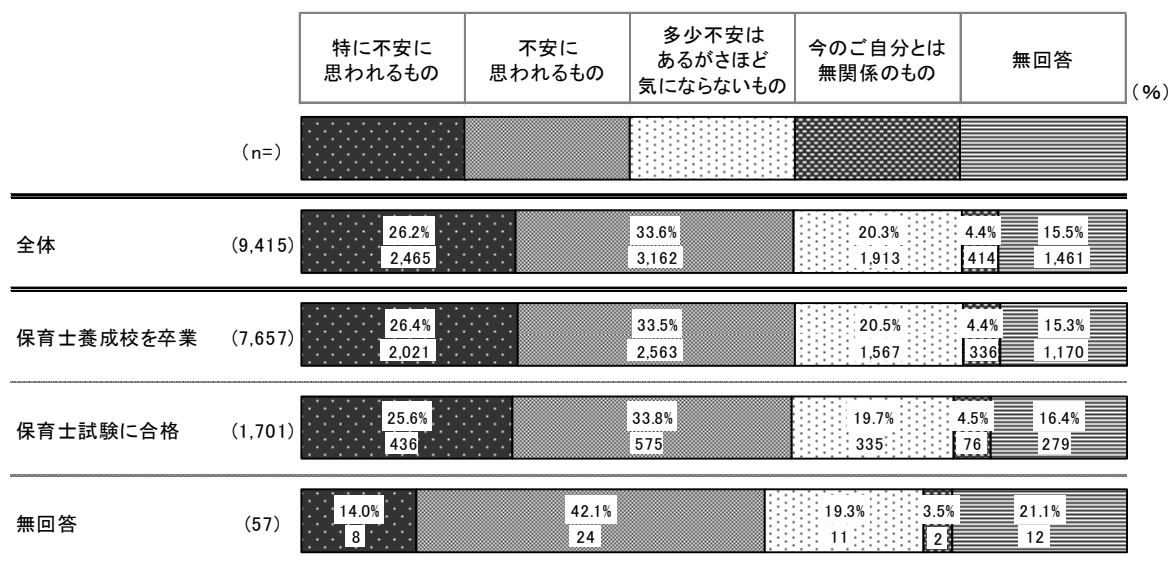


10. 現在保育の仕事をしていない方が保育士復帰に際して不安な点と資格取得方法

(1) 最近の保育の知識や技術などの不足

現在保育の仕事をしていない方が保育士として復帰する場合に、最近の保育の知識や技術などの不足に不安を感じるかとの質問に対し、「特に不安」または「不安」と回答した方は、「保育士養成校を卒業」で59.9%、「保育士試験に合格」で59.4%となり、どちらも最近の保育の知識や技術などの不足が復帰にあたっての不安要因となっている。(図 10-1)

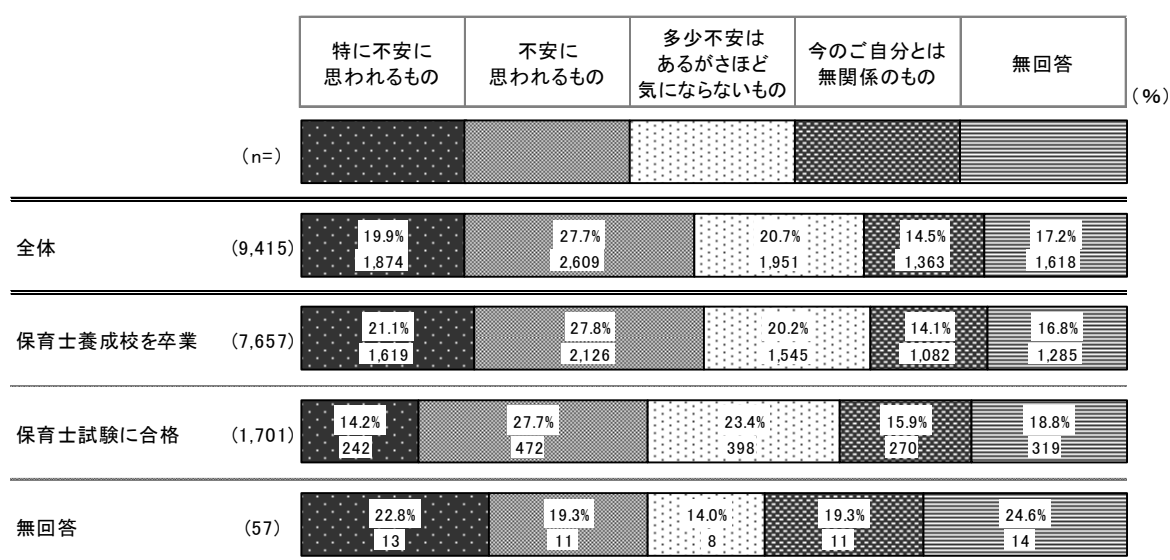
【図 10-1 復帰の場合の不安な点（最近の保育の知識や技術などの不足）と資格取得方法】



(2) 家事との両立

家事との両立に不安を感じるかとの質問に対し、「特に不安」または「不安」と回答した方は、「保育士養成校を卒業」で48.9%が、最近の保育の知識や技術などの不足が職場復帰にあたっての不安要因となっている。一方「保育士試験に合格」では42.0%となり、それほど強い不安要因とはなっていない。(図 10-2)

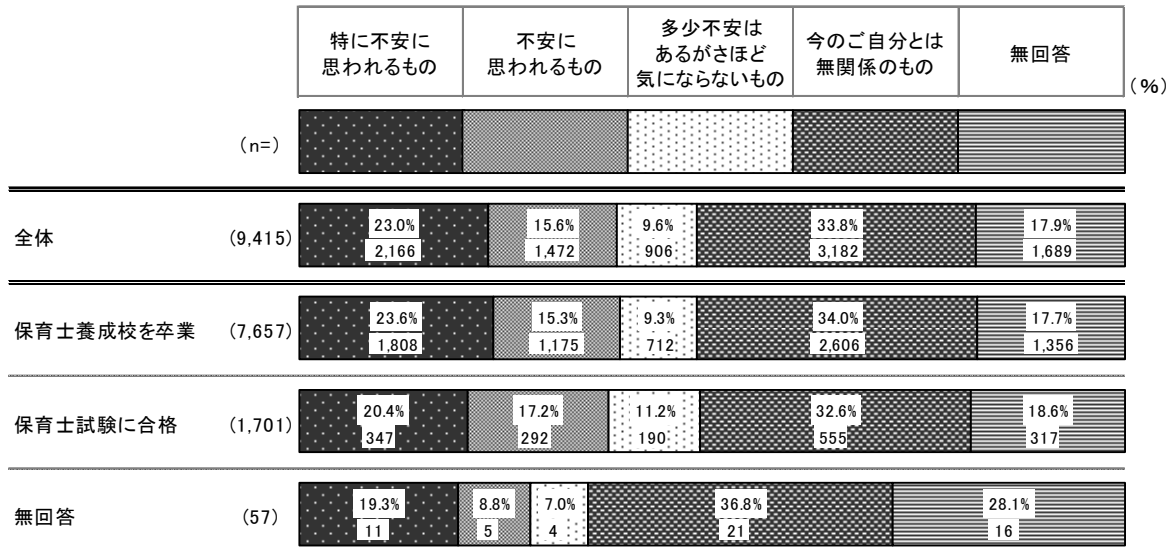
【図 10-2 復帰の場合の不安な点（家事との両立）と資格取得方法】



(3) 育児との両立

育児との両立に不安を感じるかとの質問に対し、「特に不安」または「不安」と回答した方は、「保育士養成校を卒業」で39.0%、「保育士試験に合格」で37.6%となり、どちらも育児との両立が職場復帰にあたっての大きな不安要因とはなっていない。(図 10-3)

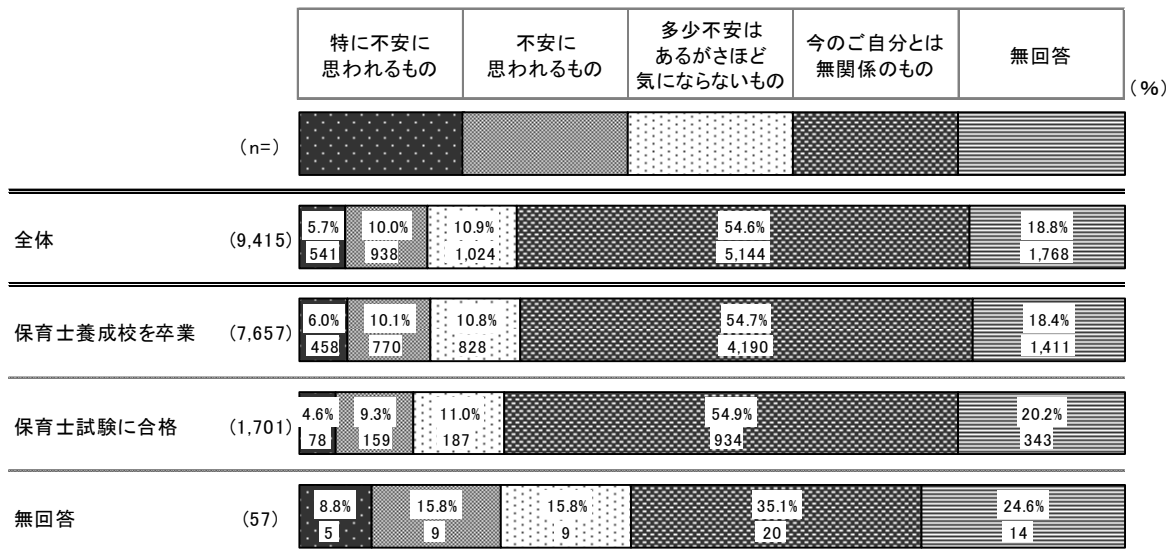
【図 10-3 復帰の場合の不安な点（育児との両立）と資格取得方法】



(4) 介護との両立

介護との両立に不安を感じるかとの質問に対し、「特に不安」または「不安」と回答した方は、「保育士養成校を卒業」で16.0%、「保育士試験に合格」で13.9%となり、どちらも介護との両立が職場復帰にあたっての不安要因とはなっていない。(図 10-4)

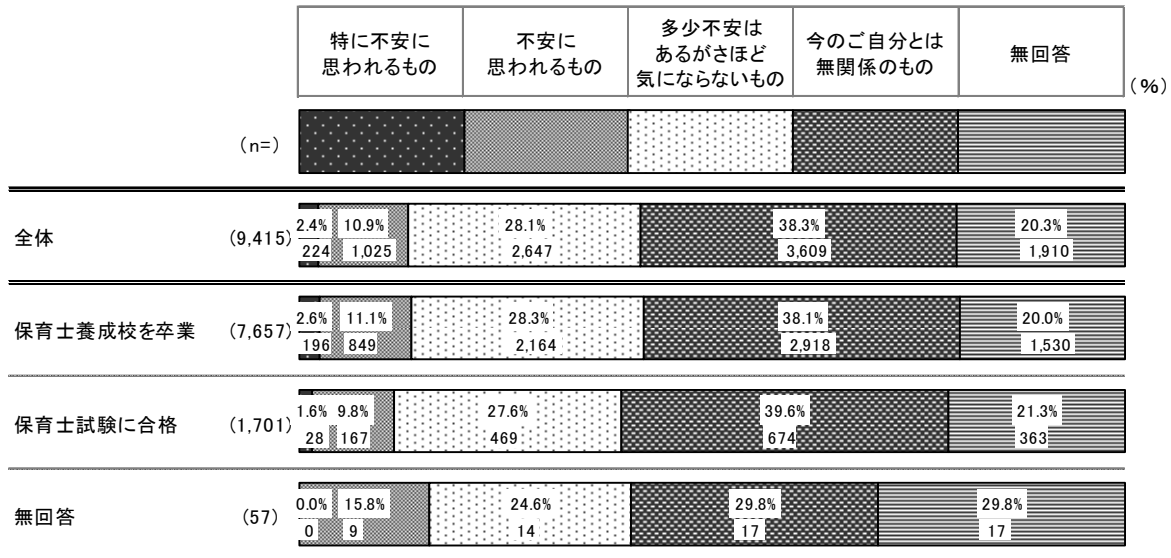
【図 10-4 復帰の場合の不安な点（介護との両立）と資格取得方法】



(5) 夫などの周囲の理解

夫などの周囲の理解に不安を感じるかとの質問に対し、「特に不安」または「不安」と回答した方は、「保育士養成校を卒業」で13.6%、「保育士試験に合格」で11.5%となり、どちらも夫などの周囲の理解が職場復帰にあたっての不安要因とはなっていない。(図10-5)

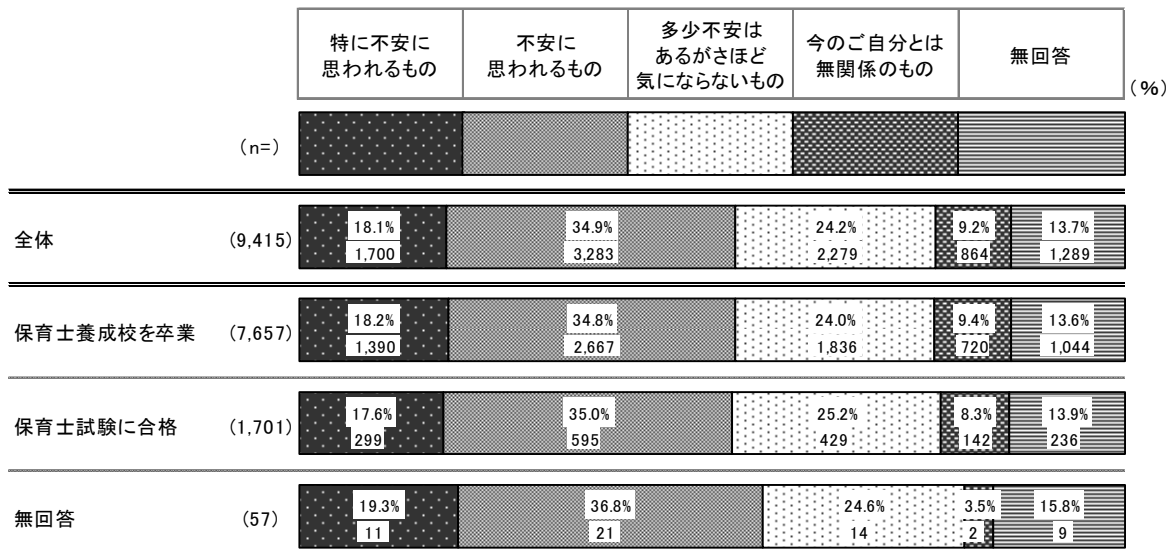
【図10-5 復帰の場合の不安な点(夫など周囲の理解)と資格取得方法】



(6) 体力の低下

体力の低下に不安を感じるかとの質問に対し、「特に不安」または「不安」と回答した方は、「保育士養成校を卒業」で53.0%、「保育士試験に合格」で52.6%となり、どちらも体力の低下が職場復帰にあたって大きな不安要因となっている。(図10-6)

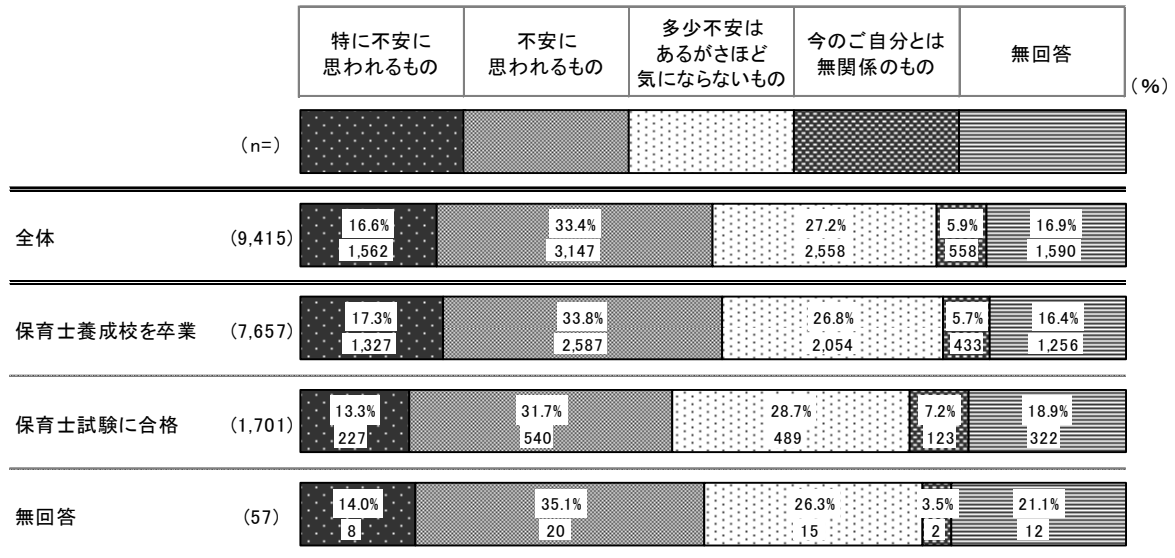
【図10-6 復帰の場合の不安な点(体力の低下)と資格取得方法】



(7) 保育の職場での人間関係

保育の職場での人間関係に不安を感じるかとの質問に対し、「特に不安」または「不安」と回答した方は、「保育士養成校を卒業」で51.1%、「保育士試験に合格」で45.1%となり、どちらも保育の職場での人間関係が職場復帰にあたって大きな不安要因となっている。(図10-7)

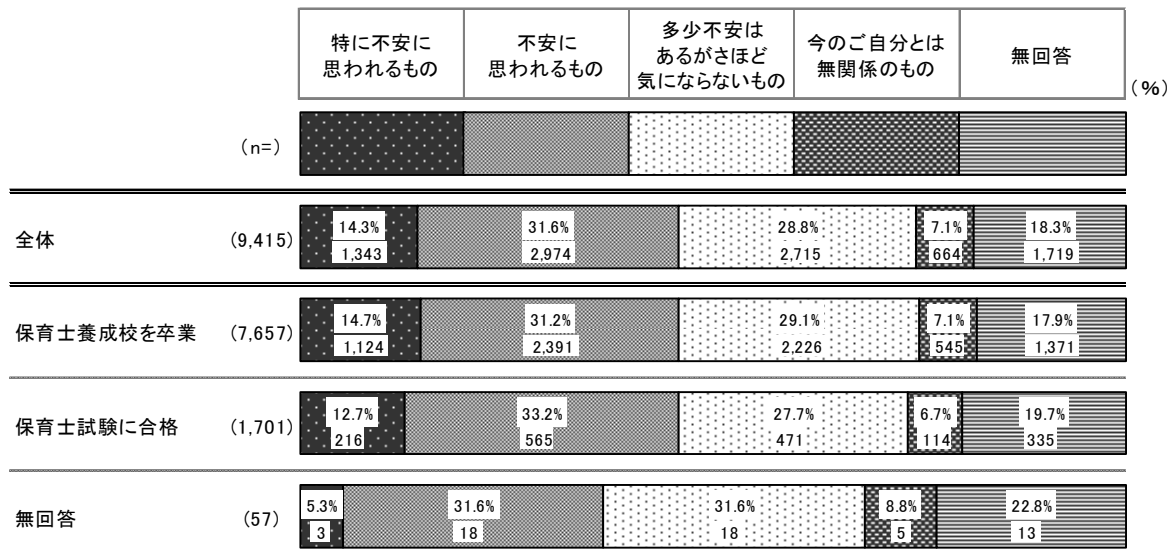
【図10-7 復帰の場合の不安な点(保育の職場での人間関係)と資格取得方法】



(8) 園児の保護者の対応

園児の保護者の対応に不安を感じるかとの質問に対し、「特に不安」または「不安」と回答した方は、「保育士養成校を卒業」、「保育士試験に合格」ともに45.9%となり、どちらも園児の保護者の対応が職場復帰にあたって大きな不安要因となっている。(図10-8)

【図10-8 復帰の場合の不安な点(園児の保護者の対応)と資格取得方法】

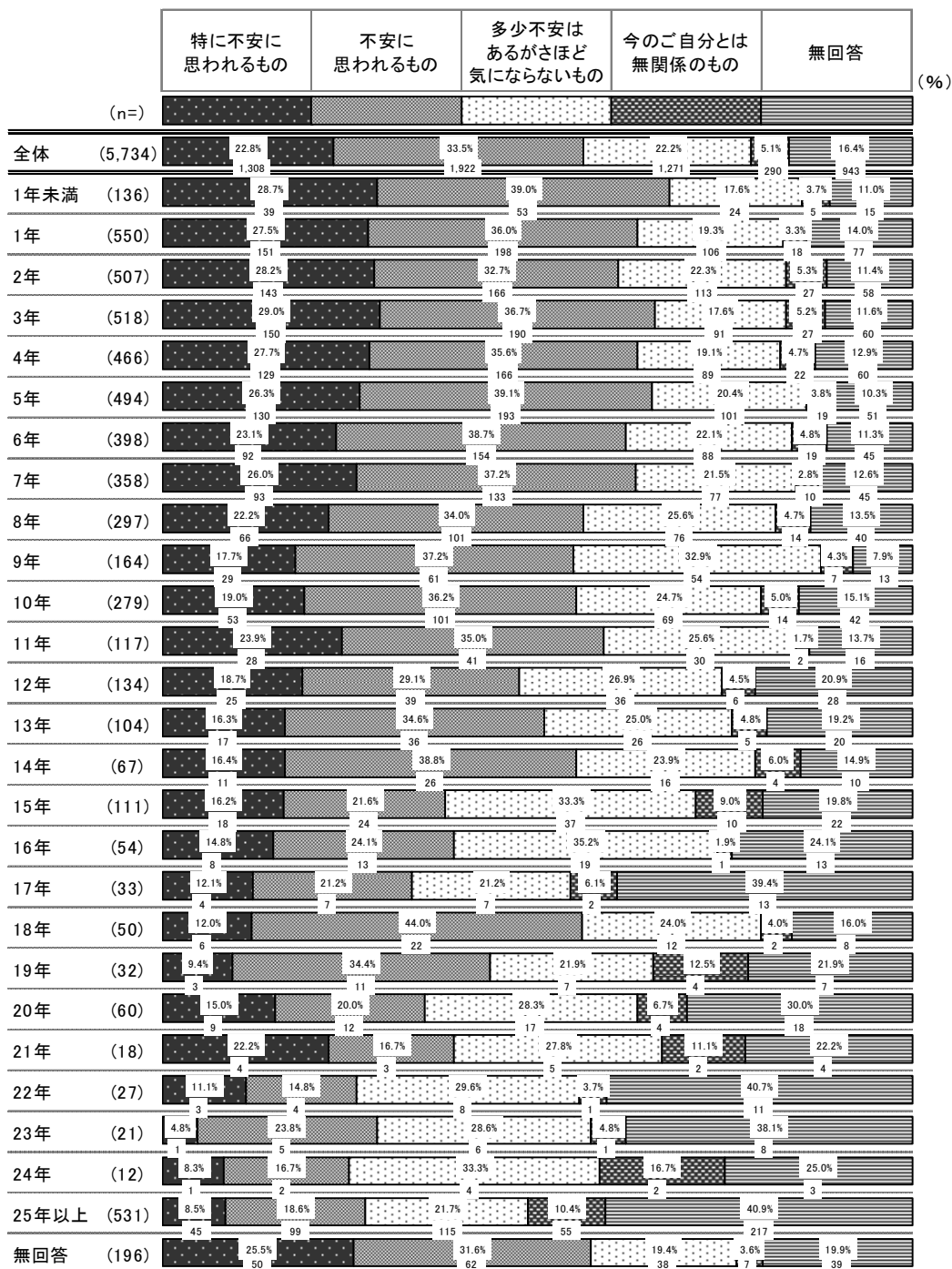


11. 現在保育の仕事をしていない方が保育士復帰に際して不安な点と保育士として就業通算年数

(1) 最近の保育の知識や技術などの不足

保育士として仕事の経験がある方で、現在保育の仕事をしていない方が保育士として復帰する場合に、最近の保育の知識や技術などの不足に不安を感じるかとの質問に対し、「特に不安」または「不安」と回答した方は、就業通算年数が「7年以下」でいずれも60%以上を占め、就業通算年数が短いほどおおむね職場復帰に際して不安と感じている。(図 11-1)

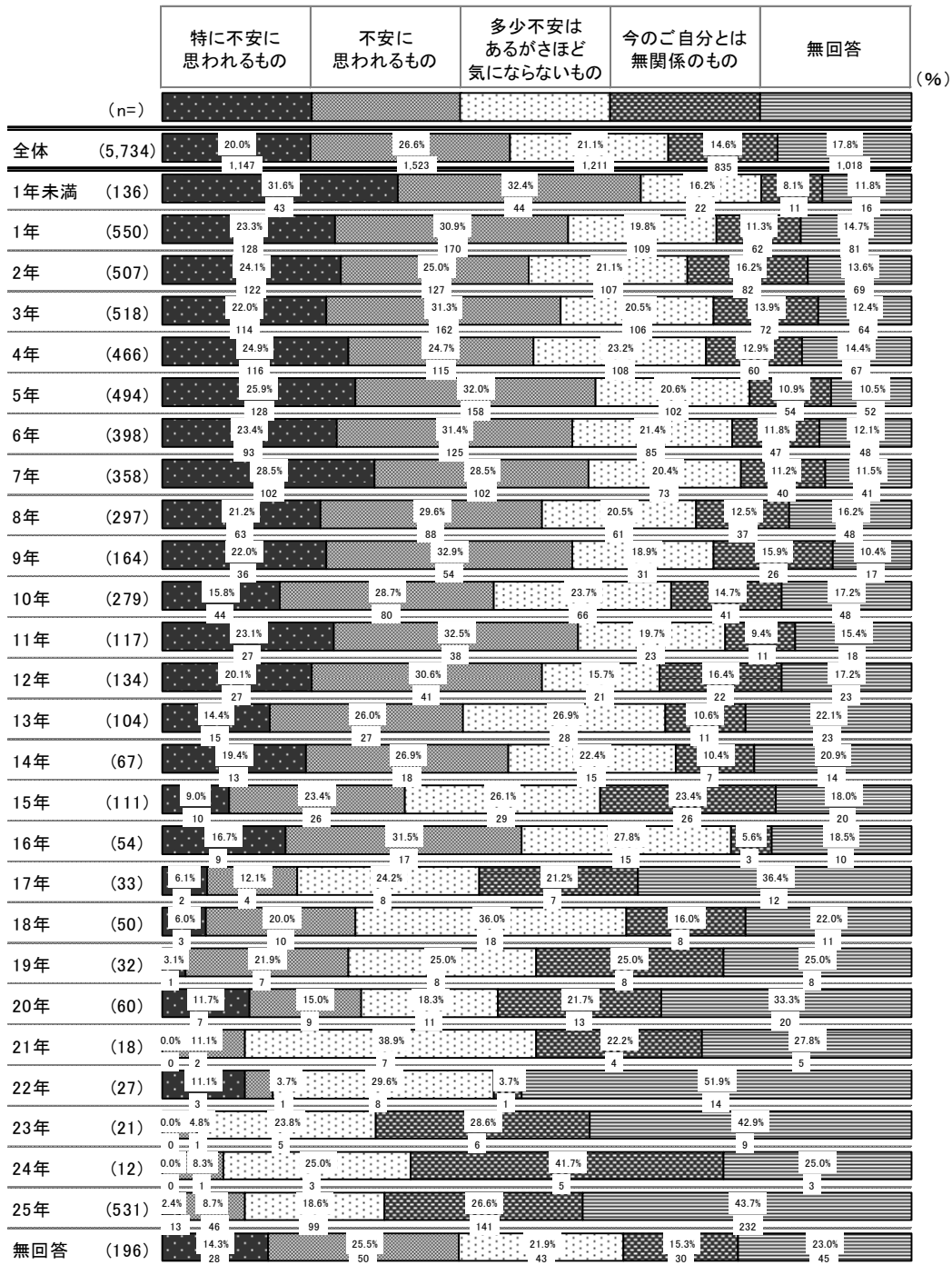
【図 11-1 復帰の場合の不安な点（最近の保育の知識や技術などの不足）と就業通算年数】



(2) 家事との両立

家事との両立に不安を感じるかとの質問に対し、「特に不安」または「不安」と回答した方は、就業通算年数が「1年未満」「5年」「7年」「11年」でいずれも55%以上を占め、就業通算年数が短いほどおおよそ職場復帰に際して不安と感じている傾向がみられた。(図 11-2)

【図 11-2 復帰の場合の不安な点 (家事との両立) と就業通算年数】

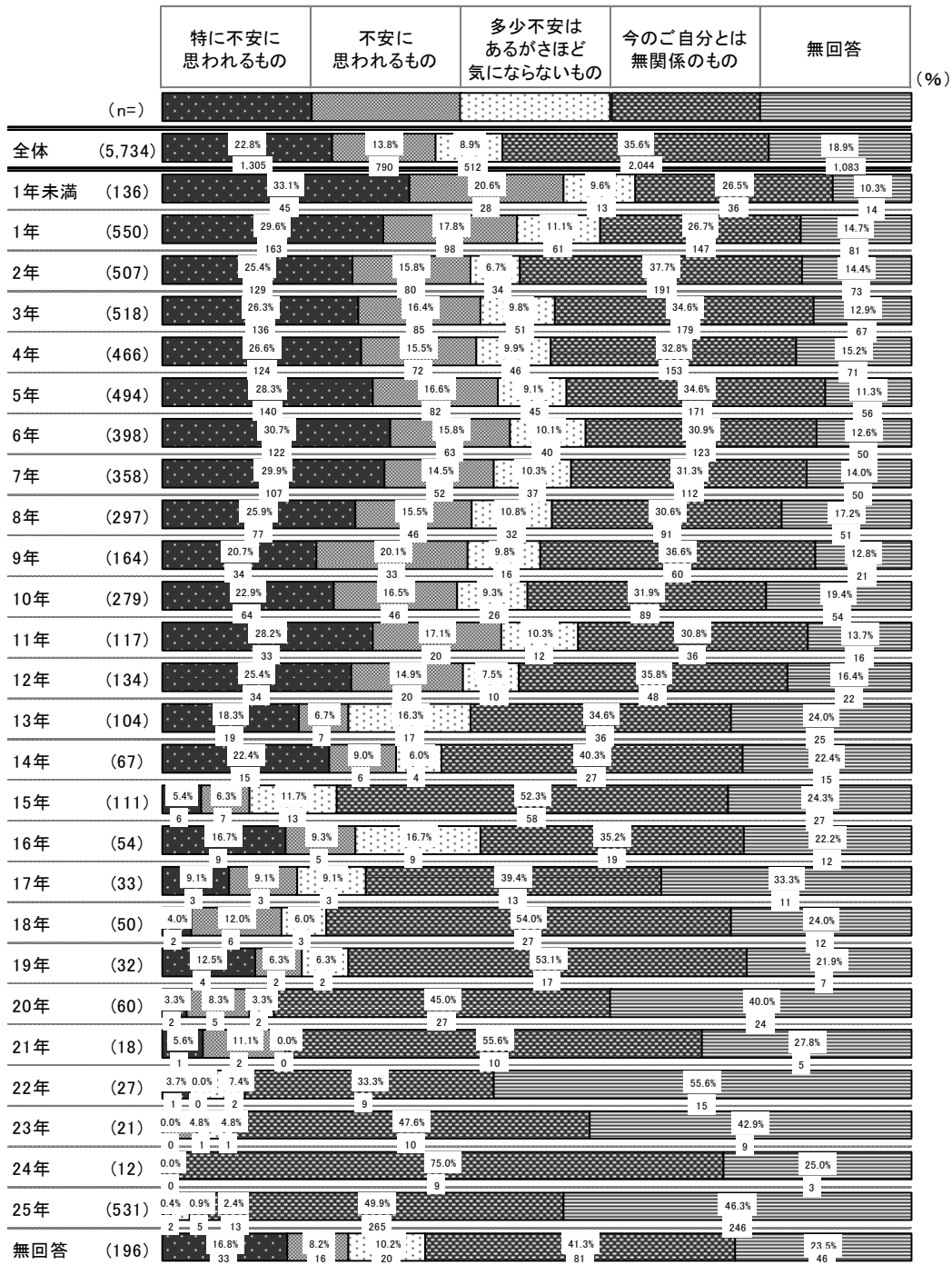


(3) 育児との両立

育児との両立に不安を感じるかとの質問に対し、「特に不安」または「不安」と回答した方は、就業通算年数が「1年未満」「1年」「6年」「11年」でいずれも45%以上を占め不安要因となっている。

また、就業通算年数が短いほどおおむね職場復帰に際して不安と感じている傾向がみられた。(図 11-3)

【図 11-3 復帰の場合の不安な点（育児との両立）と就業通算年数】

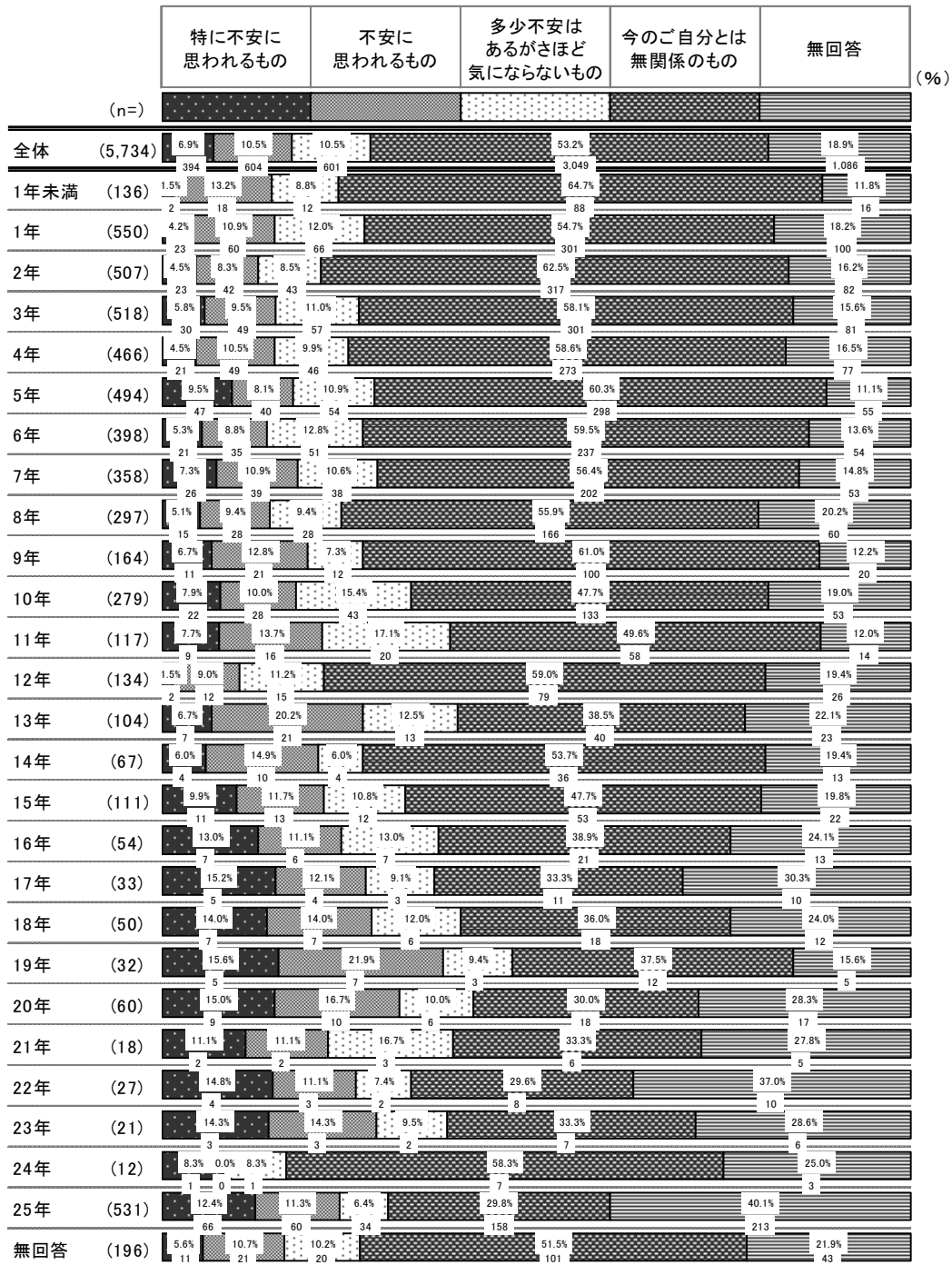


(4) 介護との両立

介護との両立に不安を感じるかとの質問に対し、「特に不安」または「不安」と回答した方は、就業通算年数が「19年」で37.5%と他の年数帯に比べて高くなったが、大きな不安要因にはなっていない。

また、就業通算年数が長いほどおおむね職場復帰に際して不安と感じている傾向がみられた。(図 11-4)

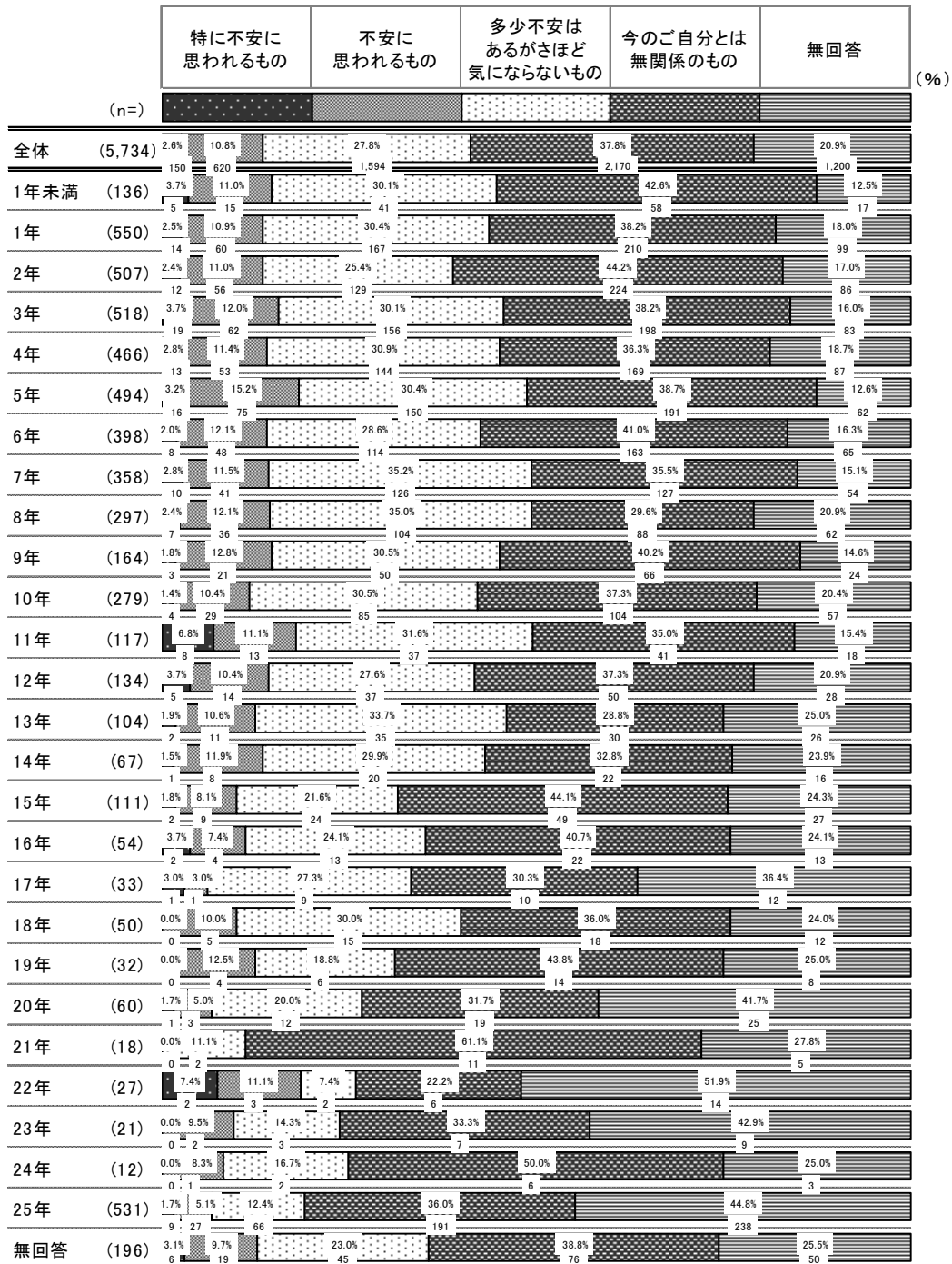
【図 11-4 復帰の場合の不安な点 (介護との両立) と就業通算年数】



(5) 夫など周囲の理解

夫など周囲の理解に不安を感じるかとの質問に対し、「特に不安」または「不安」と回答した方は、就業通算年数いずれの年数帯も20%以下となり、大きな不安要因にはなっていない。(図11-5)

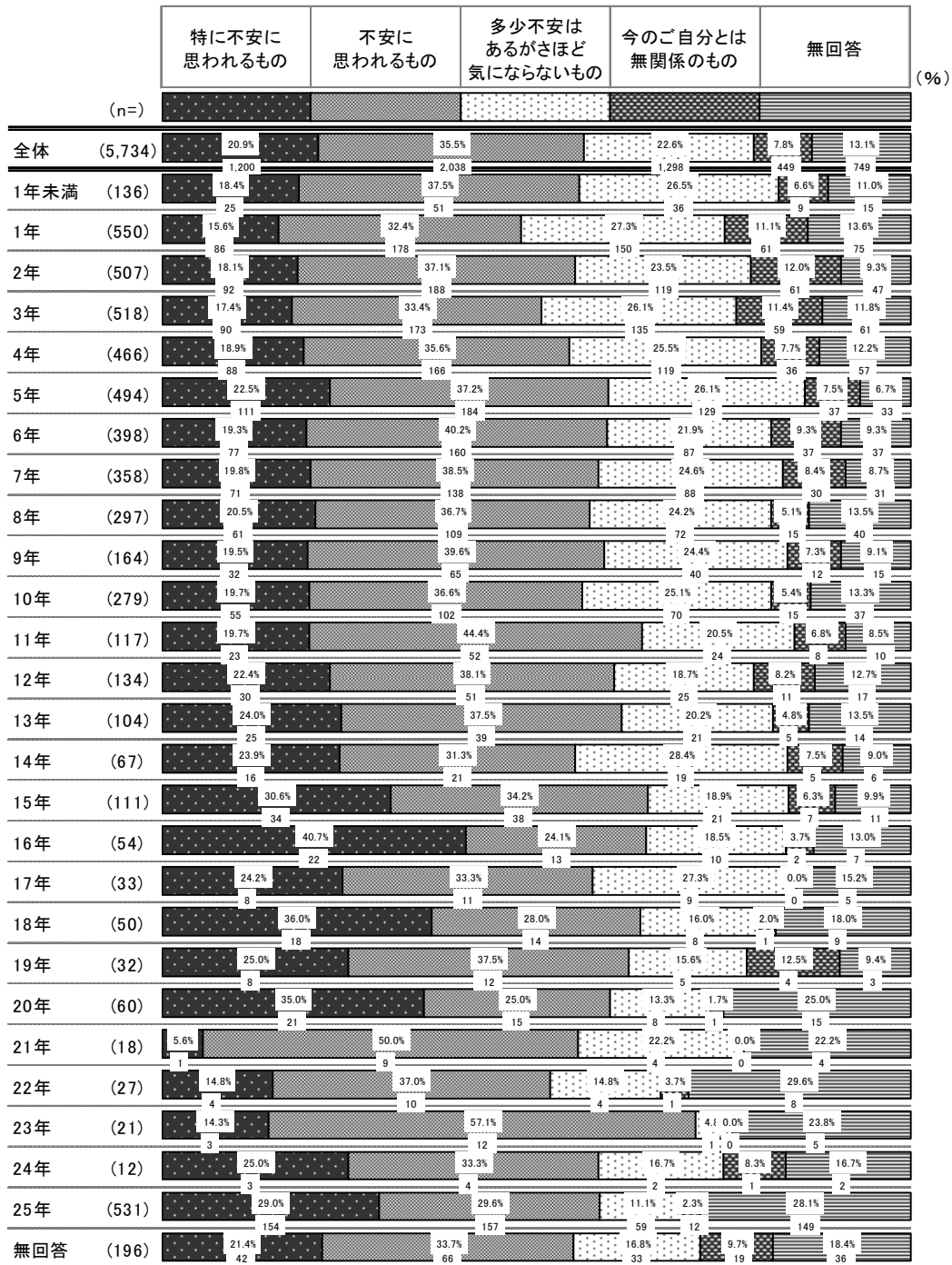
【図11-5 復帰の場合の不安な点(夫など周囲の理解)と就業通算年数】



(6) 体力の低下

体力の低下に不安を感じるかとの質問に対し、「特に不安」または「不安」と回答した方は、全体で56.5%と高く、就業通算年数でも「1年」を除き半数以上を占め、就業通算年数に関わらず、大きな不安要因となっている（図11-6）

【図 11-6 復帰の場合の不安な点（体力の低下）と就業通算年数】

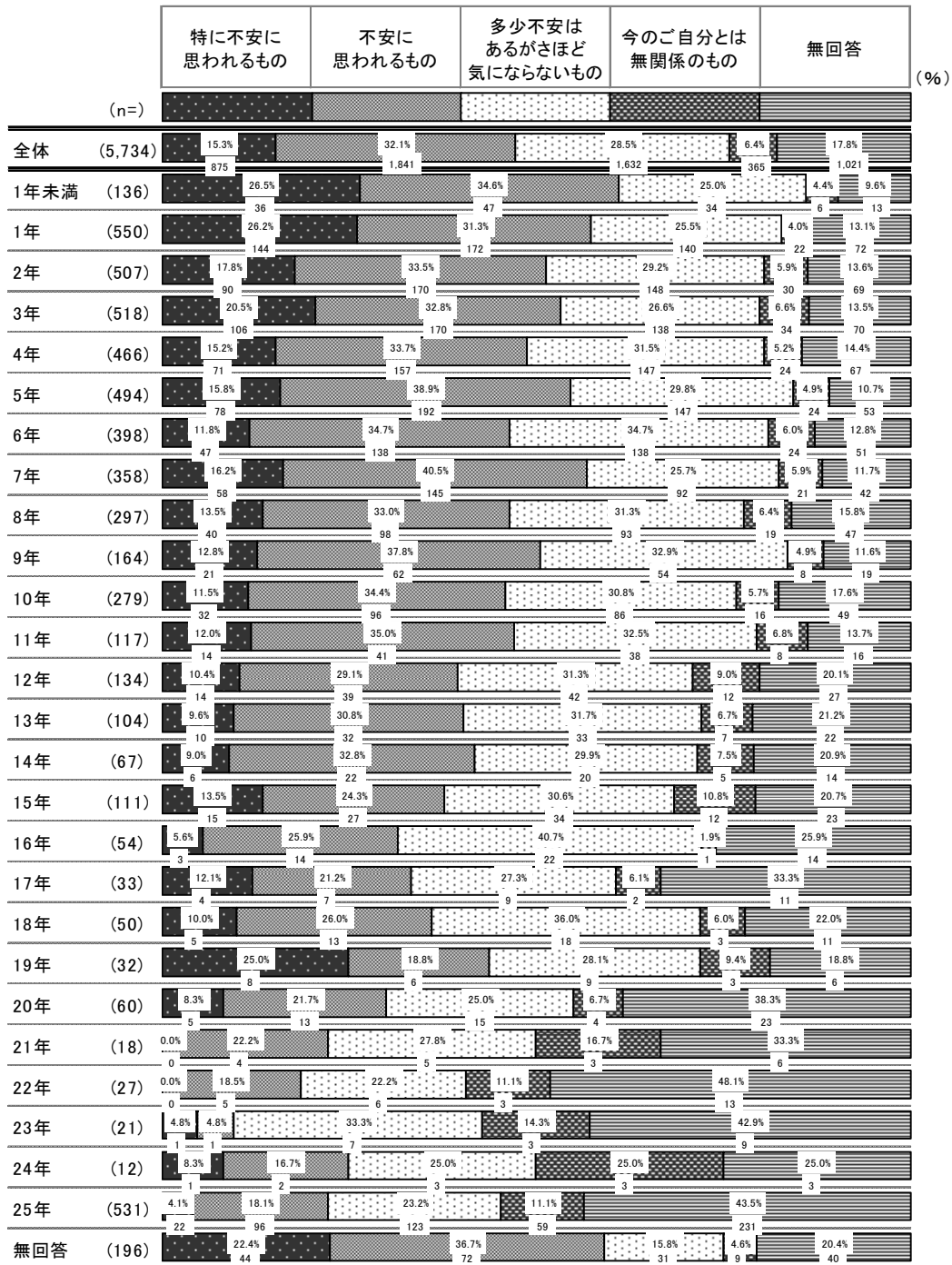


(7) 保育の職場での人間関係

保育の職場での人間関係に不安を感じるかとの質問に対し、「特に不安」または「不安」と回答した方は、就業通算年数が「1年未満」「1年」「7年」で55%以上を占め、大きな不安要因となっている。

また、就業通算年数が短いほどおおむね職場復帰に際して不安と感じている傾向がみられた。(図 11-7)

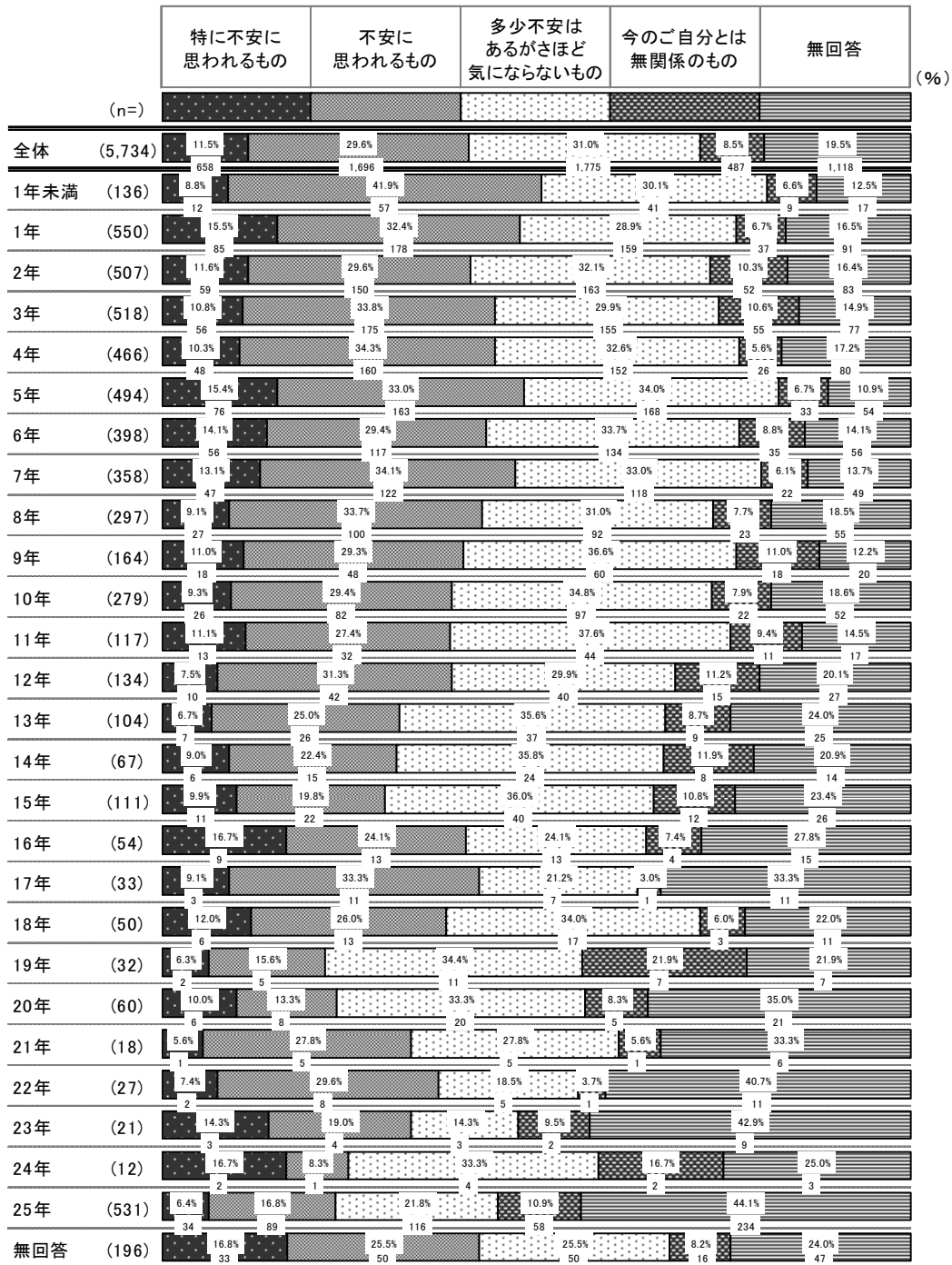
【図 11-7 復帰の場合の不安な点（保育の職場での人間関係）と就業通算年数】



(8) 園児の保護者の対応

園児の保護者の対応に不安を感じるかとの質問に対し、「特に不安」または「不安」と回答した方は、就業通算年数が「1年未満」「1年」「5年」「7年」でいずれも45%以上を占め、不安要因となっている。また、就業通算年数が短いほどおおむね職場復帰に際して不安と感じている傾向がみられた。(図11-8)

【図 11-8 復帰の場合の不安な点 (園児の保護者の対応) と就業通算年数】



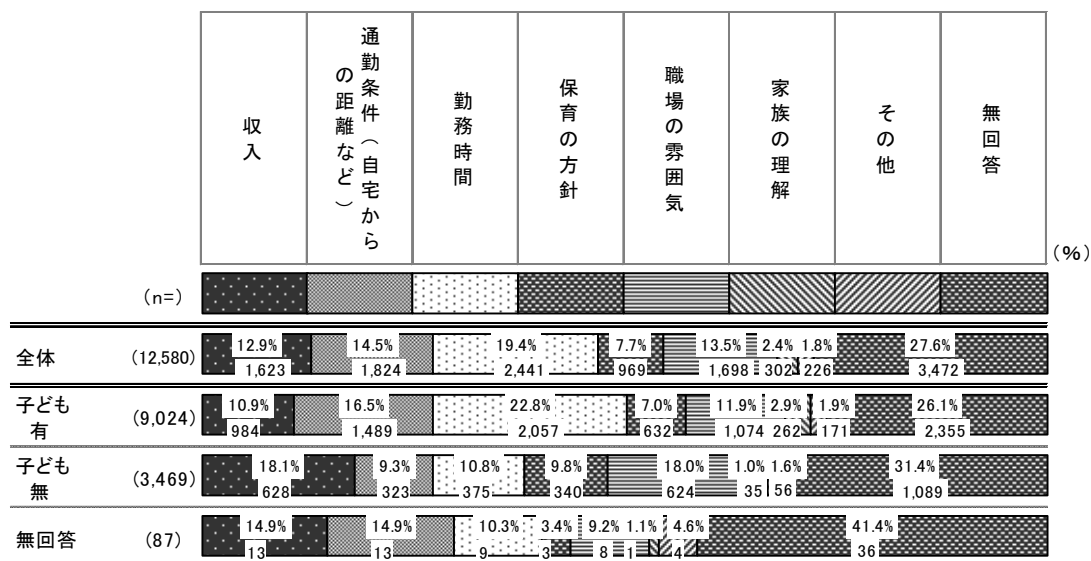
12. 現在保育の仕事をしていない方が復帰時に重視する点と子どもの有無(末子年齢)

現在保育の仕事をしていない方が保育士として復帰する場合に重視する点について、「子ども有」の場合は、「勤務時間」が最も高く22.8%、次いで「通勤条件」が16.5%、「職場の雰囲気」が11.9%となった。

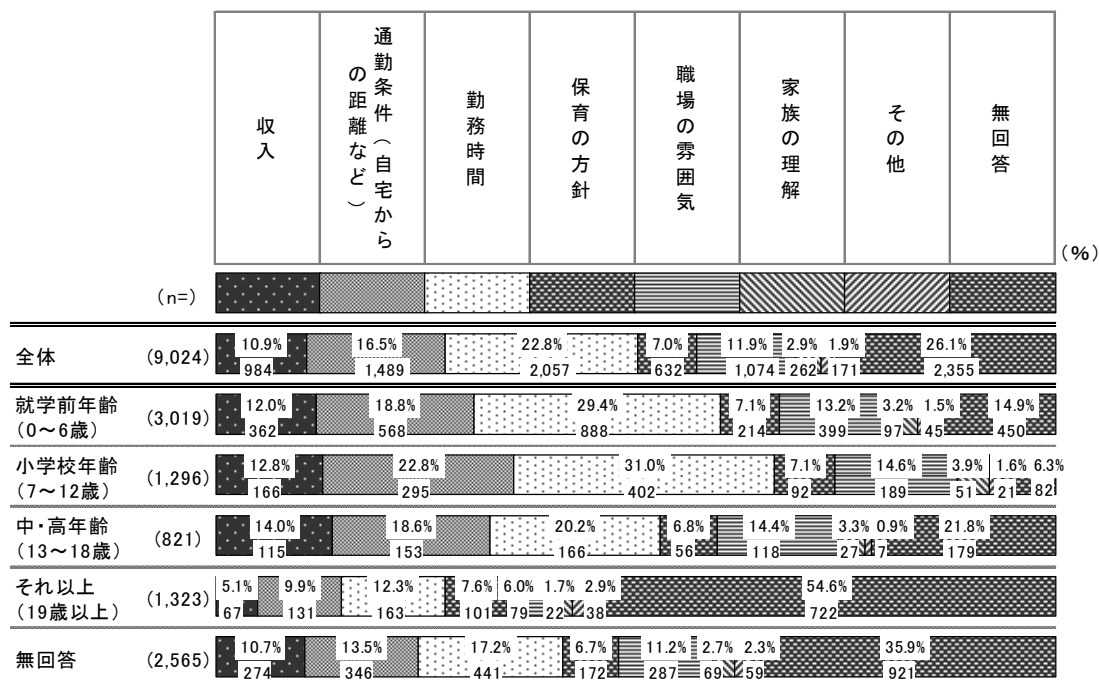
一方、「子ども無」の場合は、「収入」が最も高く18.1%、次いで、「職場の雰囲気」が18.0%、「勤務時間」が10.8%となった。(図12-1)

また、末子年齢別で見ると、いずれの末子年齢帯も「勤務時間」「通勤条件」の順で高く、次いで末子年齢18歳までは「職場の雰囲気」、末子年齢が19歳以上では「保育の方針」となっている。(図12-2)

【図 12-1 復帰時に重視する点と子どもの有無】



【図 12-2 復帰時に重視する点と末子年齢】



13. 現在保育の仕事をしていない方が復帰時に重視する条件と子どもの有無(末子年齢)

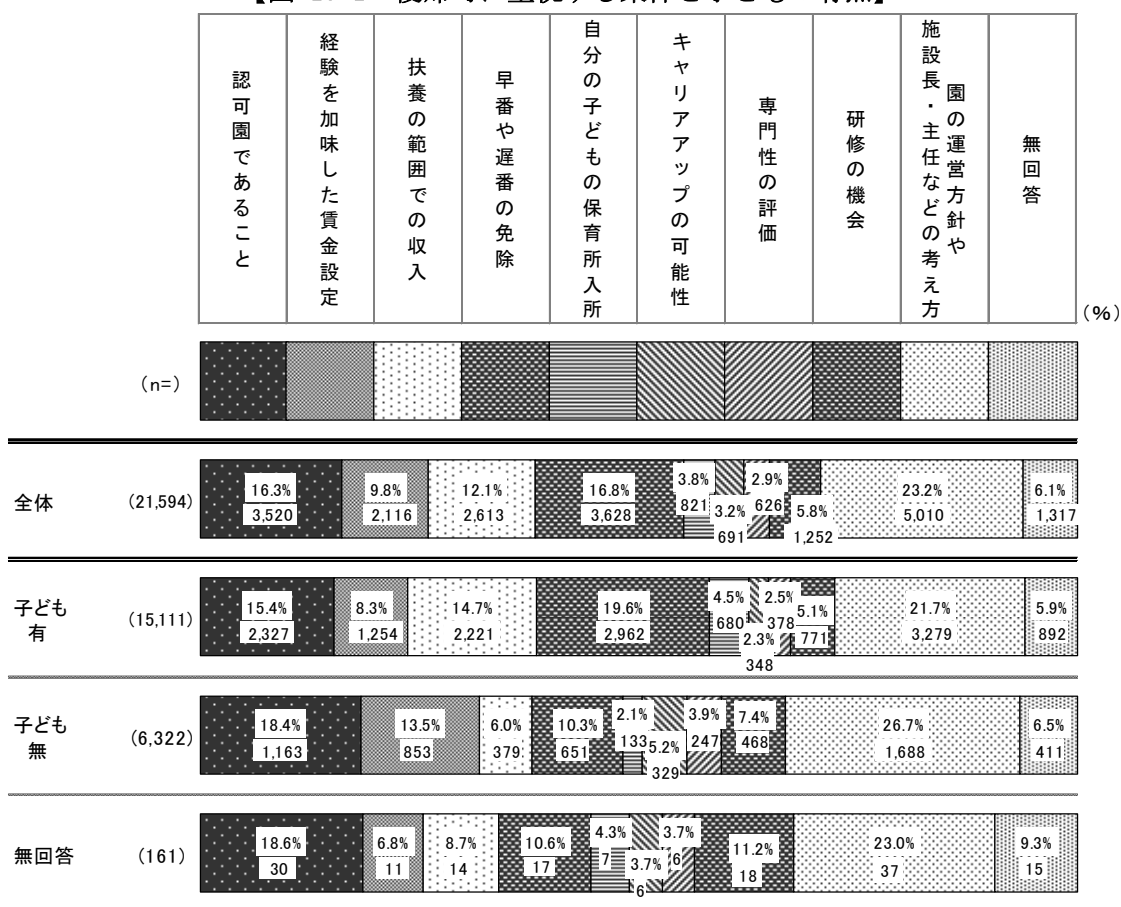
現在保育の仕事をしていない方が保育士として復帰する場合に重視する条件としては子どもの有無に関わらず「園の運営方針や施設長・主任などの考え方」が20%以上で最も高い。

次いで、「子ども 有」では「早番や遅番の免除」が19.6%、「認可園であること」が15.4%となった。対して、「子ども 無」では、「認可園であること」が18.4%、「経験を加味した賃金設定」が13.5%となっている。(図13-1)

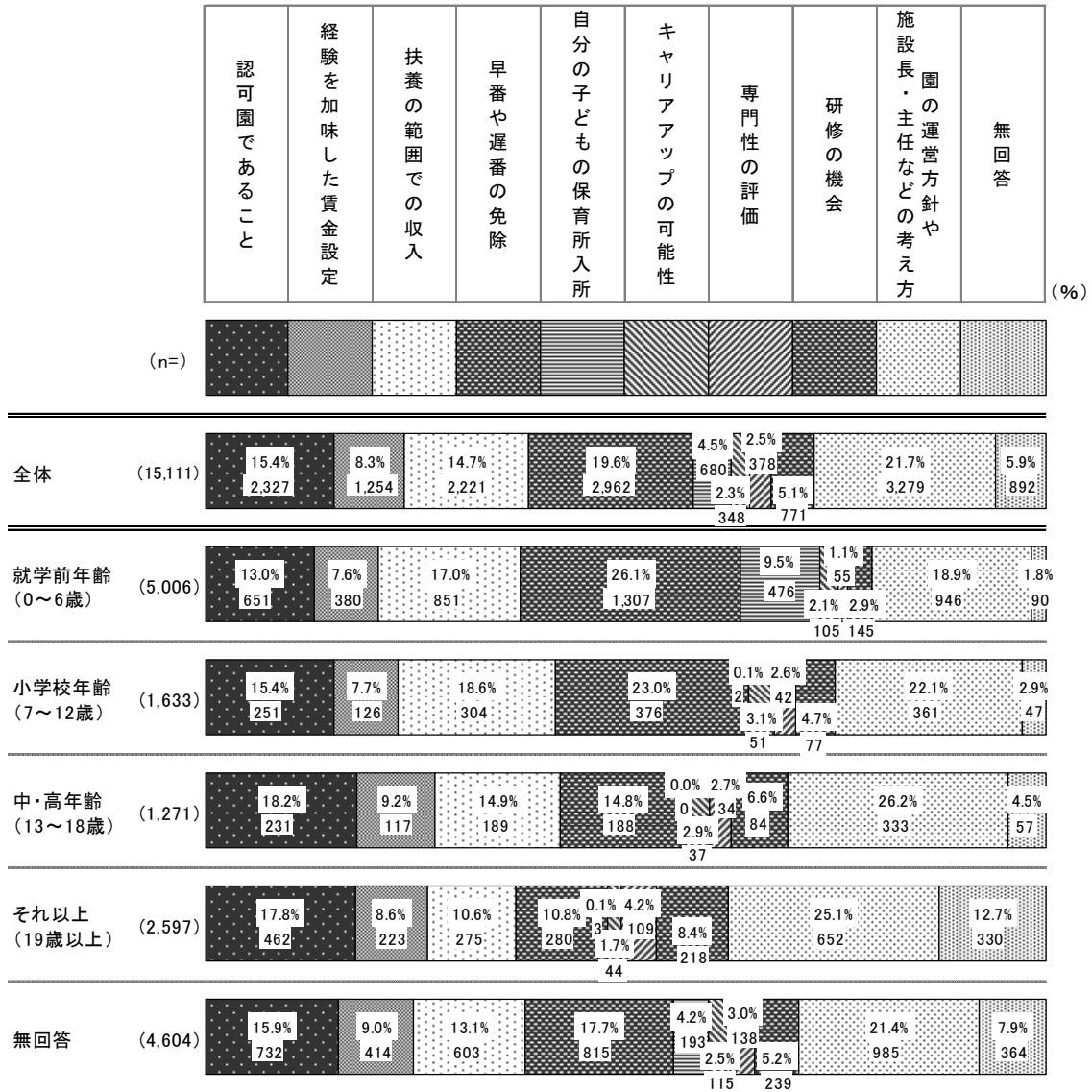
末子年齢別にみると、「就学前年齢(0~6歳)」「小学校年齢(7~12歳)」は、「早番や遅番の免除」が最も高く、次いで「園の運営方針や施設長・主任などの考え方」となった。

対して、「中・高年齢(13~18歳)」「それ以上(19歳以上)」では「園の運営方針や施設長・主任などの考え方」が最も高く、次いで「認可園であること」となった。(図13-2)

【図13-1 復帰時に重視する条件と子どもの有無】



【図 13-2 復帰時に重視する条件と末子年齢】



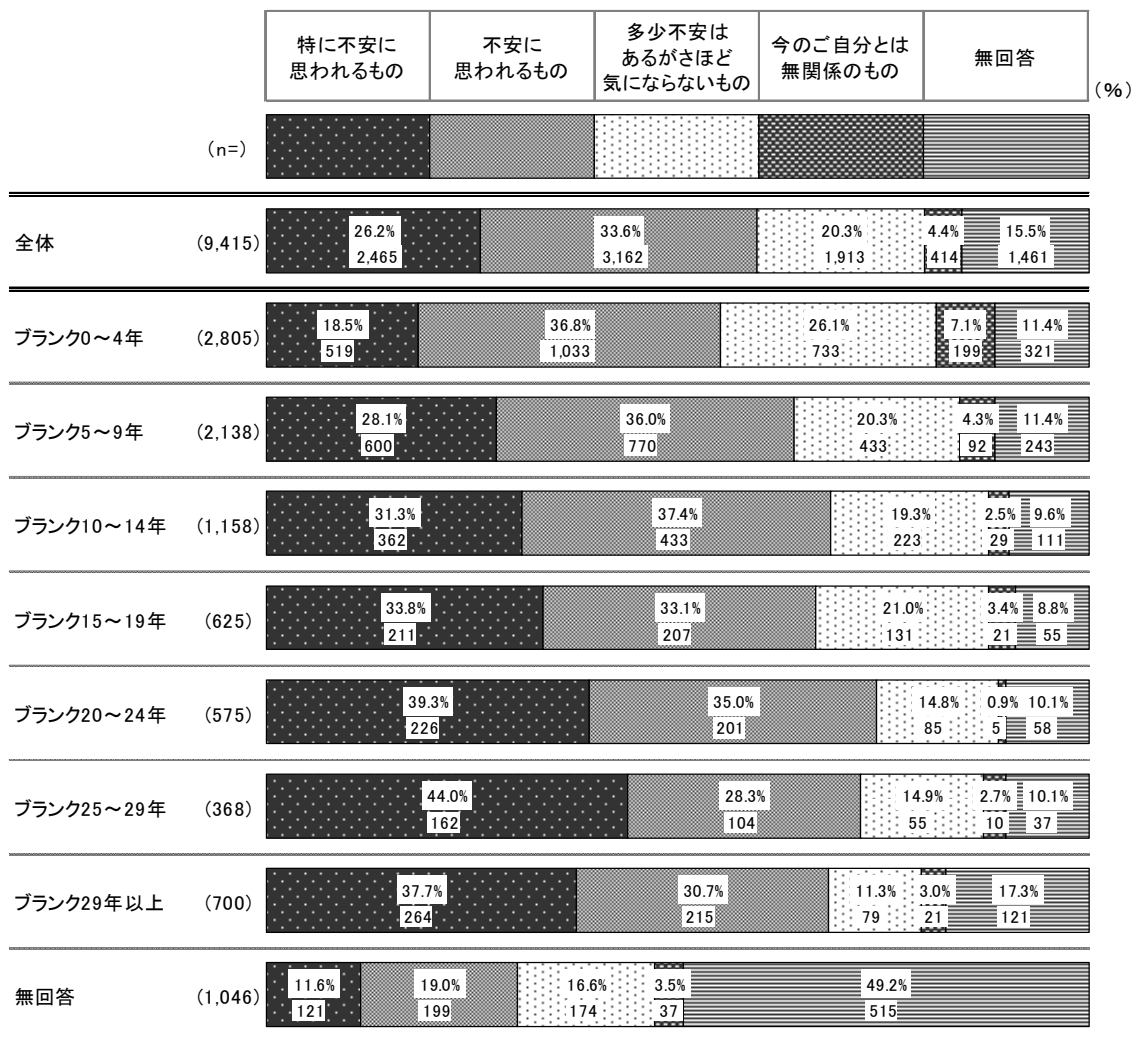
14. 現在保育の仕事をしていない方の復帰する際の不安な点とブランク期間

(1) 最近の保育の知識や技術などの不足

現在保育の仕事をしていない方が保育士として復帰する場合に最近の保育の知識や技術などの不足に不安を感じるかとの質問には、ブランク期間の長さ按比例して「特に不安」と回答している方が多い傾向がみられた。

ブランク期間別に「特に不安」をみると、「ブランク 25～29年」が最も高く 44.0%となった。(図 14-1)

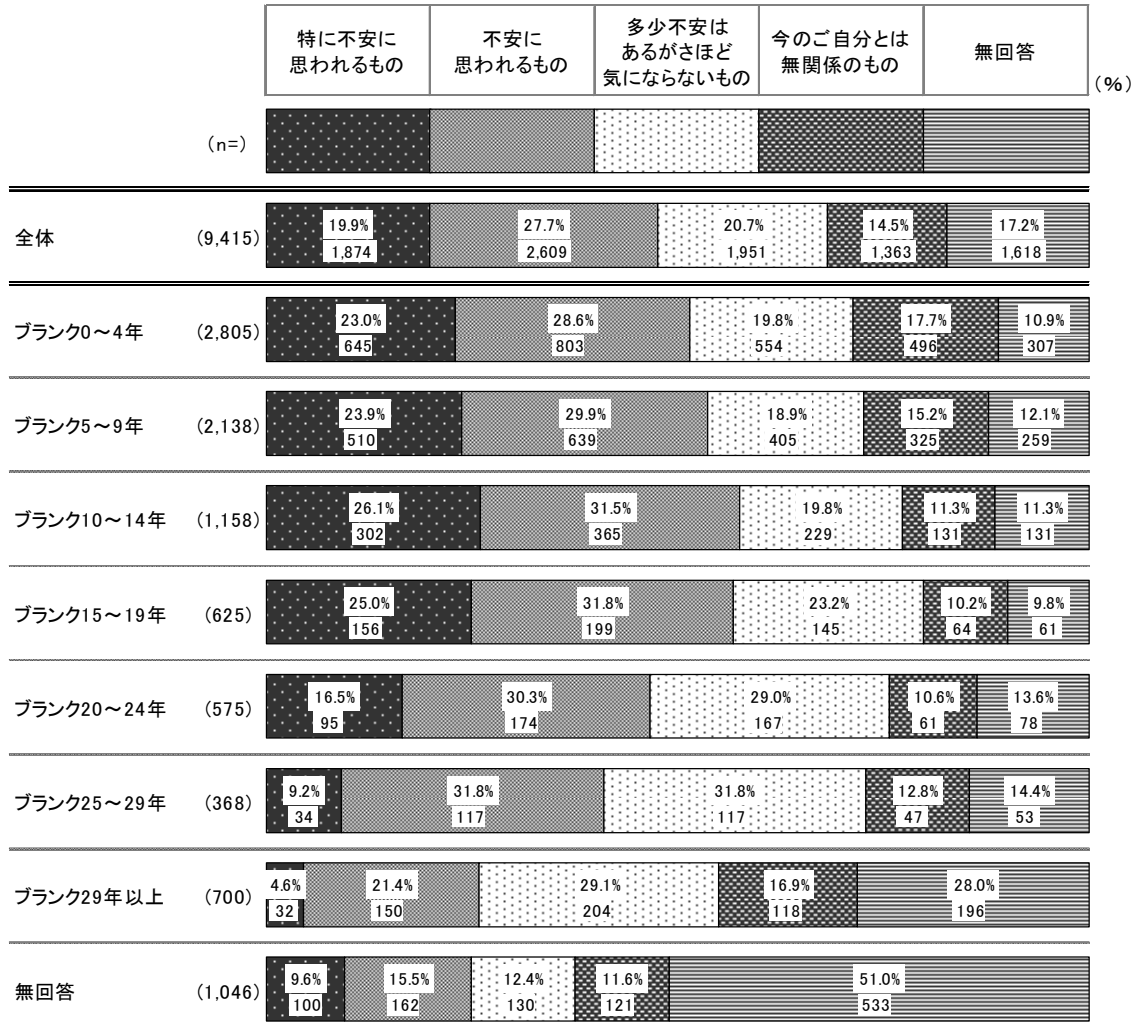
【図 14-1 復帰の場合の不安な点（最近の保育の知識や技術などの不足）とブランク期間】



(2) 家事との両立

家事との両立に不安を感じるかとの質問には、ブランク期間が0年から19年では半数以上が「特に不安」「不安」と回答しており、大きな不安要因となっている。一方「ブランク29年以上」は「特に不安」「不安」と回答した方は26.0%とどまり、大きな不安要因にはなっていないことが伺える。(図14-2)

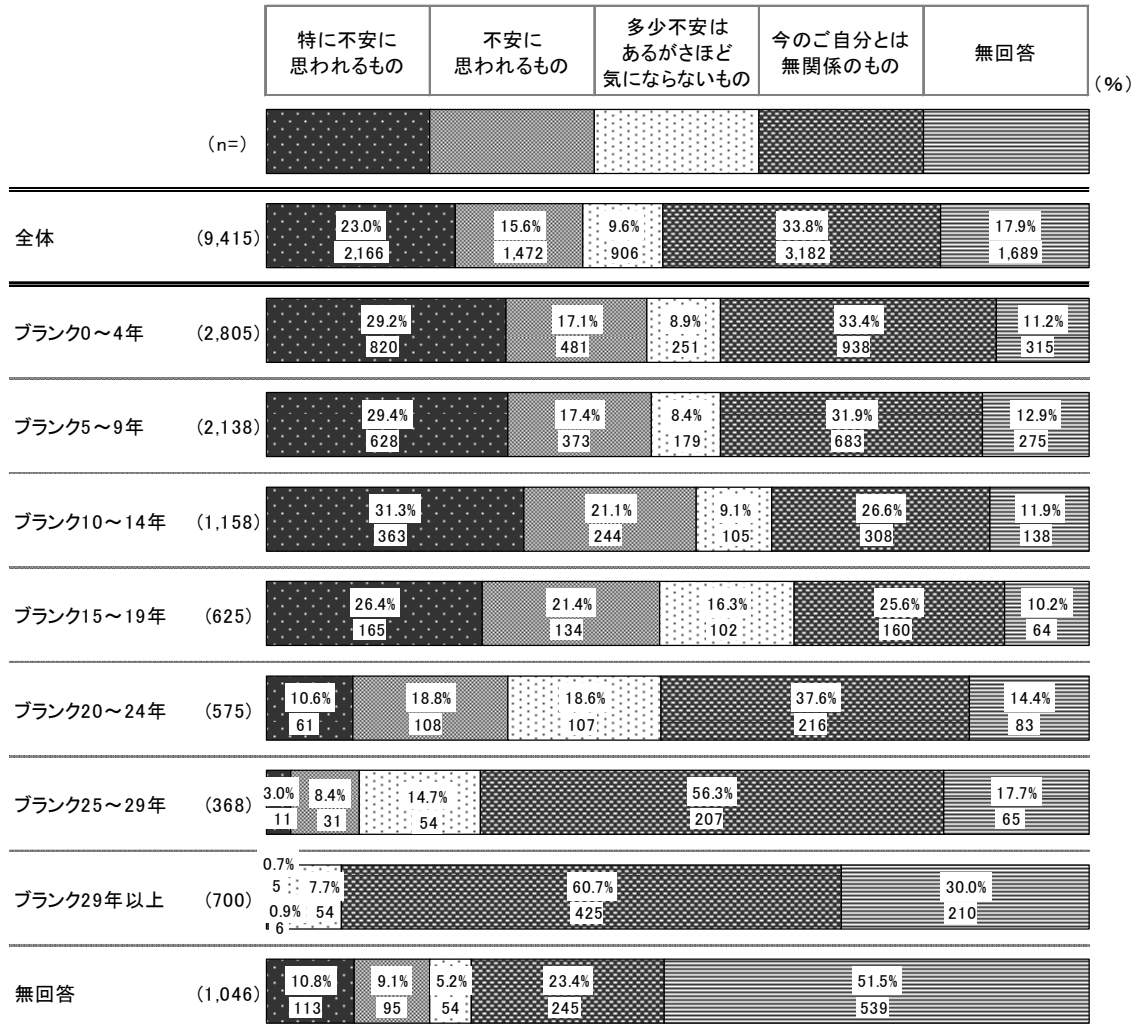
【図 14-2 復帰の場合の不安な点 (家事との両立) とブランク期間】



(3) 育児との両立

育児との両立に不安を感じるかとの質問には、ブランク期間が0年から19年では「特に不安」「不安」と回答した方がそれぞれ約半数おり、大きな不安要因となっている。一方、「ブランク20～24年」は「特に不安」「不安」と回答した方は29.4%、「ブランク25～29年」は11.4%、「ブランク29年以上」は1.6%と少数にとどまり、不安要因となっていないことが伺える。(図14-3)

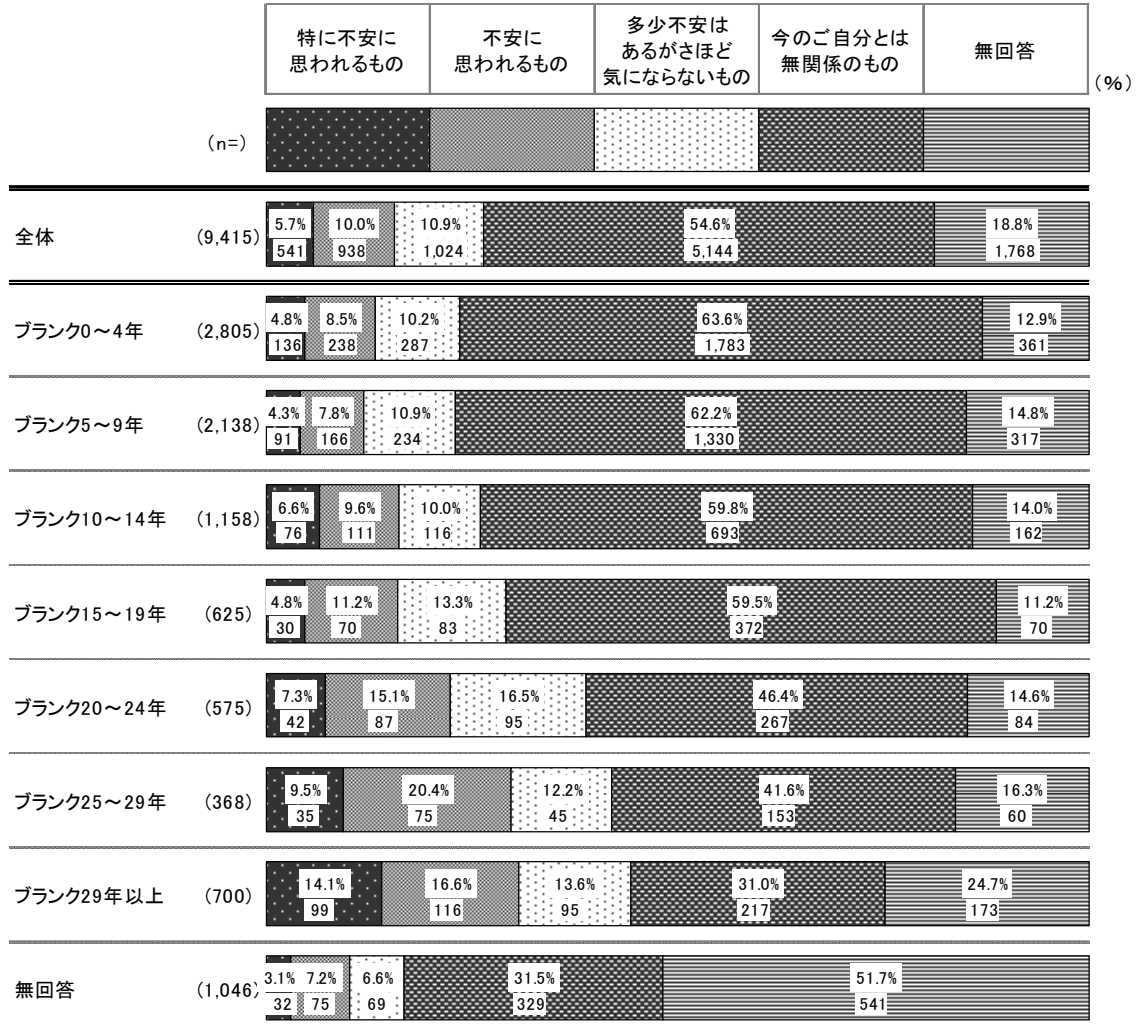
【図 14-3 復帰の場合の不安な点（育児との両立）とブランク期間】



(4) 介護との両立

介護との両立に不安を感じるかとの質問には、ブランク期間の長さに比例して「特に不安」と回答している傾向にみられた。ただし、「特に不安」「不安」と回答した方が他のブランク年数帯より多い「ブランク29年以上」でも「特に不安」「不安」回答者は30.7%にとどまり、大きな不安要因となっていないことが伺える。(図14-4)

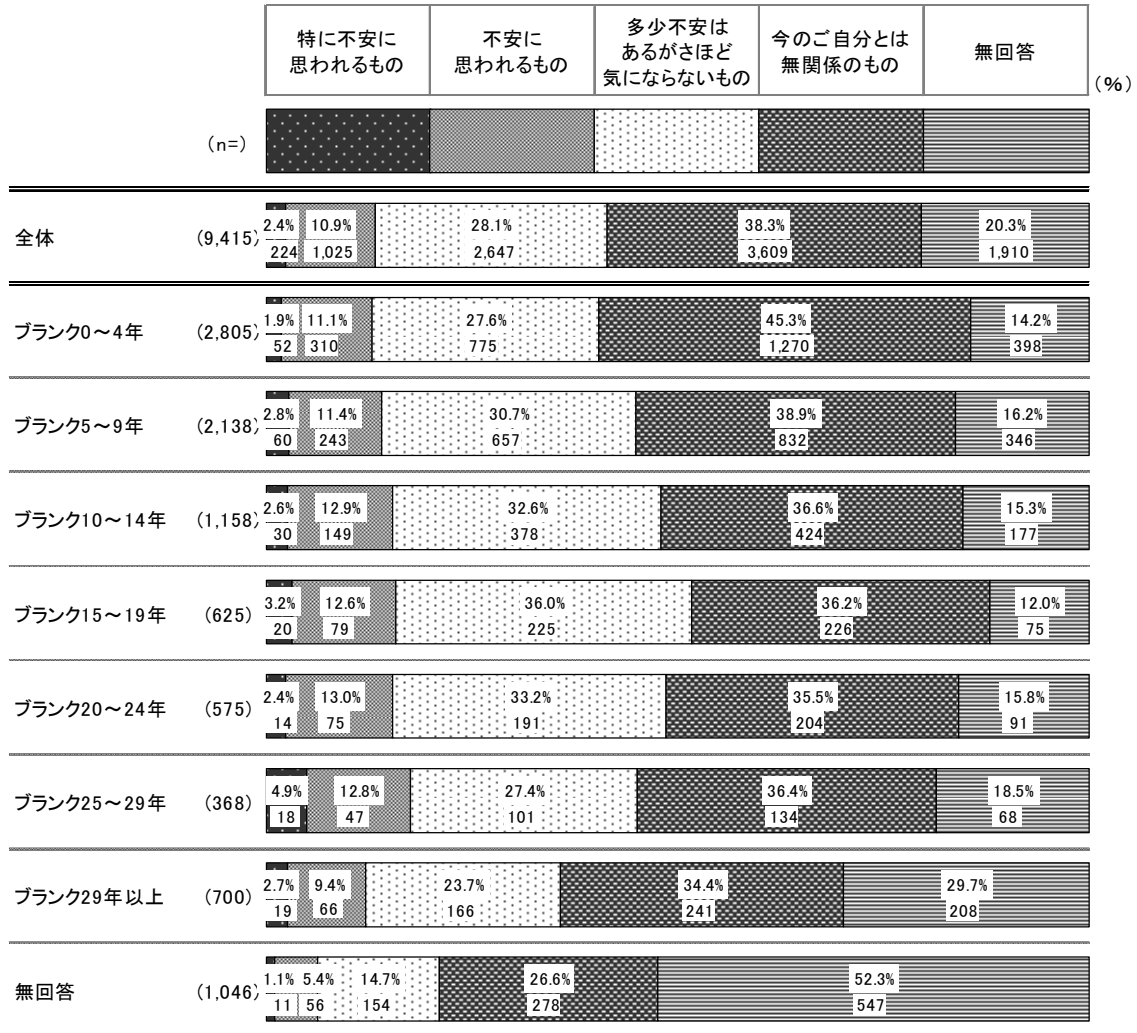
【図 14-4 復帰の場合の不安な点 (介護との両立) とブランク期間】



(5) 夫など周囲の理解

夫など周囲の理解に不安を感じるかとの質問に対し、「特に不安」「不安」との回答はブランク期間の長さに関わらず 15%程度と、大きな不安要因となっていないことが伺える。(図 14-5)

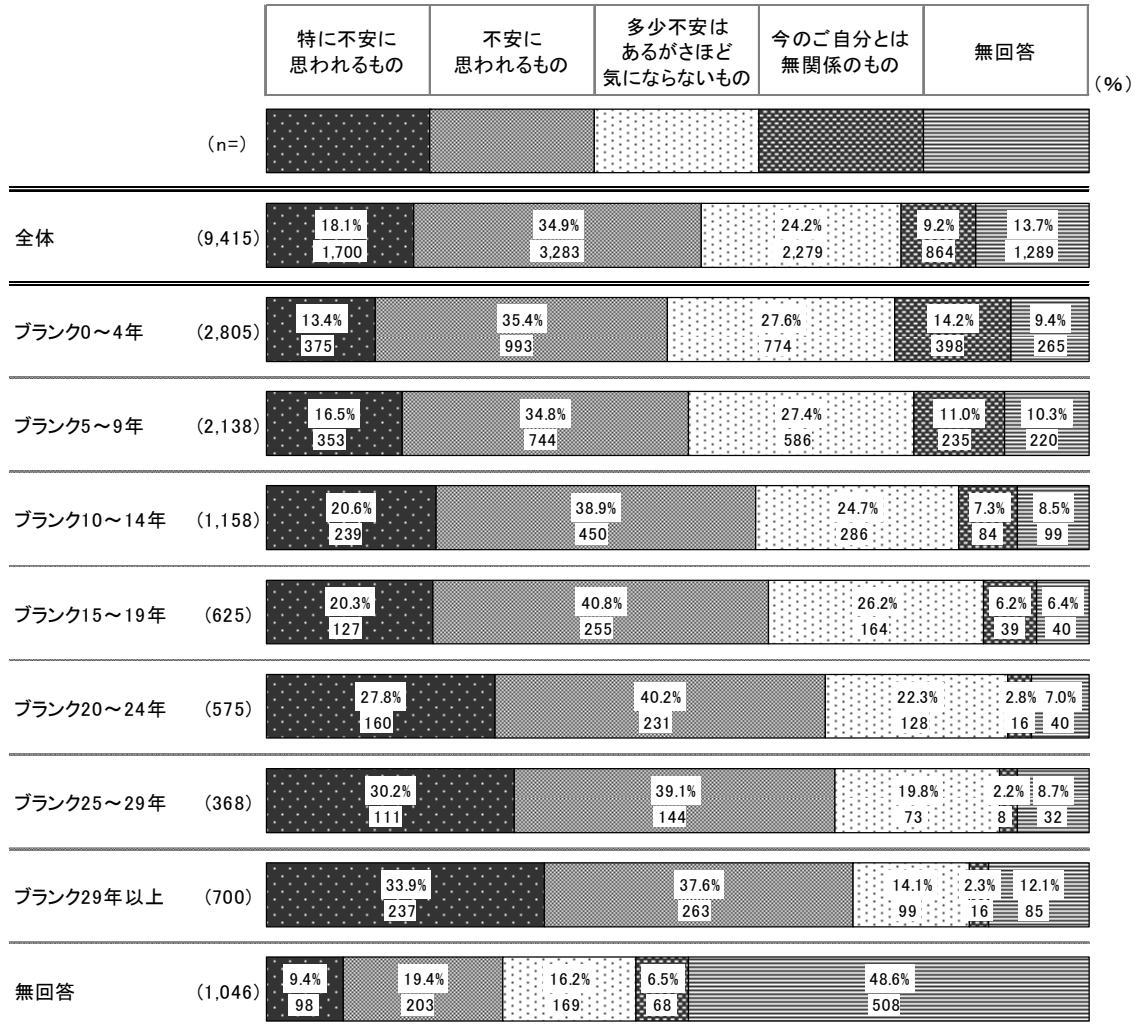
【図 14-5 復帰の場合の不安な点 (夫など周囲の理解) とブランク期間】



(6) 体力の低下

体力の低下に不安を感じるかとの質問には、「ブランク 0～4 年」の「特に不安」「不安」と回答は 48.8%、「ブランク 29 年以上」では 71.4%と、いずれのブランク年数帯でも大きな不安要因となっている。ブランク期間の長さ按比例して「特に不安」「不安」と回答している傾向がみられた。(図 14-6)

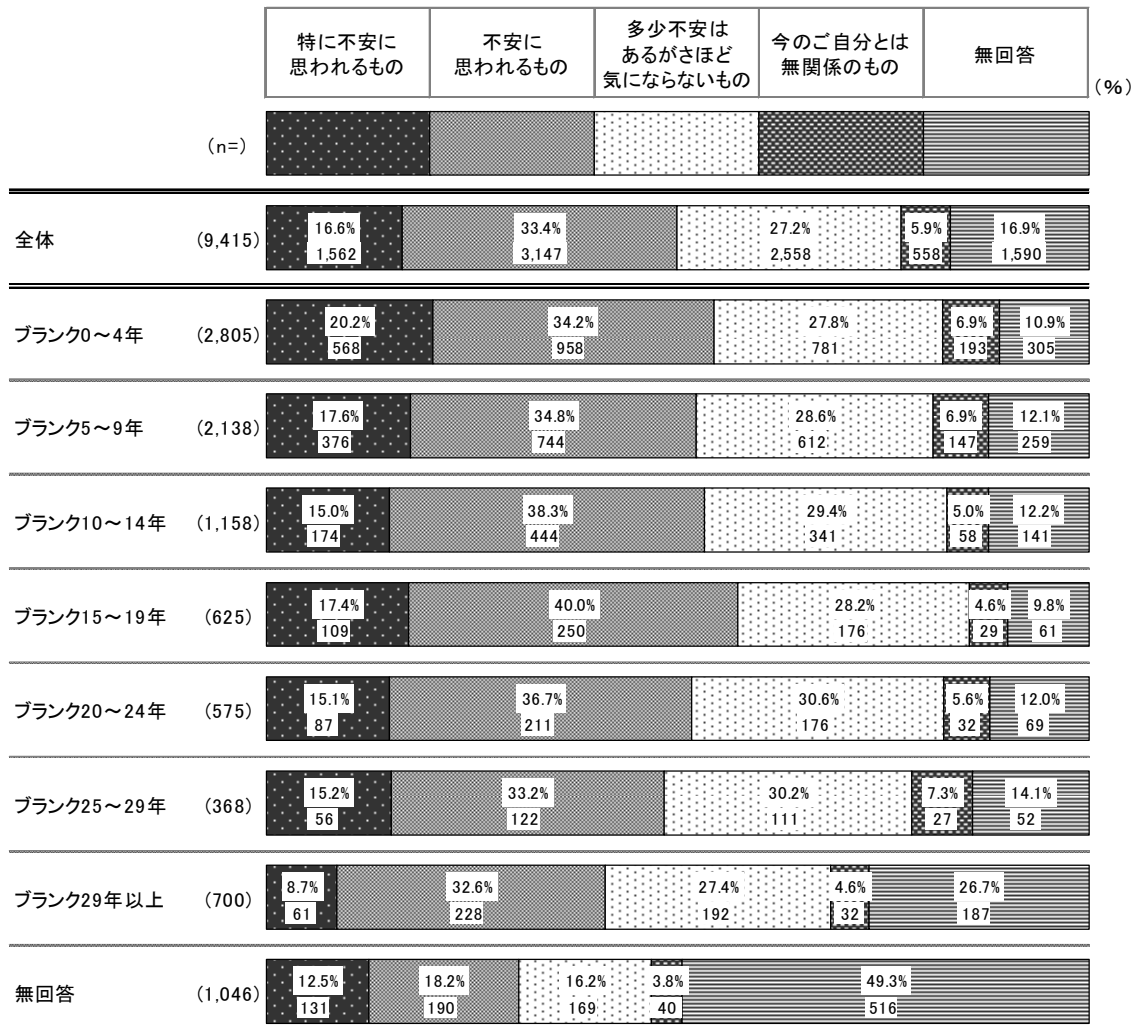
【図 14-6 復帰の場合の不安な点（体力の低下）とブランク期間】



(7) 保育の職場での人間関係

保育の職場での人間関係に不安を感じるかとの質問に対し、ブランク期間が0年から29年では「特に不安」「不安」と回答した方がそれぞれ約半数おり、大きな不安要因となっている。(図 14-7)

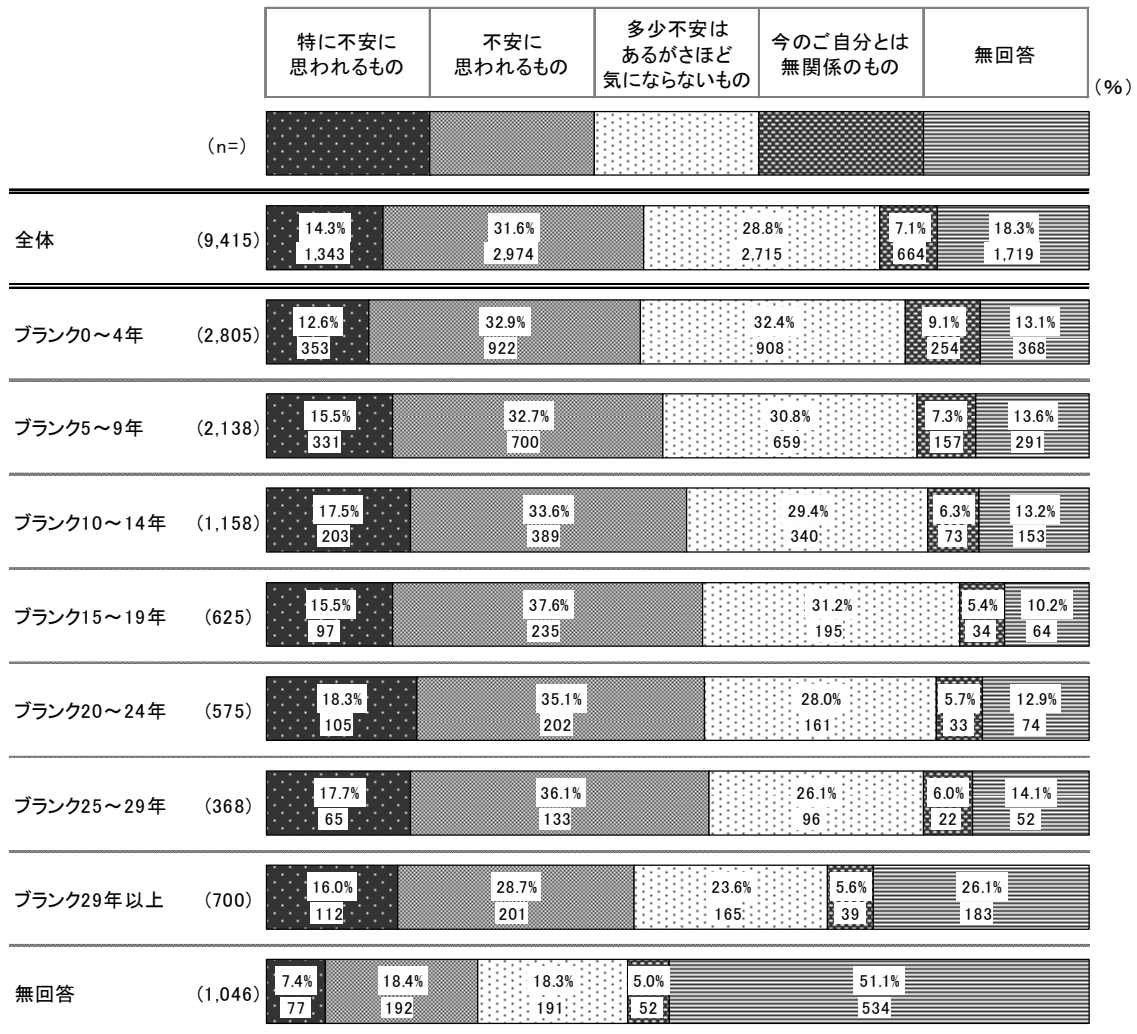
【図 14-7 復帰の場合の不安な点（保育の職場での人間関係）とブランク期間】



(8) 園児の保護者の対応

園児の保護者の対応に不安を感じるかとの質問に対し、ブランク期間の長さに関わらず「特に不安」「不安」と回答した方がそれぞれ約半数おり、大きな不安要因となっている。(図 14-8)

【図 14-8 復帰の場合の不安な点(園児の保護者の対応)とブランク期間】

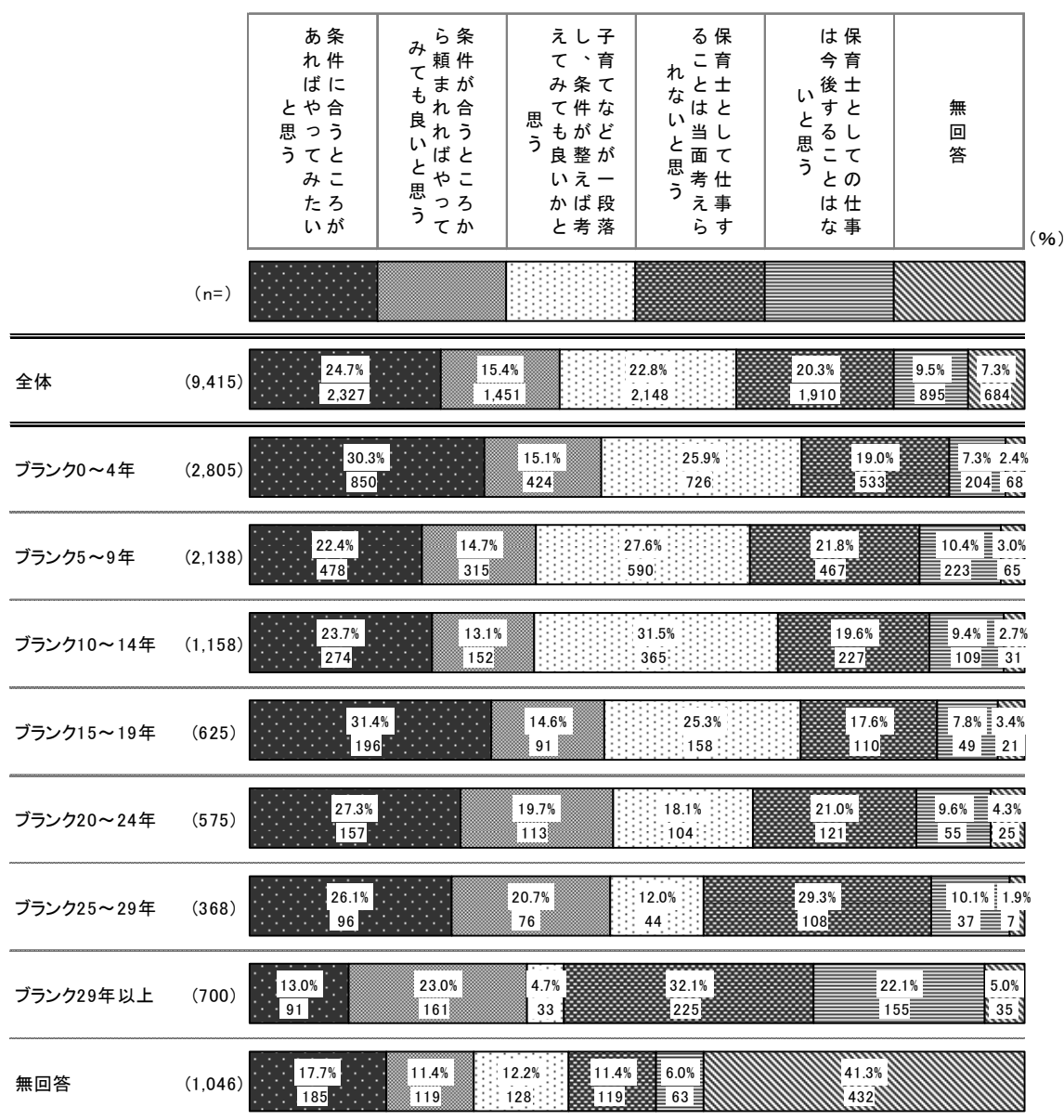


15. 現在保育の仕事をしていない方が保育士として就業をする場合の気持ちとブランク期間

神奈川県内で保育士として仕事をする場合の気持ちについての質問には、「ブランク 29 年以上」の 32.1%が「保育士として仕事することは当面考えられないと思う」と回答しており、次いで「ブランク 10～14 年」の 31.5%が「子育てなどが一段落し、条件を整えば考えてみても良いかと思う」、「ブランク 15～19 年」の 31.4%が「条件に合うところがあればやってみたいと思う」となった。

「条件に合うところがあればやってみたいと思う」はブランクが 0～29 年で 20%～30%程度、「条件が合うところから頼まれればやってみても良いかと思う」はブランクが 20 年以上で 20%前後、「子育てなどが一段落し、条件を整えば考えてみても良いかと思う」はブランクが 0～19 年で 30%前後、「保育士として仕事することは当面考えられないと思う」はブランクが 25 年以上で 30%前後、「保育士としての仕事は今後することはないと思う」は「ブランク 29 年以上」で 22.1%と、ブランク期間で気持ちに差が見られている。(図 15)

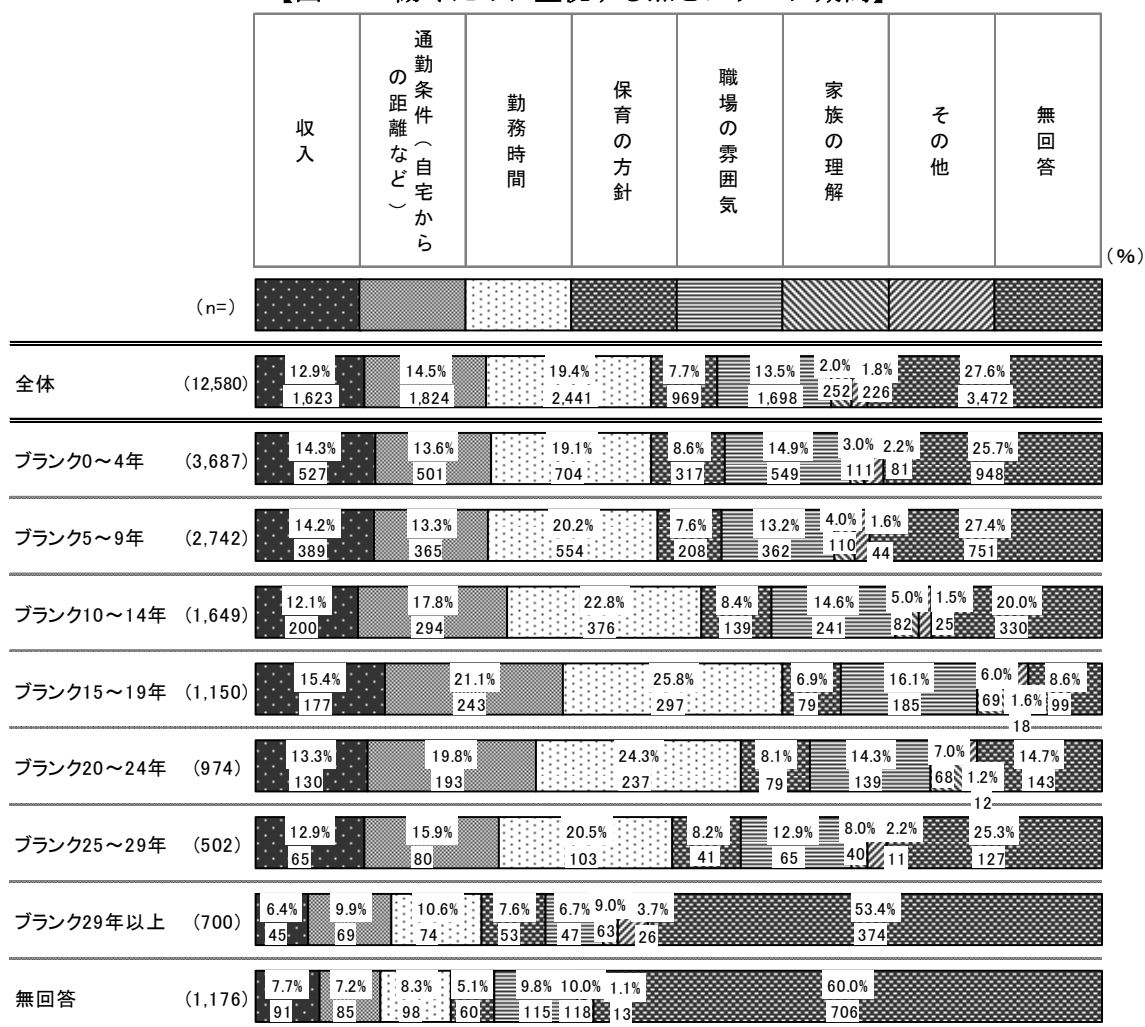
【図 15 保育士として仕事をすることについての気持ちとブランク期間】



16. 現在保育の仕事をしていない方が保育士資格を活かして働くために重視する点とブランク期間

現在保育の仕事をしていない方が保育士資格を活かして働くために重視する点については、いずれのブランク年数帯でも「勤務時間」が最も高い。次いで「ブランク 10～14年」「ブランク 15～19年」「ブランク 20～24年」「ブランク 25～29年」では、「通勤条件」、「職場の雰囲気」及び「収入」の順となり、「ブランク 0～4年」では、「職場の雰囲気」、「収入」の順、「ブランク 5～9年」では、「収入」、「通勤条件」の順、「ブランク 29年以上」では、「通勤条件」、「保育の方針」の順と、ブランク期間により、重視する項目順位は、「勤務時間」以降やや異なることが伺える。(図 16)

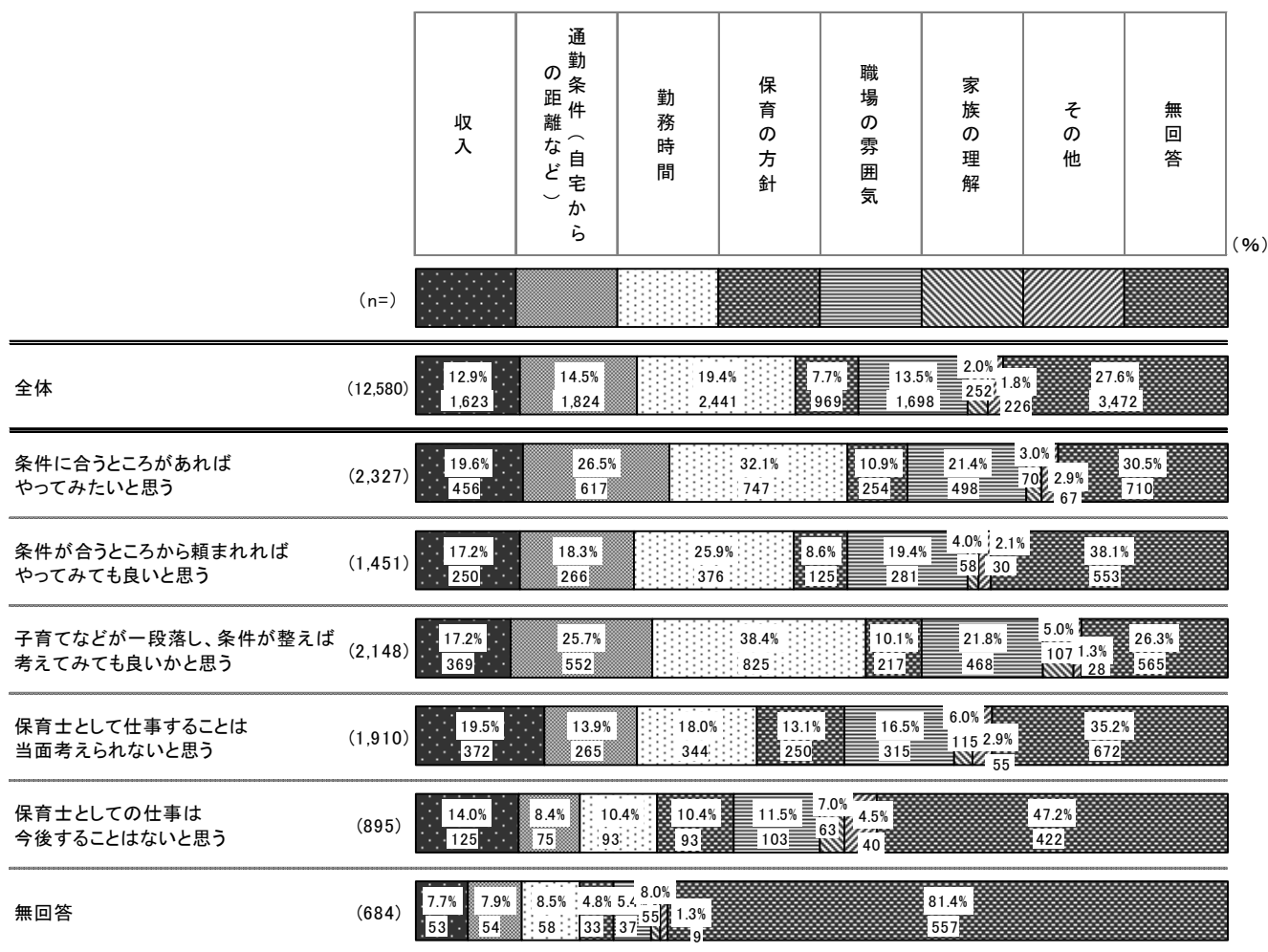
【図 16 働くために重視する点とブランク期間】



17. 現在保育の仕事をしていない方が保育士復帰時に重視する点と復帰することへの気持ち

現在保育の仕事をしていない方が保育士資格を活かして働くために重視する点については、保育士就業意向度別にみると、「条件に合うところがあればやってみたいと思う」「条件が合うところから頼まれればやってみても良いと思う」「子育てなどが一段落し、条件が整えば考えてみても良いかと思う」と回答した方では「勤務時間」を最も重視している。「保育士として仕事することは当面考えられないと思う」「保育士としての仕事は今後することはないと思う」と回答した方では「収入」を最も重視している。保育士就業意向度によって重視する点は異なることが伺えた。(図 17)

【図 17 保育士復帰時に重視する点と復帰することへの気持ち】



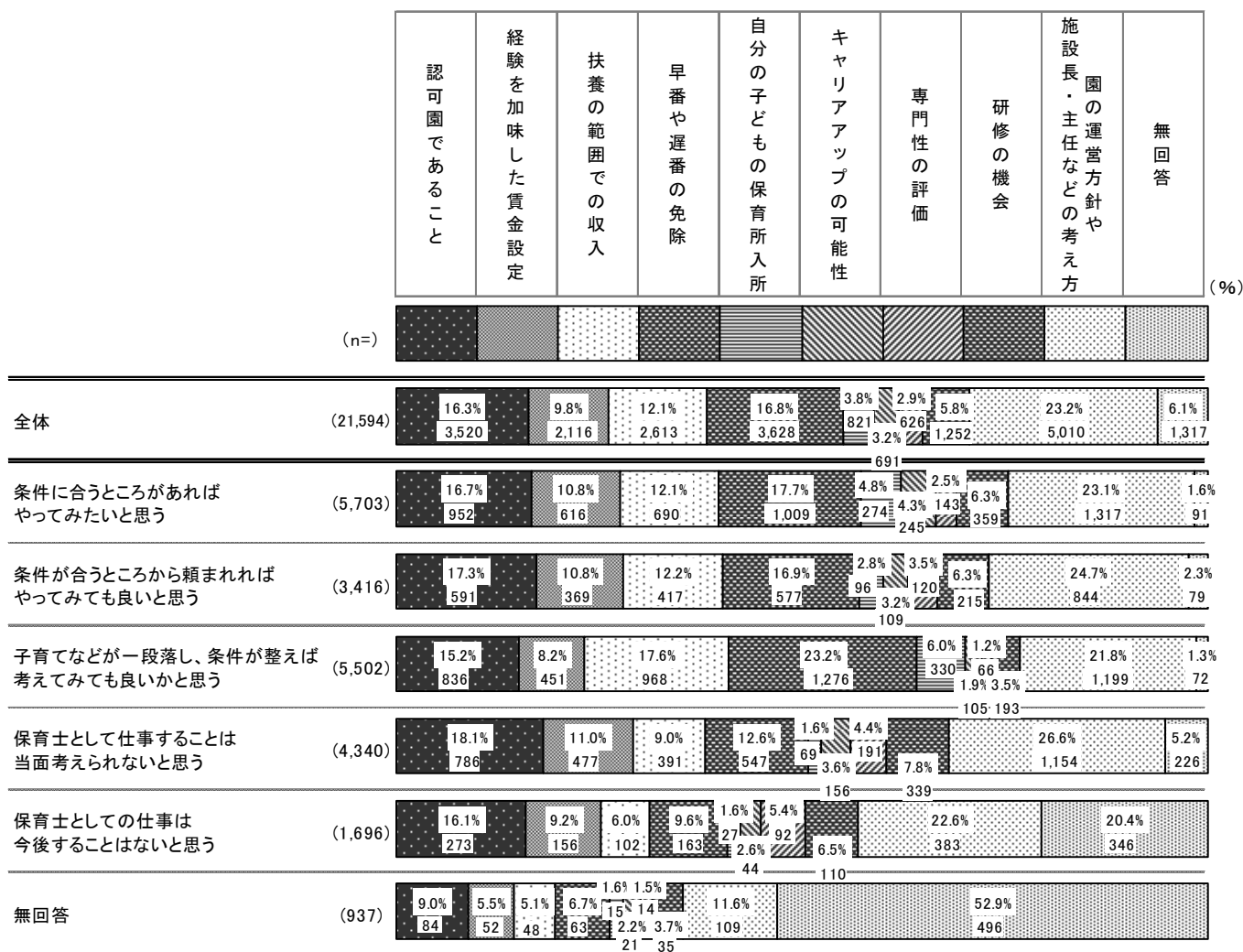
18. 現在保育の仕事をしていない方が保育士として仕事をする場合の重視する条件と気持ち

現在保育の仕事をしていない方が保育士へ復帰する場合に重視する条件については、保育士就業意向度別にみると、「条件に合うところがあればやってみたいと思う」「条件が合うところから頼まれればやってみても良いと思う」「保育士として仕事することは当面考えられないと思う」「保育士としての仕事は今後することはないと思う」と回答した方では「園の運営方針や施設長・主任などの考え方」が最も高く、「子育てなどが一段落し、条件が整えば考えてみても良いかと思う」と回答した方では、「早番や遅番の免除」が最も高くなった。

次いで、「条件が合うところから頼まれればやってみても良いと思う」「保育士として仕事することは当面考えられないと思う」「保育士としての仕事は今後することはないと思う」と回答した方では、「認可園であること」、「条件に合うところがあればやってみたいと思う」と回答した方では「早番や遅番の免除」、「子育てなどが一段落し、条件が整えば考えてみても良いかと思う」と回答した方では「園の運営方針や施設長・主任などの考え方」となり、保育士就業意向度によってやや重視する条件は異なることが伺える。

(図 18)

【図 18 保育士復帰時に重視する条件と復帰することへの気持ち】

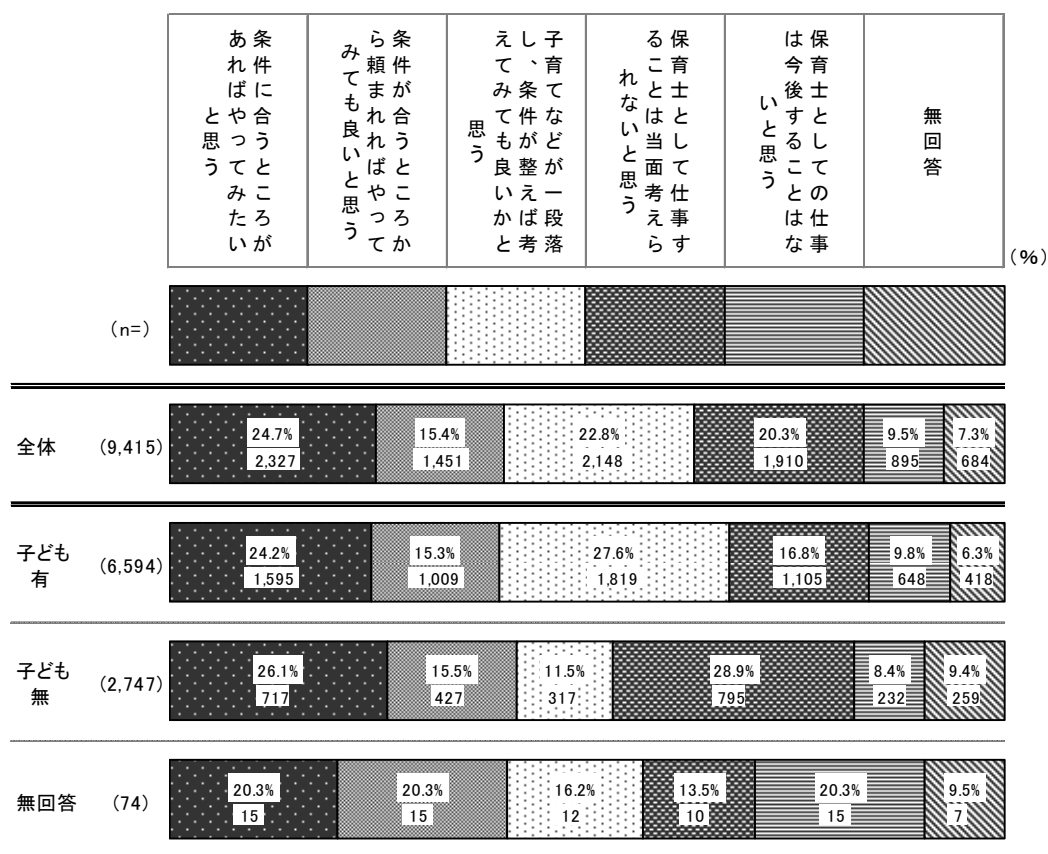


19. 現在保育の仕事をしていない方が保育士として就業する場合の気持ちと子供の有無(末子年齢)

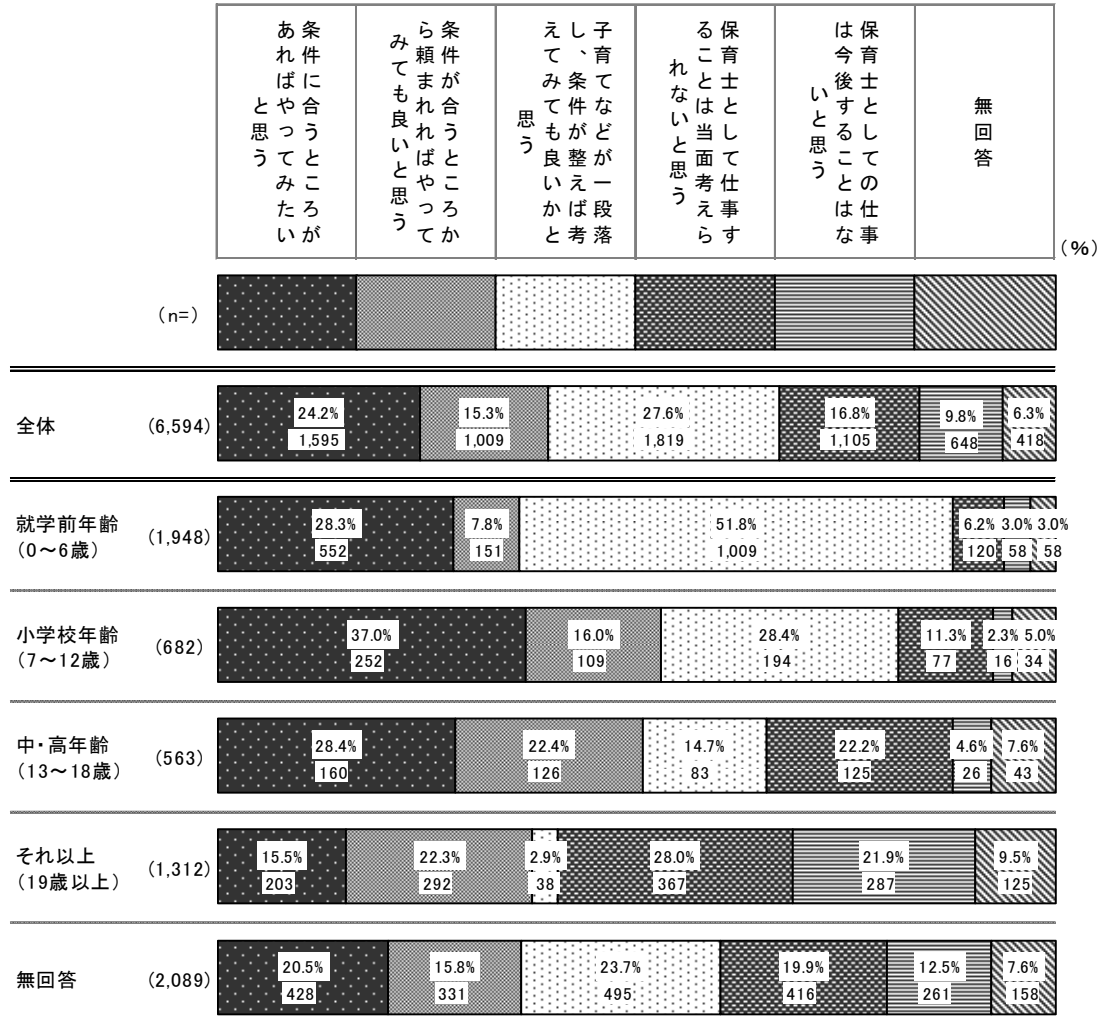
現在保育の仕事をしていない方が保育士として就業する場合の気持ちについての質問で、「子ども有」は、27.6%が「子育てなどが一段落し、条件が整えば考えてみても良いかと思う」と回答した。次いで、「条件に合うところがあればやってみたいと思う」が24.2%、「保育士として仕事することは当面考えられないと思う」が16.8%となった。対し、「子ども無」は、「保育士として仕事することは当面考えられないと思う」が最も高く、次いで「条件に合うところがあればやってみたいと思う」が26.1%、「条件が合うところから頼まれればやってみても良いと思う」が15.5%となり、子どもの有無によって「保育士として仕事することは当面考えられないと思う」の順位が異なっていることが伺えた。(図19-1)

また、末子年齢が高いほど、「条件に合うところがあればやってみたいと思う」「子育てなどが一段落し、条件が整えば考えてみても良いかと思う」の割合が低くなった。対して、「条件が合うところから頼まれればやってみても良いと思う」「保育士として仕事することは当面考えられないと思う」の割合は高くなり、「保育士としての仕事は今後することはないと思う」は、「それ以上(19歳以上)」で高い割合が伺えた。(図19-2)

【図 19-1 保育士へ復帰することへの気持ちと子どもの有無】



【図 19-2 保育士へ復帰することへの気持ちと末子年齢】



Ⅲ 調査票

平成 25 年度

神奈川県保育士実態調査(調査票)

今後、神奈川県や市町村からの研修等の案内送付のために、お名前等を記入していただいた場合、アンケートにご回答いただいた内容は、個人を特定する形ではなく、統計的に処理し、それ以外の目的に使用することはありませんので、ありのままをご回答ください。

このシートは全員の方に回答をお願いします

1 あなたご自身についてお答えください。(2013年12月31日時点の状況をご記入ください。)

性別	1 女性	2 男性
年齢	1 35～39 歳	2 40～46 歳
子どもの有無	1 有 ⇒子どもの数()人 末子年齢()歳 2 無	
在住市町村名	1 神奈川県()市町村 2 神奈川県以外	

2 保育士資格を取得された方法などについて伺います。

①保育士資格の取得方法は？(あてはまる方に○を付けてください。)

ア 保育士養成校を卒業 イ 保育士試験に合格

②保育士資格を取得された理由は？(主なものに3つまで○を付けてください。)

ア 子どもと接することが好きだから イ 保育の仕事に興味があったから
ウ あこがれの職業だったから エ 学校や塾などの先生に勧められたから
オ 親や家族に勧められたから カ 自分の子育てに役立つと思ったから
キ 就職に困らないと思ったから ク たまたま入学できたから
ケ 資格がとりやすそうだったから
コ その他(具体的に:)

③幼稚園教諭免許をお持ちですか？

ア 専修幼稚園教諭免許を保有 イ 第一種幼稚園教諭免許を保有
ウ 第二種幼稚園教諭免許を保有 エ 幼稚園教諭免許は保有していない

3 これまでのお仕事の経験について伺います。

① これまで保育士として仕事を経験したことがありますか？

ア ある ⇒②へ イ ない ⇒③へ

②【これまで保育士として仕事をした経験がある方に伺います。】

保育士として就業した年数は通算何年になりますか？ () 年
同一の施設で最も長く就業した年数は何年ですか？ () 年

③【これまで保育士として仕事をした経験がない方に伺います。】

経験がない場合は0と記入してください。

幼稚園教諭として仕事をした年数は、通算何年になりますか？ () 年
保育士・幼稚園教諭と無関係の仕事をした年数は、通算何年になりますか？ () 年

4 あなたの現在の就業状況(自営・パートを含む)をお答えください。(○は1つだけ)

※現在、休職中の方(産休・育休含む)は、「働いている」としてお答えください。

ア 現在、保育士として働いている
イ 現在、保育士以外の職種で働いているが、過去には保育士として働いた経験がある
ウ 現在、保育士以外の職種で働いており、過去にも保育士として働いた経験はない
エ 現在、働いていないが、過去には保育士として働いた経験がある
オ 現在、働いていないが、過去保育士以外の職種で働いた経験がある
カ 現在、働いておらず、過去にも職種問わず働いた経験はない

5 保育・子育て支援関係の情報提供、ご案内について伺います。

神奈川県では、保育士資格をお持ちの方が、保育所をはじめ放課後児童クラブや児童養護施設、地域の子育て支援などの最新状況に関心・理解を深めていただき、それぞれの方が可能な範囲で子ども・子育て支援にお力を発揮いただけるよう、神奈川県登録の保育士の方に、保育、放課後関係の情報提供やご案内をさせていただくことを検討中です。

できるだけ多くの登録保育士の方に情報提供・御案内をさせていただくために、電子メールのアドレスをご登録いただければありがたく、御協力よろしく願いいたします。

(1) 情報提供や御案内を受け取る範囲について御記入ください。

- ア 県及び市町村からの情報提供や案内は全て可
- イ 県からの情報提供や案内は全て可
- ウ 県から今回提供されたような資格制度に関する情報のみ可
- エ 情報提供や案内の送付は全て不可

保育の実施主体である市町村から情報提供やご案内をするため、ご住所等の連絡先を市町村へ情報提供することにご同意いただけますか。
ア 同意 イ 不同意

(2) 情報提供や御案内の送付先について御記入ください。

送付番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	お送りした封筒の宛名ラベルの右上に記載されている6桁の数字をご記入ください。
------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	--

○電子メールアドレス
(パソコン、携帯電話、スマートフォンいずれでも結構です。)

<input type="text"/> @ <input type="text"/>

*本アンケートの送付先印字とご住所やお名前に変更がある場合のみご記入ください。

① 郵送や宅配メールの送付先
〒 _____ 市 町 村 _____
② お名前 _____

*本情報提供以外の目的で使用することはありません。

このシートは、現在、保育士として就業中の場合のみ、ご記入ください。

1 現在、保育士としてお仕事をされている施設についてあてはまるものに○を付けてください。

- ① 施設種別としてあてはまるもの一つに○を付けてください。
 - ア 認可保育所
 - イ 認定こども園
 - ウ 事業所内保育施設・院内保育施設
 - エ 自治体から認定・補助を受けている認可外保育施設（横浜保育室、認定保育施設など）
 - オ 家庭的保育
 - カ 自治体からの補助等を受けていない認可外保育施設
 - キ 乳児院・児童養護施設など保育所以外の児童福祉施設
 - ク 放課後児童クラブ
 - ケ その他（ ）
- ② ①で○を付けた施設の設置運営主体としてあてはまるもの一つに○を付けてください。
 - ア 公設公営（市町村が設置・運営）
 - イ 公設民営（市町村が設置、民間が運営）
 - ウ 民設民営（社会福祉法人）
 - エ 民設民営（NPO 法人）
 - オ 民設民営（株式会社）
 - カ 民設民営（その他の法人）
 - キ 民設民営（個人・任意団体）
- ③ 施設の所在地はどちらですか？
 - ア 神奈川県内 具体的に：（ ）市・町・村（ ）区
 - イ 神奈川県外 具体的に：（ ）都道府県
- ④ 現在の雇用形態としてあてはまるもの一つに○を付けてください。
 - ア 正規職員
 - イ 有期契約職員（非常勤職員）（フルタイムまたは週 30 時間以上の勤務）
 - ウ 有期契約職員（非常勤職員）（週 30 時間未満の勤務）
 - エ 派遣社員
 - オ 個人事業主

2 現在の職場に対する以下のそれぞれの項目について、（ ）内に実態をご記入いただき、あなたの満足度をお答えください。（○は各1つずつ）

※変則勤務の方は主たる勤務パターンでお答えください。	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
勤務日数 週（ ）日	1	2	3	4	5
勤務時間（ ）時（ ）分～（ ）時（ ）分	1	2	3	4	5
給与・賞与等 年収（ ）万円	1	2	3	4	5
自宅からの(片道) 通勤時間（ ）分	1	2	3	4	5
職場の人間関係	1	2	3	4	5
保護者や地域との関係性	1	2	3	4	5
その他労働条件(具体的に)	1	2	3	4	5
園(など)の理念や運営方針	1	2	3	4	5
上司(園長等)から自分への評価	1	2	3	4	5
保育士としての仕事全体の「やりがい」度	1	2	3	4	5

3 保育の仕事のやりがいや魅力について、あてはまるものに○を付けてください。

- ア 子どもの成長を支えているという実感
- イ 子どもとのふれあいの楽しさ
- ウ 障害のある子どもの育ちを導くことができる
- エ 福祉を必要としている子どもや親を支援できる
- オ 保護者からの感謝
- カ その他（具体的に： _____）

4 途中で保育士の仕事を退職した経験について伺います。

(1) 中途退職の経験はありますか。

- ア 有（ ）回 イ 無

(2) 中途退職の理由について、あてはまるものに○を付けてください。

- ア 結婚のため イ 妊娠・出産のため ウ 育児のため
- エ 介護のため オ 夫の転勤のため カ 病気など健康上の理由
- キ 勤務体制（休暇取得困難、交代勤務等）の不满 ク 処遇（賃金等）面の不满
- ケ 自分の思う保育ができないなど保育への不满 コ 職場の人間関係の問題
- サ 保育士としての力量・適性不足
- シ その他（具体的に _____）

5 以下のそれぞれの項目について、現在の職場に対してあなたが改善してほしいと思っていることに○をつけてください。（○はいくつでも構いません。）

- ア.事務・雑務の軽減 イ.職員数の増員 ウ.園(など)の理念や運営方針
- エ.勤務シフトの改善 オ.職員間のコミュニケーション カ.相談体制の充実
- キ.未消化(有給等)休暇の改善 ク.権限範囲の拡大 ケ.研修機会の充実
- コ.給与・賞与等の改善 サ.責任範囲の縮小 シ.雇用の安定化(正社員登用)
- ス.評価制度の見直し セ.その他(具体的に _____) ソ.特にない

6 あなたは保育士として働き続けるにあたり、どのような知識や技術を習得したいと思いますか。下記の中からお選びください。（○はいくつでも構いません。）

- ア.保育実技 イ.保育所保育指針 ウ.保護者との対応の仕方
- エ.救命救急 オ.食に関する指導 カ.同僚とのコミュニケーション
- キ.安全管理 ク.特別な支援を必要とする子どもへの接し方 ケ.パソコン操作
- コ.衛生管理 サ.幼稚園教諭免許取得のための学習 シ.保育計画の作り方、記録の方法
- ス.発達心理学 セ.地域の子育て支援 ソ.特に習得したいと思うことはない

ニーズにあった研修を企画するため、希望する研修の内容について、できるだけ具体的にお書きください。

7 研修参加状況等について伺います。

①最近1年間の研修への参加状況

- ア 園内の研修（ ）回程度 イ 園外の研修（ ）回程度

②研修に対する希望（自由記入）

現在保育士として就業中の方は、以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

このシートは、現在、保育の仕事についていない場合、ご記入ください。

- 1 保育士として仕事をしていない期間（いわゆるブランク）は何年位になりますか？
保育士としての仕事経験がある方は辞めてからの期間、経験がない方は資格取得後の期間をご記入ください。

約（ ）年

2 【保育士として仕事の経験がある方のみお答えください。】

保育士としての仕事を辞めた理由としてあてはまるもの3つまでに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------|--------------|--------------|
| ア 結婚のため | イ 妊娠・出産のため | ウ 育児のため |
| エ 介護のため | オ 夫の転勤のため | カ 病気など健康上の理由 |
| キ 勤務体制（休暇取得困難、交代勤務等）の不满 | ク 処遇（賃金）面の不满 | |
| ケ 自分の思う保育ができないなど保育への不满 | コ 職場の人間関係の問題 | |
| サ 保育士としての力量・適性不足 | | |
| シ その他（具体的に：（ ）） | | |

3 今後、保育士として仕事をするとしたら、どのような点が特に不安に思われますか？

特に不安に思われるものに◎、不安に思われるもの○、多少不安はあるがさほど気にならないものに△、今のご自分とは無関係のものに×を記入してください。

- | |
|-----------------------|
| ア 最近の保育の知識や技術などの不足（ ） |
| イ 家事との両立（ ） |
| ウ 育児との両立（ ） |
| エ 介護との両立（ ） |
| オ 夫など周囲の理解（ ） |
| カ 体力の低下（ ） |
| キ 保育の職場での人間関係（ ） |
| ク 園児の保護者の対応（ ） |
| ケ その他（具体的に：（ ）） |

4 神奈川県内で、保育士として仕事することについてのあなたのお気持ちにあてはまるもの、一つに○を付けてください。

- | |
|----------------------------------|
| ア 条件に合うところがあればやってみたいと思う |
| イ 条件が合うところから頼まれればやってみても良いと思う |
| ウ 子育てなどが一段落し、条件が整えば考えてみるのも良いかと思う |
| エ 保育士として仕事することは当面考えられないと思う |
| オ 保育士としての仕事は今後することはないと思う |

5 保育士資格を活かして働くためにもっとも重視する点はなんですか、あてはまるものに○を付けてください。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ア 収入 | イ 通勤条件（自宅からの距離など） |
| ウ 勤務時間 | エ 保育の方針 |
| オ 職場の雰囲気 | カ 家族の理解 |
| キ その他（具体的に：（ ）） | |

6 保育士として仕事をする場合の条件について伺います。（ ）内にご記入ください。

- ①勤務形態等について、（ ）内に条件をご記入ください。
- | |
|---|
| ア フルタイム（正職員） 年収（ ）万円以上 |
| イ 非常勤・パートタイム 1日（ ）時間程度、週（ ）日程度
時間帯（ ）時～（ ）時 時給（ ）円以上 |
- ②通勤時間 片道（ ）分以内
通勤可能な範囲（市町村名、〇〇線沿線など）（ ）

③重視する条件について、あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

- ア 認可園であること
- イ 経験を加味した賃金設定
- ウ 扶養の範囲での収入
- エ 早番や遅番の免除
- オ 自分の子どもの保育所入所
- カ キャリアアップの可能性
- キ 専門性の評価
- ク 研修の機会
- ケ 園の運営方針や施設長・主任などの考え方

7 同封のリーフレットに記載された「就職支援セミナー・就職相談会」「現場復帰支援研修」などに参加いただけますか？参加のご意向等について記入してください。

○参加のご意向等

1 保育士就職支援セミナー・就職相談会		午前 セミナー	午後 就職相談会	託児	参加：○ 参加検討中：△ 不参加：×
2月17日(月)	相模大野駅 ユニコムプラザさがみはら				
2月25日(火)	藤沢駅 藤沢産業センター				
2月28日(金)	上大岡駅 ウィリング横浜				
2 現場復帰支援研修		集合研修		託児	
2月4日(火)	横浜駅 かながわ県民活動 サポートセンター				
2～3月 (2日間)	県内の各保育所				

*緊急連絡のための電話番号

(○または△をご記入された方全員：天候等の関係で日程変更等が生じた場合などの連絡用)



○送付先 (○または△をご記入された方全員)

(情報提供やご案内の送付について同意されている方はご記載は不要です。)

送付番号						お送りした封筒の宛名ラベルの右上に記載されている6桁の数字をご記入ください。
------	--	--	--	--	--	--

*本アンケートの送付先印字とご住所やお名前に変更がある方はご記入ください。

① 郵送や宅配メールの送付先
〒 _____ 市町村 _____
② お名前 _____

*本セミナー及び研修以外の目的で使用することはありません。

現在保育士の仕事についていない方は、以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

神奈川県に保育士登録をしている皆様へ

神奈川県では、待機児童解消に向け、市町村と連携し保育所の整備を進めてまいりましたが、一方で、保育所の増加に伴い、保育士の確保・育成が課題となっています。また、幼稚園教諭についても、人材の不足感が表面化はじめており、保育士や幼稚園教諭等の子育て支援人材の確保に向けた取組みが求められています。

そこで、今後、保育士や幼稚園教諭等の子育て支援人材の確保方策を検討するため、「潜在保育士・幼稚園教諭再就職促進事業」の一環として、「神奈川県保育士実態調査」を実施することといたしました。保育士資格を有する方の現在の就労状況や、保育の現場で働くことに関するお考えをお答えいただくことで、今後の県の取り組みに生かしていきたいと考えています。昨年度のこの調査では、神奈川県に保育士登録をされている方のうち特定の年齢の方にご協力をいただきましたが、今回は昨年度アンケートをお送りしていない方を対象としています。

お忙しい中、恐れ入りますが、本調査にぜひご協力くださるようお願いいたします。

平成26年10月
神奈川県県民局次世代育成部次世代育成課
電話 045-210-4663

現在、保育士として就業中の方 回答箇所 → ①ページ～②ページと、③ページ～④ページ

現在、保育士として就業中ではない方 回答箇所 → ①ページ～②ページと、④ページ

回答期限 平成26年11月14日(金)までに同封の返信用封筒によりご投函ください。

- ※ 本調査は神奈川県が株式会社ポピンズに委託して実施しております。
- ※ 本調査にご回答いただいた内容は、統計的に処理し、それ以外の目的に使用することはありません。
- ※ 平成27年度から本格施行される子ども・子育て支援新制度において、幼保連携型認定こども園では、保育教諭(保育士、幼稚園教諭の両方の資格・免許の保有者)の配置が必要になります。保育士資格のみを保有されている方は別紙をご一読ください。

この調査についての問い合わせ先

株式会社ポピンズ 神奈川県保育士実態調査 担当:神奈川県調査事業チーム 浅井 勝部 村上
住 所 東京都渋谷区広尾5-6-6 広尾プラザ5階
電 話 03-3447-5826

神奈川県保育士実態調査(調査票)

このアンケートでご回答いただいた内容は、個人を特定することなく、統計的に処理し、それ以外の目的に使用することはありませんので、ありのままをご記入ください。

このシートは全員の方に回答をお願いします

1 あなたご自身についてお答えください。(2014年9月30日時点の状況をご記入ください。)

性別	1 女性	2 男性			
年齢	1 20歳台	2 30歳台	3 40歳代	4 50歳台	5 60歳台
子どもの有無	1 有 ⇒ 子どもの数()人 末子年齢()歳				2 無
在住市町村名	1 神奈川県()市町村			2 神奈川県以外	

2 保育士資格を取得された方法などについて伺います。

① 保育士資格の取得方法は?(あてはまる方に○を付けてください。)

- ア 保育士養成校を卒業 イ 保育士試験に合格

② 保育士資格を取得された理由は?(主なものに3つまで○を付けてください。)

- ア 子どもと接することが好きだから イ 保育の仕事に興味があったから ウ あこがれの職業だったから
エ 学校や塾などの先生に勧められたから オ 親や家族に勧められたから カ 自分の子育てに役立つと思ったから
キ 就職に困らないと思ったから ク たまたま入学できたから ケ 資格がとりやすそうだったから
コ その他(具体的に)

③ 幼稚園教諭免許をお持ちですか?

- ア 専修幼稚園教諭免許を保有 イ 第一種幼稚園教諭免許を保有
ウ 第二種幼稚園教諭免許を保有 エ 幼稚園教諭免許は保有していない

2 ページへ

1

3 これまでのお仕事の経験について伺います。

- ① これまで保育士として仕事を経験したことがありますか？
 ア ある ⇒ ②へ イ ない ⇒ ③へ
- ② 【これまで保育士として仕事をした経験がある方に伺います。】
 保育士として就業した年数は通算何年になりますか？ ()年
 同一の施設で最も長く就業した年数は何年ですか？ ()年
- ③ 【これまで保育士として仕事をした経験がない方に伺います。】 経験がない場合は、0と記入してください。
 幼稚園教諭として仕事をした年数は、通算何年になりますか？ ()年
 保育士・幼稚園教諭と無関係の仕事をした年数は、通算何年になりますか？ ()年

4 あなたの現在の就業状況(自営・パートを含む)をお答えください。(○は1つだけ)

- ※現在、休職中の方(産休・育休含む)は、「働いている」としてお答えください。
- ア 現在、保育士として働いている
 イ 現在、保育士以外の職種で働いているが、過去には保育士として働いた経験がある
 ウ 現在、保育士以外の職種で働いており、過去にも保育士として働いた経験はない
 エ 現在、働いていないが、過去には保育士として働いた経験がある
 オ 現在、働いていないが、過去保育士以外の職種で働いた経験がある
 カ 現在、働いておらず、過去にも職種問わず働いた経験はない

5 保育・子育て支援関係の情報提供、ご案内について伺います。

【この設問は全員の方が回答してください】

神奈川県では、保育士資格をお持ちの方が、保育所をはじめ放課後児童クラブや児童発達施設、地域の子育て支援などの最新状況に関心・理解を深めていただき、それぞれの方が可能な範囲で子ども子育て支援にお力を発揮いただけるよう、神奈川県登録の保育士の方に、保育、放課後関係の情報提供やご案内をさせていただきたいと考えています。
 「かながわ保育士・保育所支援センター」から、できるだけ多くの方に情報提供・ご案内をさせていただくため、電子メールのアドレスをご登録くださるよう、ご協力よろしくお願いたします。

(1) 情報提供やご案内を受け取る範囲についてご記入ください。

- ア 県及び市町村からの情報提供や案内は全て可
 イ 県からの情報提供や案内は全て可
 ウ 県から今回提供されたような資格制度に関する情報のみ可
 エ 情報提供や案内の送付は全て不可

保育の実施主体である市町村から情報提供やご案内をするため、ご住所等の連絡先を市町村へ情報提供することにご同意いただけますか。
 ア 同意 イ 不同意

【この設問は幼稚園教諭免許をお持ちの方のみ回答してください。】

また、保育士資格と併せて幼稚園教諭免許をお持ちの方に、行政や公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会(以下「幼稚園連合会」)(※)から幼稚園に関する情報提供・ご案内をさせていただくため、幼稚園教諭のデータベースを作成し、幼稚園連合会に提供する準備をしております。
 「幼稚園教諭データベース」にあなた様の情報を登録することの可否についてご記入ください。(※ 当方は幼稚園連合会から就職相談等の情報を提供させていただきます。)
 できるだけ多くの方に情報提供・ご案内をさせていただくため、電子メールのアドレスをご登録くださるよう、ご協力よろしくお願いたします。

(2) 幼稚園教諭データベースに登録すること及び幼稚園連合会に、氏名・郵便番号・ご住所・メールアドレスの連絡先・幼稚園免許の種別を幼稚園連合会に提供することにご同意いただけますか。

- ア 同意 イ 不同意

→【この設問は、上記(1)又は(2)の設問に同意いただいた全ての方が回答してください】

(3) 情報提供や御案内の送付先について御記入ください。

送付番号

--	--	--	--	--	--

 お送りした封筒の宛名ラベルの右上に記載されている8桁の数字をご記入ください。

○電子メールアドレス(パソコン、携帯電話、スマートフォンいずれでも結構です。)

@

*本アンケートの送付先印字とご住所やお名前に変更がある場合のみご記入ください。

① 郵送や宅配メールの送付先
 〒 _____ 市 町 村 _____

② お名前 _____

※回答いただいた内容は、本情報提供以外の目的で使用することはありません。

このシートは、現在、保育士として就業中の場合のみ、ご記入ください。

1 現在、保育士としてお仕事をされている施設についてあてはまるものに○を付けてください。

① 施設種別としてあてはまるもの一つに○を付けてください。

- ア 認可保育所 イ 認定こども園 ウ 事業所内保育施設 院内保育施設
- エ 自治体から認定・補助を受けている認可外保育施設(横浜保育室、認定保育施設など) オ 家庭的保育
- カ 自治体からの補助等を受けていない認可外保育施設 キ 乳児院・児童養護施設など保育所以外の児童福祉施設
- ク 放課後児童クラブ ケ その他()

② ①で○を付けた施設の設置運営主体としてあてはまるもの一つに○を付けてください。

- ア 公設公営(市町村が設置・運営) イ 公設民営(市町村が設置、民間が運営) ウ 民設民営(社会福祉法人)
- エ 民設民営(NPO法人) オ 民設民営(株式会社) カ 民設民営(その他の法人)
- キ 民設民営(個人・任意団体)

③ 施設の所在地はどちらですか?

- ア 神奈川県内 具体的に()市町村()区 イ 神奈川県外 具体的に()都道府県

④ 現在の雇用形態としてあてはまるもの一つに○を付けてください。

- ア 正規職員 イ 有期契約職員(非常勤職員)(フルタイムまたは週30時間以上の勤務)
- ウ 有期契約職員(非常勤職員)(週30時間未満の勤務) エ 派遣社員
- オ 個人事業主

2 現在の職場に対する以下のそれぞれの項目について、()内に実態をご記入いただき、あなたの満足度をお答えください。(○は各1つずつ)
※変則勤務の方は主たる勤務パターンでお答えください。

		満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
勤務日数	週()日	1	2	3	4	5
勤務時間	()時()分~()時()分	1	2	3	4	5
給与・賞与等	年収()万円	1	2	3	4	5
自宅からの(片道) 通勤時間	()分	1	2	3	4	5
職場の人間関係		1	2	3	4	5
保護者や地域との関係性		1	2	3	4	5
その他労働条件(昇給等())		1	2	3	4	5
園(など)の理念や運営方針		1	2	3	4	5
上司(園長等)から自分への評価		1	2	3	4	5
保育士としての仕事全体の「やりがい」度		1	2	3	4	5

3 保育の仕事のやりがいや魅力について、あてはまるものに○を付けてください。

- ア 子どもの成長を支えているという実感 イ 子どもとのふれあいの楽しさ
- ウ 障害のある子どもの育ちを導くことができる エ 福祉を必要としている子どもや親を支援できる
- オ 保護者からの感謝 カ その他(具体的に)

4 途中で保育士の仕事を退職した経験について伺います。

(1) 中途退職の経験はありますか。

- ア 有()回 イ 無

(2) 中途退職の理由について、あてはまるものに○を付けてください。

- ア 結婚のため イ 妊娠・出産のため ウ 育児のため
- エ 介護のため オ 夫の転勤のため カ 病気など健康上の理由
- キ 勤務体制(休暇取得困難、交代勤務等)の不满 ク 処遇(賃金等)面の不满
- ケ 自分の思う保育ができないなど保育への不满 コ 職場の人間関係の問題 サ 保育士としての力量・適性不足
- シ その他(具体的に)

5 以下のそれぞれの項目について、現在の職場に対してあなたが改善してほしいと思っていることに○をつけてください。(○はいくつでも構いません。)

- ア 事務・雑務の軽減 イ 職員数の増員 ウ 園(など)の理念や運営方針 エ 勤務シフトの改善
- オ 職員間のコミュニケーション カ 相談体制の充実 キ 未消化(有給等)休暇の改善 ク 権限範囲の拡大
- ケ 研修機会の充実 コ 給与・賞与等の改善 サ 責任範囲の縮小 シ 雇用の安定化(正社員登用)
- ス 評価制度の見直し セ その他(具体的に) ソ 特になし

6 あなたは保育士として働き続けるにあたり、どのような知識や技術を習得したいと思いますか。下記の中からお選びください。(○はいくつでも構いません。)

- | | | |
|---------|-----------------------|-------------------|
| ア 保育実技 | イ 保育所保育指針 | ウ 保護者との対応の仕方 |
| エ 救命救急 | オ 食に関する指導 | カ 同僚とのコミュニケーション |
| キ 安全管理 | ク 特別な支援を必要とする子どもへの接し方 | ケ パソコン操作 |
| コ 衛生管理 | サ 幼稚園教諭免許取得のための学習 | シ 保育計画の作り方、記録の方法 |
| ス 発達心理学 | セ 地域の子育て支援 | ソ 特に習得したいと思うことはない |

ニーズにあった研修を企画するため、希望する研修の内容について、できるだけ具体的にお書きください。

7 研修参加状況等について伺います。

①最近1年間の研修への参加状況

- ア 園内の研修()回程度 イ 園外の研修()回程度

②研修に対する希望(自由記入)

●現在保育士として就業中の方は、以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

このシートは、現在、保育の仕事についていない場合、ご記入ください。

1 保育士として仕事をしていない期間(いわゆるブランク)は何年位になりますか?

保育士としての仕事経験がある方は辞めてからの期間、経験がない方は資格取得後の期間をご記入ください。 約()年

2 【保育士として仕事の経験がある方のみお答えください。】

保育士としての仕事を辞めた理由としてあてはまるもの3つまでに○をつけてください。

- | | | | |
|------------------|------------------------|-------------------------|---------|
| ア 結婚のため | イ 妊娠・出産のため | ウ 育児のため | エ 介護のため |
| オ 夫の転勤のため | カ 病気など健康上の理由 | キ 勤務体制(休暇取得困難、交代勤務等)の不满 | |
| ク 処遇(賃金)面の不满 | ケ 自分の思う保育ができないなど保育への不满 | コ 職場の人間関係の問題 | |
| サ 保育士としての力量・適性不足 | シ その他(具体的に:) | | |

3 今後、保育士として仕事をするとしたら、どのような点が特に不安に思われますか?

特に不安に思われるものに○、不安に思われるもの○、多少不安はあるがさほど気にならないものに△、今のご自分とは無関係のものに×を記入してください。

- | | | |
|-----------------------|----------------|-------------|
| ア 最近の保育の知識や技術などの不足() | イ 家事との両立() | ウ 育児との両立() |
| エ 介護との両立() | オ 夫など周囲の理解() | カ 体力の低下() |
| キ 保育の職場での人間関係() | ク 園児の保護者の対応() | |
| ケ その他(具体的に:) | | |

4 神奈川県内で、保育士として仕事をするることについてのあなたのお気持ちにあてはまるもの、一つに○を付けてください。

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------|
| ア 条件に合うところがあればやってみたいと思う | イ 条件が合うところから頼まればやってみても良いと思う |
| ウ 子育てなどが一段落し、条件が整えば考えてみるのも良いかと思う | エ 保育士として仕事することは当面考えられないと思う |
| オ 保育士としての仕事は今後することはないと思う | |

5 保育士資格を活かして働くためにもっとも重視する点はなんですか、あてはまるものに○を付けてください。

- | | | | |
|----------|-------------------|---------------|---------|
| ア 収入 | イ 通勤条件(自宅からの距離など) | ウ 勤務時間 | エ 保育の方針 |
| オ 職場の雰囲気 | カ 家族の理解 | キ その他(具体的に:) | |

6 保育士として仕事をする場合の条件について伺います。()内にご記入ください。

①勤務形態等について、()内に条件をご記入ください。

- ア フルタイム(正職員) 年収()万円以上
 イ 非常勤・パートタイム 1日()時間程度、週()日程度 時間帯()時～()時 時給()円以上

②通勤時間 片道()分以内 通勤可能な範囲(市町村名、○○線沿線など)()

③重視する条件について、あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------------------|---------------|-------------|------------|
| ア 認可園であること | イ 経験を加味した賃金設定 | ウ 扶養の範囲での収入 | エ 早番や遅番の免除 |
| オ 自分の子どもの保育所入所 | カ キャリアアップの可能性 | キ 専門性の評価 | ク 研修の機会 |
| ケ 園の運営方針や施設長・主任などの考え方 | | | |

●現在保育士の仕事についていない方は、以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。